

平成31年度

植物防疫事業年報

令和2年(2020年)3月

滋賀県病害虫防除所

目次

第1	病害虫防除所事務分掌表	1
第2	病害虫発生予察事業	
1	事業の目的	2
2	事業対象作物および病害虫	2
3	気象概況	5
4	普通作物病害虫発生予察事業	
(1)	イネ	6
(2)	ムギ	3 2
(3)	ジャガイモ	3 5
(4)	ダイズ	3 6
5	野菜（露地）病害虫発生予察事業	3 9
6	果樹等病害虫発生予察事業	
(1)	果樹	5 4
(2)	チャ	6 2
(3)	花き（キク）	7 1
7	病害虫防除推進員	7 2
8	滋賀県病害虫防除所ホームページ	7 3
9	本年度新たに発生が確認された病害虫	7 4
10	病害虫の診断および生態調査	7 5
第3	重要病害虫の特別防除等推進事業	
1	チチュウカイミバエの侵入警戒調査	7 8
2	ウメ輪紋ウイルスの発生状況調査	7 8
3	キウイフルーツかいよう病（Psa3系統）の発生状況調査	7 8
4	その他病害虫の侵入警戒調査	7 8
5	ツマジロクサヨトウの発生状況調査	7 9
第4	農薬安全使用等総合推進事業	
1	農薬安全使用対策	8 0
2	農薬販売者の届出状況	8 0
3	農薬取扱者への巡回点検・指導の結果	8 0
第5	病害虫発生予察情報発表内容	
1	予報	8 1
2	注意報および警報	9 2
3	特殊報	9 2
4	防除情報	9 4
第6	試験成績	1 0 1

注：本文中の「平年値」とは、特に記載のない限り平成21年から平成30年の平均値を指す。
表中の「－」は、データの欠測または該当なしを示す。

第 1 病虫害防除所事務分掌表

所 長 鳥 塚 智
次 長 豊 岡 幸 二

分 掌 事 務	主 任	副 主 任
1. 所事務の総括に関する事 2. 関係機関および団体との連絡調整に関する事	豊 岡 次 長	長谷部 副主幹 沢 田 主任主事 廣 田 主 事
3. 植物防疫事業に関する事 4. 予察情報作成会議に関する事		重 久 副主幹
1. 公印の管理に関する事 2. その他庶務に関する事	沢 田主任主事 廣 田 主 事	山 本 主 事
1. 予算の執行および決算に関する事 2. 諸給与・その他経理に関する事 3. 文書の収受編さんに関する事	山 本 主 事 中 山 主 事	宇 野 副主幹 沢 田 主任主事 廣 田 主 事
1. 病虫害発生予察の計画および情報作成に関する事 2. 病虫害防除推進員に関する事	長谷部 副主幹	近藤(博) 主 査 小 幡 技 師
1. 農薬取締法に関する事 2. 作物の発生予察に関する事	重 久 副主幹	長谷部 副主幹 近藤(博) 主 査 塚 本 主任技師
1. 地域発生予察の取りまとめに関する事 2. 薬剤抵抗性害虫検定および虫害の診断に関する事 3. 野菜・花の発生予察に関する事	近藤(博) 主 査	重 久 副主幹 小 幡 技 師
1. いもち病発生予察システムに関する事 2. 病害の診断に関する事 3. 薬剤耐性菌検定に関する事	柴 田 技 師	長谷部 副主幹 小 幡 技 師
1. 病虫害発生量の調査報告に関する事 2. 総合的病虫害管理(IPM)の推進に関する事 3. 予察調査手法の検討事業に関する事	塚 本 主任技師	重 久 副主幹 柴 田 技 師
1. 予察灯およびトラップ調査等に関する事 2. ホームページ等による情報提供に関する事	小 幡 技 師	塚 本 主任技師 柴 田 技 師
1. 果樹の発生予察事業および防除に関する事	三 溝 主任技師	重 久 副主幹
1. 茶の発生予察事業および防除に関する事	近藤(知) 主 幹	近藤(博) 主 査
1. 県南部地域における発生予察事業に関する事	塚 本 主任技師	近藤(博) 主 査
1. 大津・南部地域の病虫害発生情報収集および防除指導に関する事	村 井 主 査	近藤(博) 主 査
2. 甲賀地域の病虫害発生情報収集および防除指導に関する事	落 合 技 師	塚 本 主任技師
3. 東近江地域の病虫害発生情報収集および防除指導に関する事	藤 川 技 師	
1. 県北部地域における発生予察事業に関する事	柴 田 技 師	小 幡 技 師
1. 湖東地域の病虫害発生情報収集および防除指導に関する事	橋 本 副主幹	柴 田 技 師
2. 湖北地域の病虫害発生情報収集および防除指導に関する事	成 相 技 師	小 幡 技 師
3. 高島地域の病虫害発生情報収集および防除指導に関する事	井 田 主 査	

第2 病害虫発生予察事業

1 事業の目的

農作物の生産安定と品質の向上を図ると同時に環境に優しい病害虫防除を推進するためには、病害虫の防除を適時かつ効率的に行う必要がある。

このため、発生予察事業は広域に発生し、急激にまん延して農作物に重大な被害を与える病害虫について、その発生動向等を調査し、防除を要する病害虫や防除対策に関する情報を農業者等に提供することにより、病害虫の防除を効果的かつ効率的に適期に行い、その被害を防止して農業生産の安定と助長を図ることを目的とする。

2 事業の実施概要

(1) 事業対象作物および病害虫（指定有害動植物は交付金の対象）

作物	対象作物	指定	有害動植物名	
		指定外	病害	虫害
普通作物	イネ	指定	いもち病、紋枯病、稲こうじ病、もみ枯細菌病（苗腐敗病）、ばか苗病、縞葉枯病	イネミズゾウムシ、ニカメイガ、ヒメトビウシカ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ツマグロヨコバイ、斑点米カメムシ類（ホソハリカメムシ、トゲシラホシカメムシ、クモヘリカメムシ、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、イネカメムシ、コバネヒョウタンナガカメムシ）、コブノメイガ、フタオビコヤガ
		指定外	白葉枯病、黄萎病、ごま葉枯病	イネドロオイムシ、イチモンジセセリ、コバネイナゴ、イネクロカメムシ
	ムギ	指定	うどんこ病、赤かび病	－
		指定外	さび病類、黒節病、縞萎縮病	－
	ダイズ	指定	－	アブラムシ類（モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ、ダイコンアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ、ジャガイモヒゲナガアブラムシ）、吸実性カメムシ類（ホソヘリカメムシ、イチモンジカメムシ、アオクサカメムシ）、ハスモンヨトウ※、オオタバコガ※
		指定外	べと病、葉焼病	フタスジヒメハムシ、ハダニ類
野菜	トマト	指定	灰色かび病、疫病、葉かび病	アブラムシ類（モモアカアブラムシ）、ハスモンヨトウ※、コナジラミ類（タバココナジラミ、オンシツコナジラミ）、オオタバコガ※
		指定外	－	タバコガ類（オオタバコガを除く）
	ナス	指定	うどんこ病、灰色かび病	アブラムシ類（モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ）、ハスモンヨトウ※、ハダニ類（カンザワハダニ、ナミハダニ）、アザミウマ類（ミナミキイロアザミウマ）、オオタバコガ※
		指定外	－	ニジュウヤホシテントウ類、タバコガ類（オオタバコガを除く）
	ばれいしょ	指定	疫病	アブラムシ類（ワタアブラムシ、ジャガイモヒゲナガアブラムシ）、ハスモンヨトウ※
		指定外	－	ニジュウヤホシテントウ類
	キュウリ	指定	うどんこ病、灰色かび病、べと病、褐斑病	アブラムシ類（モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ、ジャガイモヒゲナガアブラムシ）、アザミウマ類（ミナミキイロアザミウマ、ネギアザミウマ）、コナジラミ類（タバココナジラミ、オンシツコナジラミ）
		指定外	－	ハダニ類

作物	対象作物	指定	有害動植物名	
		指定外	病害	虫害
野菜	キャベツ	指定	黒腐病、菌核病	アブラムシ類（モモアカアブラムシ、ダイコンアブラムシ）、ハスモンヨトウ※、オオタバコガ※、ヨトウガ※、コナガ※
		指定外	軟腐病	タバコガ類（オオタバコガを除く）、カブラヤガ（ネキリムシ類）、モンシロチョウ、ハイマダラノメイガ
	はくさい	指定	-	-
		指定外	軟腐病	タバコガ類（オオタバコガを除く）、モンシロチョウ
	だいこん	指定	-	アブラムシ類（モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ）
		指定外	-	ハイマダラノメイガ
	ブロッコリー	指定	-	ハスモンヨトウ※、ヨトウガ※、コナガ※
		指定外	黒腐病	-
	ねぎ	指定	さび病、黒斑病、べと病	アブラムシ類（ネギアブラムシ）、ハスモンヨトウ※、アザミウマ類（ネギアザミウマ）、シロイチモジヨトウ※
		指定外	-	-
	たまねぎ	指定	べと病、白色疫病	アザミウマ類（ネギアザミウマ）
		指定外	さび病	-
サトイモ	指定	-	ハスモンヨトウ※	
	指定外	-	ハダニ類	
花き	キク	指定	白さび病	アブラムシ類（ワタアブラムシ、キクヒメヒゲナガアブラムシ）、アザミウマ類（ヒラズハナアザミウマ、ネギアザミウマ）
		指定外	-	-
果樹	ナシ	指定	黒星病	果樹カメムシ類※（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）、シンクイムシ類（ナシヒメシンクイ、モモシンクイガ）、ハマキムシ類（チャノコカクモンハマキ、チャハマキ）、ハダニ類（カンザワハダニ、ナミハダニ）、アブラムシ類（ナシアブラムシ、ナシミドリアブラムシ）
		指定外	うどんこ病、赤星病	-
	ブドウ	指定	べと病、灰色かび病、晩腐病	果樹カメムシ類※（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）
		指定外	うどんこ病	カイガラムシ類（クワコナカイガラムシ）、フタテンヒメヨコバイ、コガネムシ類、アザミウマ類（チャノキイロアザミウマ）
	カキ	指定	炭疽病	果樹カメムシ類※（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）、カキノヘタムシガ、ハマキムシ類（チャノコカクモンハマキ、チャハマキ）、アザミウマ類（カキクダアザミウマ、チャノキイロアザミウマ）、カイガラムシ類（フジコナカイガラムシ）
		指定外	円星落葉病、角斑落葉病、うどんこ病	マイマイガ
茶樹	チャ	指定	炭疽病	ハマキムシ類（チャノコカクモンハマキ、チャハマキ）、ハダニ類（カンザワハダニ）、チャノホソガ
		指定外	もち病、新梢枯死症、輪斑病	チャノミドリヒメヨコバイ、アザミウマ類（チャノキイロアザミウマ）、カメムシ類（ツマグロアオカスミカメ）、クワシロカイガラムシ、チャトゲコナジラミ

※ 作物共通の指定有害動植物については、本県での対象作物ごとに示した。

(2) 調査ほ場の設置状況

作物	対象作物	調査地点数		設置場所	
		区分	地点数		
普通作物	イネ	定点	1	近江八幡市	
		巡回	35	大津市(2)、草津市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市、甲賀市(3)、近江八幡市、日野町、竜王町、東近江市(6)、彦根市、愛荘町、甲良町、多賀町、米原市(3)、長浜市(5)、高島市(4)	
	ムギ	定点	1	近江八幡市	
		巡回	38	大津市、草津市、守山市(2)、栗東市、野洲市(3)、湖南市、甲賀市(2)、近江八幡市(3)、日野町、竜王町(2)、東近江市(6)、彦根市(2)、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町、米原市、長浜市(6)、高島市(2)	
	ダイズ	定点	1	近江八幡市	
		巡回	25	大津市、草津市、守山市(2)、栗東市、野洲市(2)、湖南市、甲賀市、近江八幡市(2)、日野町、竜王町、東近江市(3)、彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、米原市、長浜市(3)、高島市	
	野菜類	-	定点	0	-
			巡回	8	草津市、野洲市、湖南市、近江八幡市、彦根市、甲良町、米原市、高島市
	花き	キク	定点	0	-
			巡回	8	草津市、野洲市、湖南市、近江八幡市、彦根市、甲良町、米原市、高島市
	果樹	ナシ	定点	1	栗東市
			巡回	2	東近江市、彦根市
ブドウ		定点	1	栗東市	
		巡回	2	東近江市、長浜市	
カキ		定点	1	栗東市	
		巡回	2	米原市(2)	
茶樹	チャ	定点	1	甲賀市水口町	
		巡回	7	甲賀市土山町(3)、信楽町(3)、日野町	

(3) 予察灯およびフェロモントラップの設置

設置場所	種類	対象害虫名
大津市 里	乾式日別予察灯	ガ類、ウンカ・ヨコバイ類、カメムシ類、イネミズゾウムシ
守山市 矢島町	乾式日別予察灯	ガ類、ウンカ・ヨコバイ類、カメムシ類、イネミズゾウムシ
栗東市 荒張	高圧水銀灯	果樹カメムシ類、ガ類
	フェロモントラップ	果樹カメムシ類、ナシヒメシンクイ、チャハマキ、チャノコカクモンハマキ
甲賀市 水口町 水口	予察灯(水盤)	チャノコカクモンハマキ、チャハマキ、チャノホソガ
	フェロモントラップ	チャノコカクモンハマキ、チャハマキ、チャノホソガ
近江八幡市 安土町大甲	乾式日別予察灯	ガ類、ウンカ・ヨコバイ類、カメムシ類、イネミズゾウムシ
	フェロモントラップ	ニカメイガ、コナガ、カブラヤガ、タバコガ、オオタバコガ、ヨトウガ、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ
	黄色水盤	アブラムシ類
長浜市 難波町	乾式日別予察灯	ガ類、ウンカ・ヨコバイ類、カメムシ類、イネミズゾウムシ
	フェロモントラップ	ニカメイガ、ハスモンヨトウ
高島市 今津町日置前	乾式日別予察灯	ガ類、ウンカ・ヨコバイ類、カメムシ類、イネミズゾウムシ
	フェロモントラップ	ニカメイガ、ハスモンヨトウ

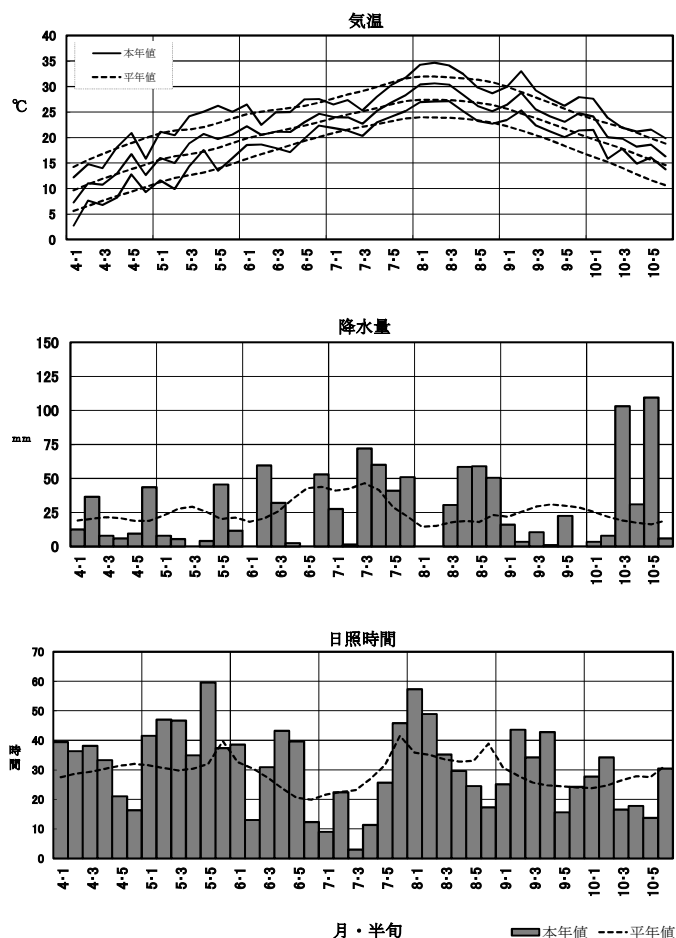
3 気象概況

(1) 年間の概況〔彦根アメダス観測値〕

- ・平均気温：15.8℃（平年値14.7℃※、H30年15.7℃）※平年値は1981年～2010年の平均
- ・日照時間：平年比104%
- ・降水量：平年比89%
- ・年平均気温は、全般に平年より高く、特に、8月～12月の気温が平年よりかなり高く推移した。また、降水量は10月12日の台風19号の影響により記録的な大雨（100mm/日）となったことが特徴的である。

(2) 稲作期間(4月～10月)の概況〔彦根アメダス観測値〕

- ・平均気温：21.6℃（平年値20.6℃※、H30年21.8℃）※平年値は1981年～2010年の平均
 - ・日照時間：平年比105%
 - ・降水量：平年比103%
- 水稲の生育に影響を及ぼした特筆すべき気象としては、7月の気温は低く推移したのに対し、8月の気温が高く推移したことや7月の日照時間が少ないこと、8月後半の降水量が多く推移したことが挙げられる。
- ・梅雨入り：6月27日ごろ（平年値6月7日）、梅雨明け：7月24日ごろ（平年値7月21日）
 - ・台風：本県の風雨について影響のあった台風は、台風10号（8月15日最接近）、台風19号（10月12日最接近）であった。



4 普通作物病害虫発生予察事業

イネ、ムギおよびダイズを対象として、主要病害虫を重点的に調査した。その結果に基づき病害虫発生予察情報として、発生予報9回および防除情報5回（ムギ赤かび病2回、斑点米カメムシ類2回、穂いもち）発表した。

(1) イネ

ア 生育概況

農林水産省が公表する滋賀県の2019年12月10日現在における水稻の作況指数は「98」、作柄の良否は「やや不良」となった。これは、近年頻発する異常気象によるもので、具体的には①7月の低温および寡照、②8月上旬～中旬の高温、③台風10号の接近、④8月下旬の長雨等が影響したと考えられた。

a 農業技術振興センターにおける作況調査の結果

5月～6月の生育は概ね順調だったが、7月の低温、寡照により、幼穂形成期から出穂期までの日数が「みずかがみ」では平年より1日長く、「コシヒカリ」では2日長くなった。

出穂期以降は一転して高温、多照となり、「みずかがみ」の成熟期は平年より1日遅くなったが、「コシヒカリ」の成熟期は、3日早くなった。2品種ともに、台風10号の影響を受け、平年よりも倒伏程度が大きくなった。

「みずかがみ」は、穂数は少なかつたものの（平年比93%）、一穂粒数は多くなり（同比106%）、 m^2 あたり粒数は平年並となった（同比99%）。また、8月上旬は高温、多照に経過したことから、登熟歩合はやや高くなった（同比103%）。千粒重は平年並で（同比100%）、精玄米重は平年並となった（同比101%）。

「コシヒカリ」は、穂数は平年並（平年比99%）だったが、一穂粒数は平年を下回り（同比94%）、 m^2 あたり粒数は少なくなった（同比93%）。また、登熟歩合は高くなったが（同比108%）、千粒重はやや小さく（同比97%）、精玄米重はやや少なくなった（同比96%）。

玄米の外観品質は、8月上旬～中旬の高温により、「コシヒカリ」はもとより、「みずかがみ」においても白未熟粒が平年より多くなった。また、整粒割合は平年より低くなったため、外観品質はやや不良となった。

※) 今回用いた農業技術振興センターの作況調査データでは、過去5年の値の平均を基準としているが本生育概況では、それらを平年値とした。

b 県内での収量・品質低下の要因

早生品種は、6月下旬以降の低温、寡照の影響により、全般的に穂数、粒数が少なく、また、8月中旬の台風による倒伏や登熟期の高温の影響を受け、収量・品質の低下が見られた。

中生・晩生品種は、8月中旬以降の台風や低温、長雨、寡照により、不稔や穂ずれ、登熟不良による、収量・品質の低下が見られた。

イ 発生状況

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
葉いもち	やや遅	やや少	ほ場での初発確認は6月27日で、発生時期は、やや遅かった。ほ場での初発生が遅れたことで発生量の増加が抑制されたため、発生量は、やや少なかった。	県内における広域的な感染好適日の出現が6月28日まで見られなかったため、発生時期が遅れた。ほ場での初発生が遅れたことと、7月1-2半旬の降水量が少なく推移したことから、発生が拡大しなかった。	移植時の育苗箱施薬が普及している。その後、葉いもちが発生したほ場における追加防除の実施。
穂いもち	遅	平年並	ほ場での初発確認は8月9日で、発生時期は遅かった。その後、各ほ場における発生量は少なかったが、発生ほ場率は増加したため、発生量は平年並となった。	葉いもちの発生量が少なかったため、初発時期は遅くなったが、7月中旬から下旬にかけて降水量が平年より多かったため、発生ほ場率は増加し、発生量は平年並となった。	出穂期前後に、地上一斉防除や無人ヘリなどによる防除の実施。ドリフト対策として、粒剤による防除が普及している。早生品種の出穂期に好適感染日の発生が見込まれたため、7月18日に防除情報を発表した。その後、適切な防除が実施された。
紋枯病	やや早	平年並	ほ場での初発確認は6月14日で、発生時期は平年並であった。その後、成熟期にかけて全体的に発生がみられ、発生量は平年並となった。	5月中旬から6月1半旬にかけて気温が高く推移したことから、発生が助長され、初発時期は、やや早まった。7月3-6半旬にかけて降水量が多かったことから株間湿度が高まり、水平伝搬が進展した。8月1-2半旬にかけて降雨が確認されなかったため、一旦進展は停滞したが、8月3-4半旬にかけて、気温は高く、降水量が多くなったことで、垂直進展が助長されたため、発生量は平年並となった。	移植時の箱粒剤による防除及び本田防除が常発地を中心に導入されている。
白葉枯病	遅	少	ほ場での初発確認は9月1日で、発生時期は遅かった。発生は常発地に限定されていたため発生量は少なくなった。	8月15日の台風10号の影響が懸念されたが、影響は局所的にとどまった。その後、影響を受ける台風の影響はなかったことと、前年の発生量も少なく、残存する細菌密度も低かったことから、発生量は少なくなった。	本病に効果のある育苗箱施薬剤が一部地域で導入。
ばか苗病	-	-	ほ場での初発確認は5月29日であった。発生は一部の常発地に限定された。	温湯消毒を中心に生物農薬、化学農薬による種子消毒が普及しているため、発生は一部地域にとどまった。	種子消毒による防除の実施。
もみ枯細菌病	-	-	ほ場での発生は見られなかった。	昨年発生が見られなかったことから、罹病率が少なく、台風の影響も限定的であったことから、発生が見られなかった。	種子消毒、移植時の箱粒剤による防除の実施。
ごま葉枯病	早	平年並	ほ場での初発確認は7月30日と早かったが、発生は一部の地域に限られ、ほ場での広がりも少なかったため、発生量は平年並となった。	大半のほ場で施肥が適切であり、肥料切れが起らなかったことから、発生が抑制された。	本病への薬剤防除は未実施。
縞葉枯病	早	平年並	ほ場での初発確認は6月27日で、発生時期は早く、発生量は平年並であった。なお、刈株再生芽でも全域で見られた。	ヒメトビウカの越冬世代の発生量は、やや多かったが、イネ縞葉枯病ウイルス（RSV）保毒虫率は低く、7月上旬以降、本種の発生量は、やや少なかった。ただし、7月以降、RSV保毒虫は全域で確認された。	移植時の箱粒剤および出穂期以降の防除でヒメトビウカの発生は抑制されている。
黄萎病	-	少	立毛中および刈株再生芽での発生は認められなかった。	近年、本病の発生はほとんど見られず、また、媒介虫であるツマグロヨコバイの発生量は、やや少なく、箱粒剤や共同防除により防除が実施されている。	移植時の箱粒剤および出穂期以降の防除でツマグロヨコバイの発生は抑制されている。
稲こうじ病	平年並	やや少	ほ場での初発確認は8月19日で、発生時期は平年並であった。発生は一部常発地に限られた。	前年の発生が、やや少なかったため、土壌に残存する菌密度が低かったことと、8月1-2半旬の穂ばらみ期にかけて降雨が見られなかったことから、発生が抑制された。	穂いもちの防除時に同時防除の実施。

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
ニカメイガ 第1世代	平年並	平年並	越冬世代成虫の発ガ最盛期およびフェロモントラップでの誘殺時期は平年並であった。ほ場での発生時期、発生量ともに平年並だった。ただし、一部、発生の目立つほ場も散見され、ほ場間差が見られた。	前年の第2世代幼虫の発生量は、やや少なかった。越冬世代成虫のフェロモントラップへの初飛来は4月第4半旬で平年並、発ガ最盛期は5月第3～5半旬で、地域によって前後にばらついた。5月の気温が高く、発生量の増加に好適な条件であったが、本種に効果の高い育苗箱施薬剤の導入が進んでおり、発生量は平年並となった。	移植時の育苗箱施薬剤が普及している。
ニカメイガ 第2世代	平年並	やや少	ほ場での初発確認は7月23日で、発生時期は平年並、発生量は、やや少なかった。ただし、一部、発生の目立つほ場も散見され、ほ場間差が見られた。	第1世代幼虫の発生時期は平年並で、第1世代成虫の発ガ最盛期も7月第5～6半旬と、地域によって前後にばらつきは見られたが、平年並であった。第1世代幼虫の発生量は平年並であったが、第1世代成虫の発生期間が広がり、遅くまで幼虫の発生が確認された。	第1世代幼虫が多発したほ場では、主に粒剤を用いた防除がされている。近年、被害ほ場は減少しており、防除面積も減少している。
トビウロンカ	早	多	ほ場での初発確認は7月31日で、発生時期は平年より早く、予察灯への飛来は8月～9月にかけて全域で確認された。なお、本種による坪枯れ症状も確認された。	近年、本県での発生は、ほぼ見られなかったが、今年は海外からの飛来時期が早く、飛来量も多かった。なお、県南部および東部の中生または晩生品種栽培ほ場で、9月以降、坪枯れ症状の発生が確認された。	出穂期の防除により、斑点米カメムシ類と併せて防除されることが多い。
セジロウロンカ	遅	やや少	予察灯への初飛来は6月28日で遅く、飛来数もやや少なかった。また、ほ場での発生量も、8月下旬以降の成熟期調査で、やや少なかった。	JPP-Netウロンカ飛来予測・解析に基づく海外からの本県への飛来は、6月初旬に確認されたが、それ以降、8月下旬まで確認されず、本種の飛来が少なかったことから、早生品種の栽培期間中、ほ場での発生量は、やや少なかった。	育苗箱施薬剤の利用により発生が抑制。また、出穂期の防除により、斑点米カメムシ類と併せて防除されることが多い。
ヒメトビウロンカ	平年並	やや少	予察灯への初飛来は4月12日で、平年並だった。越冬世代の発生量は、やや多かったが、ほ場での7月上旬の発生量は、やや少なく、8月下旬も同様に推移した。	越冬量は、やや多く、予察灯への初飛来時期は平年並であった。5月～6月は気温が平年より高く推移し増殖に好適な条件となったが、本田に侵入する7月の気温が低く、ほ場内での増殖は抑制された。また、JPP-Netウロンカ飛来予測・解析に基づく海外からの本県への飛来は、6月初旬に確認されたが、それ以降、確認されず、海外からの飛来は少なかった。	育苗箱施薬剤の利用により発生が抑制。また、出穂期の防除により、斑点米カメムシ類と併せて防除されることが多い。ただし、近年、本種が媒介する縞葉枯病の増加が問題となりつつある。
ツマグロヨコバイ	早	やや少	予察灯への初飛来は4月2日で、早かった。越冬世代の発生量は、やや少なく、ほ場での7月上旬の発生量は平年並、8月下旬の発生量は、やや少なかった。	昨年の発生量は、やや少なく、越冬量も、やや少なかった。地域・ほ場間差は、育苗箱施薬剤の使用および出穂期防除の有無によるところが大きい。	育苗箱施薬剤の利用により発生が抑制。また、出穂期の防除により、斑点米カメムシ類と併せて防除されることが多い。
イチモンジセセリ	平年並	少	ほ場での初発確認は6月11日で、発生時期は平年並、発生量は少なかった。	前年の発生量は、やや少なかった。ニカメイガに効果の高い育苗箱施薬剤の導入が進んだため、同時に防除され、発生量が抑制されている。	ニカメイガに効果の高い育苗箱施薬剤が使用されているほ場では、同時防除されている。
フタオビコヤガ	平年並	平年並	ほ場での初発確認は6月26日で発生時期は平年並、発生量は少なく、被害は少なかった。	近年、本県での発生量は少ない。さらに、ニカメイガに効果の高い育苗箱施薬剤が導入されているほ場では、同時に防除され、発生量が抑制されている。	ニカメイガに効果の高い育苗箱施薬剤が使用されているほ場では、同時防除されている。
コブノメイガ	早	平年並	ほ場での初発確認は7月8日で、発生時期は早く、県内全域で発生が見られ、7月上旬の発生量は平年より多くなった。しかし、8月上旬には発生量は平年並となった。	ほ場での初発確認が早く、発生量も平年より多かったことから、海外からの初飛来時期が早く、飛来量も多かったと推測される。ただし、ほ場での増殖は平年並であった。	多発年を除き、通常は防除されない。
イネミズゾウムシ	平年並	やや少	本田への飛び込み時期は平年並であった。5月下旬の食害程度は少なかったが、6月上旬には、一部の地域で甚発生ほ場も見られるなど、ほ場間差が認められた。	田植と同時に本田に侵入する。育苗箱施薬剤の施用有無により、被害のほ場間差が顕著になる。甚発生ほ場では、効果のある育苗箱施薬剤が使用されていない。	育苗箱施薬剤による防除が実施されている。
イネドロオイムシ	平年並	平年並	ほ場での初発確認は5月27日で発生時期は平年並であった。6月下旬の食害程度は平年並であったが、中山間地域など、一部で多発生ほ場も見られた。	前年の発生量は平年並、成虫の本田への侵入時期も平年並であったと考えられる。梅雨明けが遅く、7月は本種の増殖に好適な曇りや雨の日が多く、幼虫の発生が長引き、中山間地では食害が目立つほ場が見られた。	育苗箱施薬剤による防除が実施されている。発生が多いほ場では本田施用の粒剤による防除。
斑点米カメムシ類	早	平年並	越冬世代成虫の発生時期は早かった。6月下旬～7月上旬にかけて、ホソハリカメムシやクモヘリカメムシなど大型カメムシの畦畔での発生が目立った。本田での発生量は、7月上旬にやや多発となったが、7月下旬～8月上旬にかけて出穂期防除が実施されたほ場では、発生量は平年並となった。なお、例年ほぼ発生が見られないイネカメムシが、県全域で確認され、生息域が拡大している。	5月の気温が高く、発生時期は早くなった。畦畔雑草の管理が適切に実施されたこと、および適期に薬剤防除が実施されたことから発生量が抑制された。	畦畔のイネ科雑草が出穂しないよう、多くのほ場で適正に除草作業が実施され、本田への侵入抑制が図られている。また、出穂後に一斉防除がされている。使用薬剤は液剤や粉剤が主であるが、ドリフト対策として粒剤が使用されている地域もある。しかしながら、ほ場内が適切に除草されていない場合、カメムシ類が本田に侵入し、被害が甚大となる。なお、6月下旬および7月上旬に畦畔での発生量が多く、防除情報を2回発表した。
コバネイナゴ	やや早	平年並	ほ場での初発確認は5月14日で、発生時期は、やや早かった。ほ場での発生量は平年並であった。	前年の発生量は平年並であった。出穂期防除により発生量が抑制された。	斑点米カメムシ類と併せて防除されることが多い。

ウ 定点における調査
 (ア) いもち病発生予察システム
 a 判定結果(JPP-NET版BLASTAMの判定結果)

令和元年(2019年)		BLASTAM 結果								
		今津	長浜	米原	南小松	彦根	東近江	大津	信楽	土山
6/1	土	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/2	日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/3	月	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/4	火	-	?	-	-	-	-	-	-	-
6/5	水	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/6	木	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/7	金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/8	土	-	-	●	-	-	-	-	-	-
6/9	日	-	-	-	-	-	●	●	-	-
6/10	月	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/11	火	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/12	水	-	-	-	○1	-	○4	●	-	-
6/13	木	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/14	金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/15	土	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/16	日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/17	月	-	○4	-	-	-	-	-	-	-
6/18	火	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/19	水	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/20	木	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/21	金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/22	土	-	-	-	-	-	●	●	-	●
6/23	日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/24	月	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/25	火	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/26	水	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/27	木	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/28	金	●	●	●	●	-	●	-	-	-
6/29	土	●	-	-	-	-	-	-	-	-
6/30	日	-	-	-	-	●	●	-	-	●
7/1	月	-	-	-	-	●	●	○2	●	-
7/2	火	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/3	水	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/4	木	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/5	金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/6	土	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/7	日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/8	月	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/9	火	-	-	-	●	-	-	-	-	-
7/10	水	-	-	●	●	●	-	-	-	-
7/11	木	-	-	-	-	-	●	●	-	-
7/12	金	-	-	-	-	-	-	-	●	-
7/13	土	-	-	-	●	-	-	●	-	-
7/14	日	●	-	-	-	-	-	-	●	-
7/15	月	●	●	●	●	-	●	●	●	●
7/16	火	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/17	水	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/18	木	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/19	金	●	-	-	●	●	-	-	-	-
7/20	土	-	-	-	●	●	●	●	●	●

[判定結果の指標]

●=感染好適条件

湿潤時間中の平均気温が15~25℃であり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めた前5日間の日平均気温の平均値が20~25℃の範囲にある

○=準好適条件

- 1：湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満
- 2：湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上
- 3：湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15℃~25℃以外
- 4：湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い

-：好適条件なし

?：判定不能

b 情報提供

病害虫防除所のホームページ上にて、感染好適条件の出現状況（上記）を随時公開した。

(イ) 予察灯による調査

ニカメイガ発生型一覧

ウ.予察灯による調査

ニカメイガ発生型一覧

事項		大津市里			守山市矢島町			近江八幡市安土町大中		
		本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差
越冬世代	初飛来日 (月日)	5/11	5/11	-1	6/5	5/4	+32	5/5	4/30	+5
	最盛日 (月日)	5/25	5/21	+3	6/8	5/29	+9	5/24	5/24	-
	50%誘殺日 (月日)	5/25	5/22	+2	6/7	5/29	+9	5/25	5/24	+1
	終息日 (月日)	6/12	6/13	-2	7/3	6/26	+6	6/21	6/26	-5
	誘殺日数 (日)	5	5	±0	16	31	-15	25	20	+5
	誘殺数 (頭)	5	5	±0	161	176	-15	79	49	+30
	性比 (♂/♀, %)	150	150	±0	148	99	+49	119	84	+35
第1世代	初飛来日 (月日)	7/26	7/21	+4	7/16	7/14	+2	7/11	7/12	-2
	最盛日 (月日)	7/31	7/31	-	8/1	7/26	+6	8/5	7/25	+10
	50%誘殺日 (月日)	8/1	8/1	-	8/3	7/29	+5	8/3	7/28	+6
	終息日 (月日)	8/2	8/21	-20	9/15	9/4	+11	9/9	9/6	+2
	誘殺日数 (日)	3	6	-3	25	27	-2	40	23	+17
	誘殺数 (頭)	4	7	-3	263	110	+153	125	56	+69
	性比 (♂/♀, %)	0	59	-59	43	126	-83	62	86	-24
総誘殺日数 (日)		8	11	-3	41	58	-17	65	43	+22
総誘殺数 (頭)		9	13	-4	424	286	+138	204	105	+99
性比 (♂/♀, %)		50	87	-37	70	109	-39	81	86	-5
第1世代/越冬世代 (%)		80	182	-102	163	82	+81	158	142	+16

事項		長浜市難波町			高島市今津町日置前		
		本年	平年	差	本年	平年	差
越冬世代	初飛来日 (月日)	5/13	5/12	+1	6/7	5/9	+29
	最盛日 (月日)	6/7	5/26	+12	6/8	5/26	+12
	50%誘殺日 (月日)	6/5	5/27	+9	6/8	5/26	+12
	終息日 (月日)	6/15	6/18	-3	6/24	6/26	-2
	誘殺日数 (日)	20	15	+5	5	26	-21
	誘殺数 (頭)	95	54	+41	6	155	-149
	性比 (♂/♀, %)	67	95	-28	500	100	+400
第1世代	初飛来日 (月日)	7/12	7/16	-5	7/19	7/14	+4
	最盛日 (月日)	7/14	7/28	-15	7/26	8/1	-7
	50%誘殺日 (月日)	7/17	7/30	-14	7/27	8/1	-6
	終息日 (月日)	8/6	8/23	-18	9/12	9/12	-1
	誘殺日数 (日)	8	16	-8	14	31	-17
	誘殺数 (頭)	10	72	-62	34	178	-144
	性比 (♂/♀, %)	150	99	+51	209	56	+153
総誘殺日数 (日)		28	31	-3	19	57	-38
総誘殺数 (頭)		105	126	-21	40	334	-294
性比 (♂/♀, %)		72	85	-13	233	75	+158
第1世代/越冬世代 (%)		11	163	-152	567	122	+445

大津市里、守山市矢島町、近江八幡市安土町大中、長浜市難波町の平均値は10年間 (H21~H30) の平均値。

高島市今津町日置前の平年値は7年間 (H24~H30) の平均値。

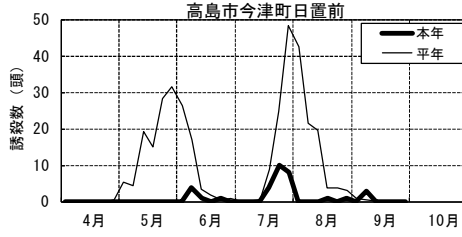
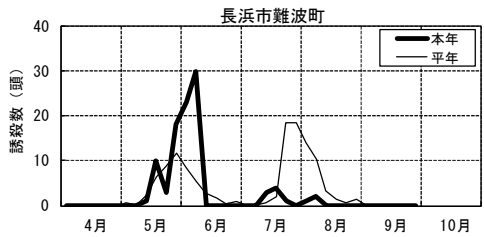
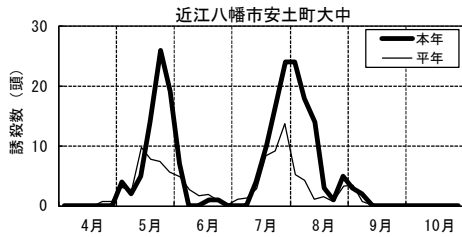
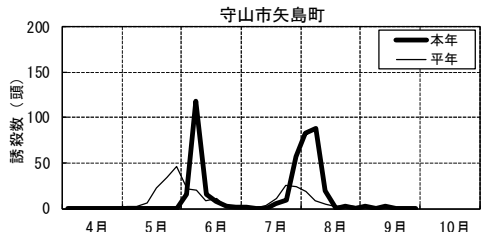
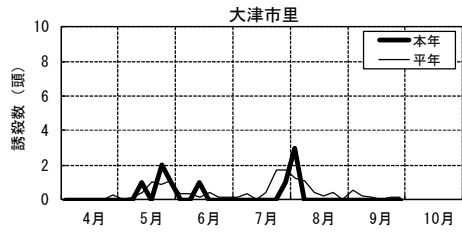
ニカメイガ半月別誘殺状況（予察灯）

(頭)

月 半月	大津市里				守山市矢島町				近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前			
	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積
4 1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4 2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4 3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4 4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4 5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.6	0.6	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4 6	0	0	0.3	0.3	0	0	0.4	0.4	0	0	0.6	1.2	0	0	0.0	0.0	-	0	0.5	0.5
5 1	0	0	0.0	0.3	0	0	1.6	2.0	4	4	3.0	4.2	0	0	0.7	0.7	-	0	5.5	6.0
5 2	0	0	0.1	0.4	0	0	1.8	3.8	2	6	2.7	6.9	0	0	0.1	0.8	-	0	4.5	10.5
5 3	1	1	0.4	0.8	0	0	5.7	9.5	5	11	9.8	16.7	1	1	2.2	3.0	-	0	19.3	29.8
5 4	0	1	1.0	1.8	0	0	22.1	31.6	14	25	7.8	24.5	10	11	6.4	9.4	-	0	15.0	44.8
5 5	2	3	0.9	2.7	0	0	34.2	65.8	26	51	7.4	31.9	3	14	8.7	18.1	-	0	28.4	73.2
5 6	1	4	1.1	3.8	0	0	46.2	112.0	19	70	5.7	37.6	18	32	11.7	29.8	-	0	31.4	104.6
6 1	0	4	0.3	4.2	16	16	21.1	133.1	7	77	4.8	42.4	23	55	8.4	38.2	-	0	26.3	130.9
6 2	0	4	0.3	4.5	118	134	20.5	153.6	0	77	2.7	45.1	30	85	5.4	43.7	4	4	17.1	148.1
6 3	1	5	0.1	4.6	15	149	8.4	162.0	0	77	1.6	46.7	0	85	2.8	46.4	1	5	3.4	151.5
6 4	0	5	0.4	5.0	8	157	11.6	173.6	1	78	1.9	48.6	0	85	1.7	48.1	0	5	1.9	153.4
6 5	0	5	0.1	5.2	2	159	1.4	175.0	1	79	0.8	49.4	0	85	0.3	48.4	1	6	0.4	153.8
6 6	0	5	0.1	5.3	1	160	0.7	175.7	0	79	0.1	49.5	0	85	1.0	49.4	0	6	0.9	154.6
7 1	0	5	0.1	5.4	1	161	0.5	176.2	0	79	1.1	50.6	0	85	0.2	49.7	0	6	0.3	154.9
7 2	0	0	0.3	0.3	0	0	0.9	0.9	0	0	1.2	1.2	0	0	0.2	0.2	0	0	0.1	0.1
7 3	0	0	0.0	0.3	0	0	2.7	3.6	4	4	2.9	4.1	3	3	0.6	0.8	0	0	0.4	0.6
7 4	0	0	0.4	0.7	5	5	11.6	15.2	10	14	8.4	12.5	4	7	2.1	2.9	4	4	9.0	9.6
7 5	0	0	1.7	2.4	9	14	25.3	40.5	17	31	9.2	21.7	1	8	18.5	21.4	10	14	24.7	34.3
7 6	1	1	1.7	4.1	57	71	24.5	65.0	24	55	13.7	35.4	0	8	18.5	39.9	8	22	48.4	82.7
8 1	3	4	1.2	5.4	83	154	18.8	83.8	24	79	5.2	40.6	1	9	14.0	53.9	0	22	42.7	125.4
8 2	0	4	1.1	6.5	88	242	8.3	92.1	18	97	4.2	44.8	2	11	10.4	64.3	0	22	21.4	146.9
8 3	0	4	0.4	6.9	19	261	4.9	97.0	14	111	1.0	45.8	0	11	3.2	67.5	0	22	19.4	166.3
8 4	0	4	0.2	7.1	0	261	2.2	99.2	3	114	1.4	47.2	0	11	1.5	69.0	1	23	3.6	169.9
8 5	0	4	0.4	7.5	2	263	3.4	102.6	1	115	0.7	47.9	0	11	0.7	69.7	0	23	3.7	173.6
8 6	0	4	0.0	7.5	0	263	2.1	104.7	5	120	3.3	51.2	0	11	1.3	71.0	1	24	3.0	176.6
9 1	0	4	0.6	8.0	2	265	3.3	108.0	3	123	3.5	54.7	0	11	0.1	71.1	0	24	0.7	177.3
9 2	0	4	0.2	8.2	0	265	0.7	108.7	2	125	0.7	55.4	0	11	0.0	71.1	3	27	0.6	177.9
9 3	0	4	0.1	8.3	2	267	0.3	109.0	0	125	0.2	55.6	0	11	0.0	71.1	0	27	0.3	178.1
9 4	0	4	0.0	8.3	0	267	0.1	109.1	0	125	0.0	55.6	0	11	0.2	71.4	0	27	0.1	178.3
9 5	0	4	0.1	8.5	0	267	0.0	109.1	0	125	0.1	55.7	0	11	0.0	71.4	0	27	0.0	178.3
9 6	0	4	0.1	8.6	0	267	0.1	109.2	0	125	0.0	55.7	0	11	0.0	71.4	0	27	0.0	178.3
10 1									0	125	0.0	55.7								
10 2									0	125	0.0	55.7								
10 3									0	125	0.0	55.7								
10 4									0	125	0.0	55.7								
10 5									0	125	0.0	55.7								
10 6									0	125	0.0	55.7								

越冬世代

第1世代



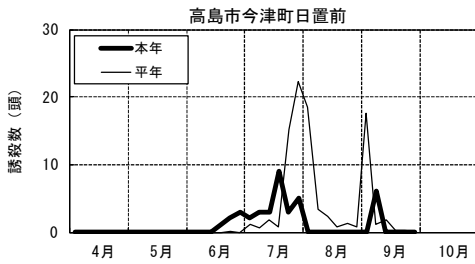
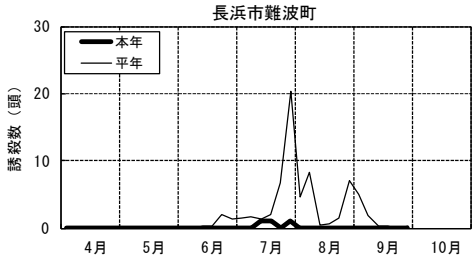
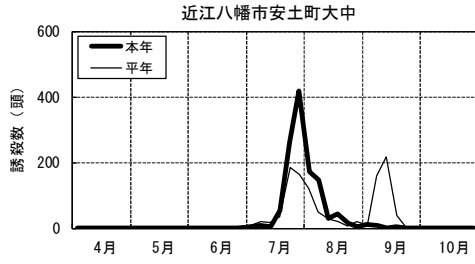
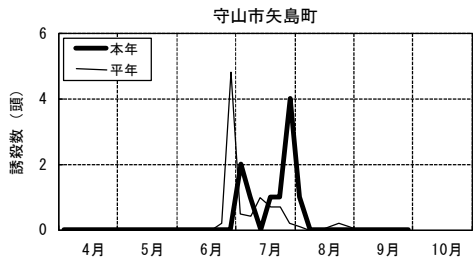
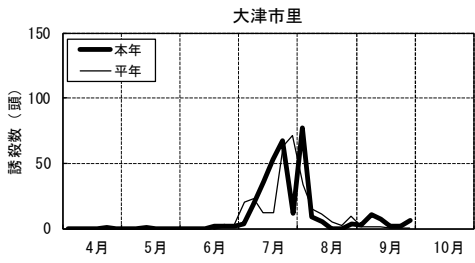
○表中の累積誘殺頭数は、越冬世代と第1世代を区別するため、4月第1半月～7月第1半月を越冬世代、7月第2半月～調査終了時を第1世代として積算している。

○平年値は基本的に過去10年間（H21～H30）の平均値であるが、高島市の予察灯では、移設により10年分のデータがなく、算出方法については以下のとおりにした。
・高島市今津町日置前の平年値はH24～H30の7年間の平均値

表中の - は欠測を示す。

ツマグロヨコバイ半旬別誘殺状況（予察灯）

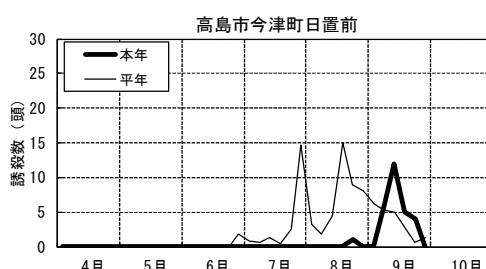
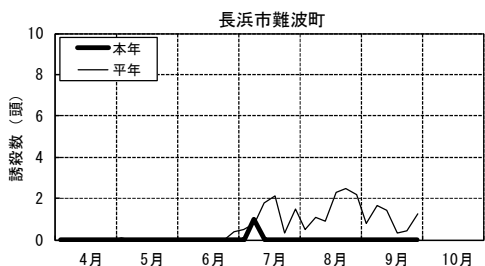
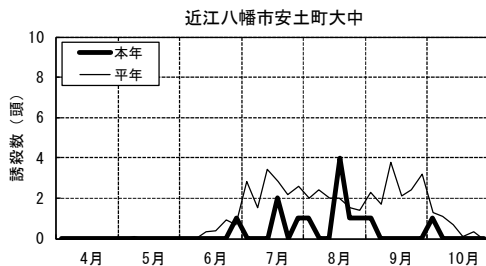
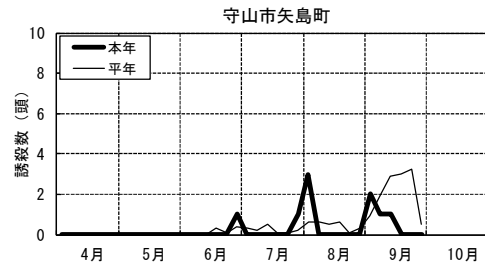
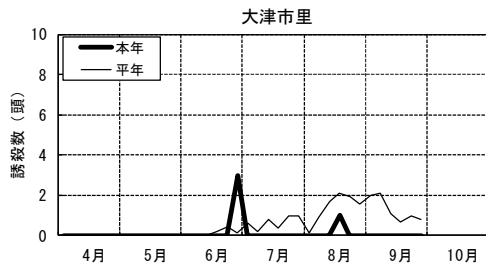
月 半旬	大津市里				守山市矢島町				近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前				
	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	
	4	1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0



○平年値は基本的に過去10年間（H21～H30）の平均値であるが、高島市の予察灯では、移設により10年分のデータがなく、算出方法については以下のとおりにした。
 ・高島市今津町日置前の平年値はH24～H30の7年間の平均値
 表中の - は欠測を示す。

セジロウカ半旬別誘殺状況（予察灯）

月	半旬	大津市里				守山市矢島町				近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前			
		本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積
4	1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4	2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4	3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4	4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4	5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4	6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
5	1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.1	-	0	0.0	0.0
5	2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.1	0	0	0.1	0.1	-	0	0.0	0.0
5	3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.1	-	0	0.0	0.0
5	4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.1	-	0	0.0	0.0
5	5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.1	-	0	0.0	0.0
5	6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.1	-	0	0.0	0.0
6	1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.1	-	0	0.0	0.0
6	2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
6	3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.3	0.4	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
6	4	0	0	0.2	0.2	0	0	0.3	0.3	0	0	0.4	0.8	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
6	5	0	0	0.4	0.7	0	0	0.1	0.4	0	0	0.9	1.7	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
6	6	3	3	0.1	0.8	1	1	0.4	0.8	1	1	0.7	2.4	0	0	0.4	0.5	0	0	1.9	1.9
7	1	0	3	0.6	1.4	0	1	0.3	1.1	0	1	2.8	5.2	0	0	0.5	1.0	0	0	0.9	2.7
7	2	0	3	0.2	1.6	0	1	0.2	1.3	0	1	1.5	6.7	1	1	0.8	1.8	0	0	0.6	3.3
7	3	0	3	0.8	2.4	0	1	0.5	1.8	0	1	3.4	10.1	0	1	1.8	3.6	0	0	1.3	4.6
7	4	0	3	0.4	2.8	0	1	0.1	1.9	2	3	2.8	12.9	0	1	2.1	5.7	0	0	0.4	5.0
7	5	0	3	1.0	3.8	0	1	0.1	2.0	0	3	2.2	15.1	0	1	0.3	6.0	0	0	2.4	7.4
7	6	0	3	1.0	4.8	1	2	0.2	2.2	1	4	2.6	17.7	0	1	1.5	7.5	0	0	14.6	22.0
8	1	0	3	0.1	4.9	3	5	0.6	2.8	1	5	2.0	19.7	0	1	0.5	8.0	0	0	3.3	25.3
8	2	0	3	0.9	5.8	0	5	0.6	3.4	0	5	2.4	22.1	0	1	1.1	9.1	0	0	1.9	27.1
8	3	0	3	1.7	7.5	0	5	0.5	3.9	0	5	2.0	24.1	0	1	0.9	10.0	0	0	4.4	31.6
8	4	1	4	2.1	9.6	0	5	0.6	4.5	4	9	2.0	26.1	0	1	2.3	12.3	0	0	15.0	46.6
8	5	0	4	1.9	11.5	0	5	0.1	4.6	1	10	1.5	27.6	0	1	2.5	14.8	1	1	8.9	55.4
8	6	0	4	1.6	13.1	0	5	0.3	4.9	1	11	1.4	29.0	0	1	2.2	17.0	0	1	8.0	63.4
9	1	0	4	2.0	15.1	2	7	0.9	5.8	1	12	2.3	31.3	0	1	0.8	17.8	0	1	6.1	69.6
9	2	0	4	2.1	17.2	1	8	2.0	7.8	0	12	1.7	33.0	0	1	1.7	19.5	6	7	5.3	74.9
9	3	0	4	1.1	18.4	1	9	2.9	10.7	0	12	3.8	36.8	0	1	1.4	20.9	12	19	4.9	79.7
9	4	0	4	0.7	19.0	0	9	3.0	13.7	0	12	2.1	38.9	0	1	0.3	21.2	5	24	2.9	82.6
9	5	0	4	1.0	20.0	0	9	3.2	16.9	0	12	2.4	41.3	0	1	0.4	21.7	4	28	0.6	83.1
9	6	0	4	0.8	20.8	0	9	0.5	17.4	0	12	3.2	44.5	0	1	1.2	22.9	0	28	1.3	84.4
10	1	/	/	/	/	/	/	/	/	1	13	1.3	45.8	/	/	/	/	/	/	/	/
10	2	/	/	/	/	/	/	/	/	0	13	1.1	46.9	/	/	/	/	/	/	/	/
10	3	/	/	/	/	/	/	/	/	0	13	0.7	47.6	/	/	/	/	/	/	/	/
10	4	/	/	/	/	/	/	/	/	0	13	0.1	47.7	/	/	/	/	/	/	/	/
10	5	/	/	/	/	/	/	/	/	0	13	0.3	48.0	/	/	/	/	/	/	/	/
10	6	/	/	/	/	/	/	/	/	0	13	0.0	48.0	/	/	/	/	/	/	/	/



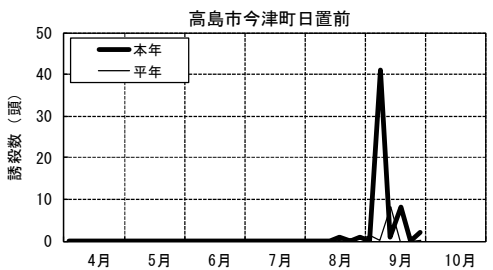
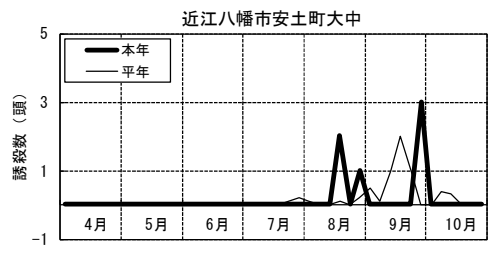
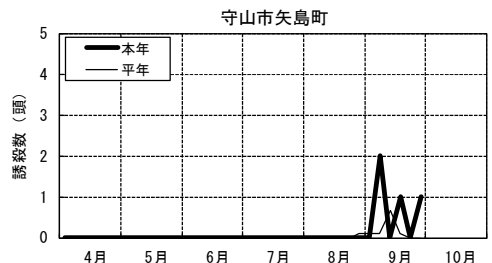
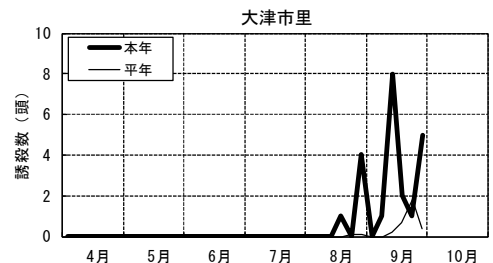
○平年値は基本的に過去10年間（H21～H30）の平均値であるが、高島市の予察灯では、移設により10年分のデータがなく、算出方法については以下のとおりにした。
 ・高島市今津町日置前の平年値はH24～H30の7年間の平均値

表中の - は欠測を示す。

トビイロウンカ半旬別誘殺状況（予察灯）

(頭)

月 半旬	大津市里				守山市矢島町				近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前			
	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積
4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
7	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.1	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.2	0.3	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
8	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.4	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.4	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.4	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.4	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4	1	1	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	2	2	0.1	0.5	0	0	0.0	0.0	-	1	1	0.1
5	0	1	0.1	0.1	0	0	0.0	0.0	2	2	0.0	0.5	0	0	0.1	0.1	-	0	1	0.6
6	4	5	0.1	0.2	0	0	0.1	0.1	1	3	0.2	0.7	0	0	0.0	0.1	-	1	2	0.4
9	0	5	0.0	0.2	0	0	0.1	0.2	0	3	0.5	1.2	0	0	0.0	0.1	-	0	2	1.3
1	1	6	0.0	0.2	2	2	0.1	0.3	0	3	0.1	1.3	0	0	0.0	0.1	-	41	43	0.3
2	8	14	0.2	0.4	0	0	0.0	0.0	0	3	1.0	2.3	0	0	0.0	0.1	-	1	44	8.3
3	2	16	0.7	1.1	1	3	0.1	1.1	0	3	2.0	4.3	0	0	0.0	0.1	-	8	52	0.1
4	1	17	1.8	2.9	0	3	0.0	1.1	0	3	1.0	5.3	0	0	0.0	0.1	-	0	52	0.0
5	5	22	0.4	3.3	1	4	0.0	1.1	3	6	0.0	5.3	0	0	0.0	0.1	-	2	54	0.1
6									3	6	0.0	6.0	0	0	0.0	0.1	-	2	54	0.1
10									6	6	0.0	6.0								
1									6	6	0.4	5.7								
2									6	6	0.3	6.0								
3									6	6	0.0	6.0								
4									6	6	0.0	6.0								
5									6	6	0.0	6.0								
6									6	6	0.0	6.0								

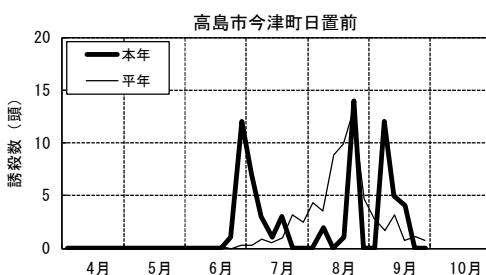
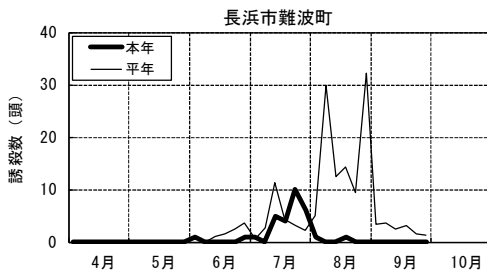
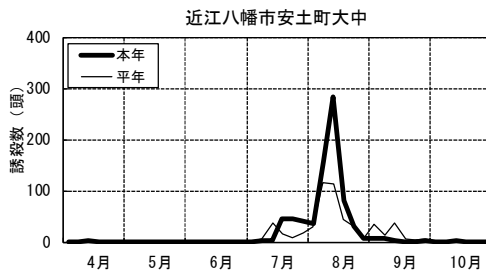
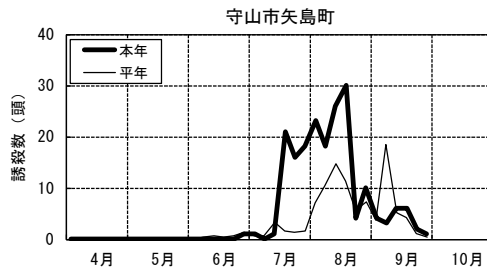
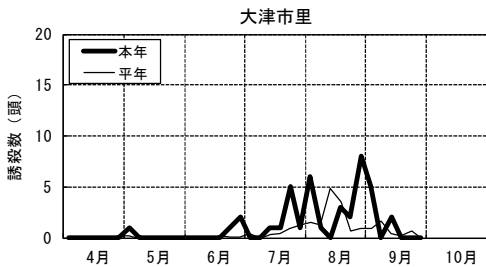


○平年値は基本的に過去10年間（H21～H30）の平均値であるが、長浜市、高島市の予察灯では、移設により10年分のデータがなく、算出方法については以下のとおりにした。
 ・高島市今津町日置前の平年値はH24～H30の7年間の平均値
 表中の - は欠測を示す。

ヒメトビウンカ半旬別誘殺状況（予察灯）

(頭)

月	半旬	大津市里				守山市矢島町				近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前			
		本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積
4	1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4	2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4	3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.1	2	2	0.5	0.5	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4	4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.1	0	2	0.4	0.9	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4	5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.1	0	2	0.1	1.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4	6	0	0	0.1	0.1	0	0	0.0	0.1	0	2	0.0	1.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
5	1	1	1	0.1	0.3	0	0	0.0	0.1	0	2	0.2	1.2	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
5	2	0	1	0.0	0.3	0	0	0.0	0.1	0	2	0.1	1.3	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
5	3	0	1	0.0	0.3	0	0	0.0	0.1	0	2	0.0	1.3	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
5	4	0	1	0.0	0.3	0	0	0.0	0.1	0	2	0.0	1.3	0	0	0.1	0.1	-	0	0.0	0.0
5	5	0	1	0.0	0.3	0	0	0.0	0.1	0	2	0.0	1.3	0	0	0.0	0.1	-	0	0.0	0.0
5	6	0	1	0.0	0.3	0	0	0.1	0.2	0	2	0.0	1.3	0	0	0.0	0.1	-	0	0.0	0.0
6	1	0	1	0.0	0.3	0	0	0.0	0.2	0	2	0.2	1.5	1	1	0.0	0.1	-	0	0.0	0.0
6	2	0	1	0.0	0.3	0	0	0.4	0.6	0	2	0.4	1.9	0	1	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
6	3	0	1	0.0	0.3	0	0	0.5	1.1	0	2	1.2	3.1	0	1	1.1	1.2	0	0	0.0	0.0
6	4	0	1	0.2	0.5	0	0	0.4	1.5	1	3	1.2	4.3	0	1	1.6	2.8	0	0	0.1	0.1
6	5	1	2	0.1	0.6	0	0	0.7	2.2	0	3	0.7	5.0	0	1	2.4	5.2	1	1	0.0	0.1
6	6	2	4	0.1	0.7	1	1	1.3	3.5	1	4	1.0	6.0	1	2	3.6	8.8	12	13	0.3	0.4
7	1	0	4	0.4	1.1	1	2	0.7	4.2	0	4	0.7	6.7	1	3	0.5	9.3	7	20	0.3	0.7
7	2	0	4	0.0	1.1	0	2	0.5	4.7	3	7	6.7	13.4	0	3	2.7	12.0	3	23	0.9	1.6
7	3	1	5	0.3	1.4	1	3	3.3	8.0	2	9	35.9	49.3	5	8	11.3	23.3	1	24	0.6	2.1
7	4	1	6	0.4	1.8	21	24	1.5	9.5	45	54	15.7	65.0	4	12	4.4	27.7	3	27	1.0	3.1
7	5	5	11	0.9	2.7	16	40	1.3	10.8	46	100	9.0	74.0	10	22	3.2	30.9	0	27	3.1	6.3
7	6	1	12	1.3	4.0	18	58	1.6	12.4	41	141	17.2	91.2	6	28	2.2	33.1	0	27	2.4	8.7
8	1	6	18	1.4	5.5	23	81	7.1	19.5	35	176	30.9	122.1	1	29	4.9	38.0	0	27	4.3	13.0
8	2	1	19	1.2	6.7	18	99	10.3	29.8	158	334	115.6	237.7	0	29	30.0	68.0	2	29	3.6	16.6
8	3	0	19	4.9	11.6	26	125	14.7	44.5	283	617	113.9	351.6	0	29	12.4	80.4	0	29	8.9	25.4
8	4	3	22	3.5	15.1	30	155	11.2	55.7	82	699	44.1	395.7	1	30	14.3	94.7	1	30	9.9	35.3
8	5	2	24	0.7	15.8	4	159	5.6	61.3	31	730	29.5	425.2	0	30	9.5	104.2	14	44	13.0	48.3
8	6	8	32	0.9	16.7	10	169	7.3	68.6	8	738	9.5	434.7	0	30	32.2	136.4	0	44	4.7	53.0
9	1	5	37	0.9	17.6	4	173	3.8	72.4	8	746	33.6	468.3	0	30	3.4	139.9	0	44	2.9	55.9
9	2	0	37	1.7	19.2	3	176	18.4	90.8	8	754	12.8	481.1	0	30	3.7	143.5	12	56	1.7	57.6
9	3	2	39	0.4	19.7	6	182	5.1	95.9	3	757	36.3	517.4	0	30	2.6	146.1	5	61	3.1	60.7
9	4	0	39	0.2	19.9	6	188	4.1	100.0	0	757	5.1	522.5	0	30	3.1	149.2	4	65	0.7	61.4
9	5	0	39	0.7	20.6	2	190	1.1	101.1	1	758	3.3	525.8	0	30	1.6	150.8	0	65	1.1	62.6
9	6	0	39	0.0	20.6	1	191	0.3	101.4	3	761	5.1	530.9	0	30	1.2	152.0	0	65	0.7	63.3
10	1									0	761	0.8	531.7								
10	2									1	762	0.4	532.1								
10	3									2	764	0.1	532.2								
10	4									0	764	0.2	532.4								
10	5									0	764	1.0	533.4								
10	6									0	764	1.4	534.8								



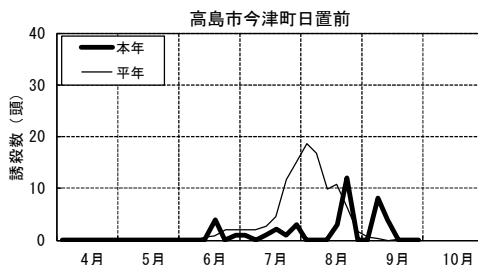
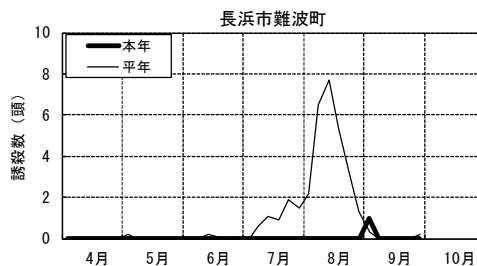
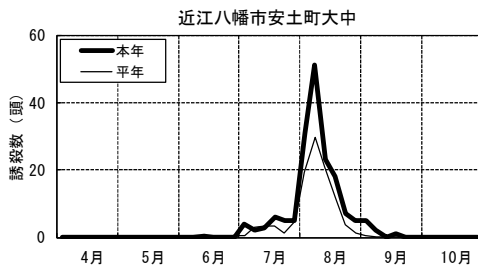
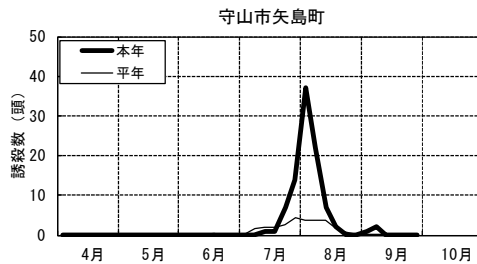
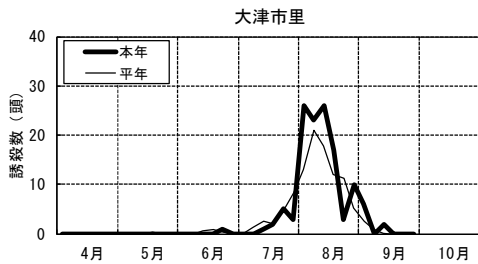
○平年値は基本的に過去10年間（H21～H30）の平均値であるが、高島市の予察灯では、移設により10年分のデータがなく、算出方法については以下のとおりにした。
・高島市今津町日置前の平年値はH24～H30の7年間の平均値

表中の - は欠測を示す。

フタオビコヤガ半旬別誘殺状況（予察灯）

(頭)

月	半旬	大津市里				守山市矢島町				近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前			
		本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積
4	1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4	2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4	3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4	4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4	5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4	6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
5	1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.2	0.2	-	0	0.0	0.0
5	2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.1	0	0	0.0	0.2	-	0	0.2	0.2
5	3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.2	-	0	0.0	0.2
5	4	0	0	0.3	0.3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.2	-	0	0.0	0.2
5	5	0	0	0.0	0.3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.2	0	0	0.0	0.2	-	0	0.1	0.3
5	6	0	0	0.0	0.3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.2	0	0	0.0	0.2	-	0	0.1	0.5
6	1	0	0	0.0	0.3	0	0	0.3	0.3	0	0	0.0	0.2	0	0	0.0	0.2	-	0	0.0	0.5
6	2	0	0	0.0	0.3	0	0	0.3	0.6	0	0	0.4	0.6	0	0	0.0	0.2	0	0	0.0	0.5
6	3	0	0	0.7	1.0	0	0	0.1	0.7	0	0	0.9	1.5	0	0	0.2	0.4	0	0	0.6	1.0
6	4	0	0	0.8	1.8	0	0	0.5	1.2	0	0	0.5	2.0	0	0	0.1	0.6	4	4	0.7	1.7
6	5	1	1	0.3	2.1	0	0	0.0	1.2	0	0	0.6	2.6	0	0	0.0	0.6	0	4	2.0	3.7
6	6	0	1	0.1	2.2	0	0	0.2	1.4	0	0	0.5	3.1	0	0	0.1	0.7	1	5	1.9	5.6
7	1	0	1	0.2	2.5	0	0	0.3	1.7	4	4	0.4	3.5	0	0	0.0	0.7	1	6	1.9	7.5
7	2	0	1	1.3	3.8	0	0	1.6	3.3	2	6	2.9	6.4	0	0	0.6	1.3	0	6	1.9	9.3
7	3	1	2	2.5	6.3	1	1	1.9	5.2	3	9	3.5	9.9	0	0	1.1	2.4	1	7	2.6	11.9
7	4	2	4	2.0	8.3	1	2	1.9	7.1	6	15	3.2	13.1	0	0	0.9	3.3	2	9	4.6	16.5
7	5	5	9	4.5	12.8	7	9	2.7	9.8	5	20	1.1	14.2	0	0	1.9	5.2	1	10	11.7	28.2
7	6	3	12	8.3	21.1	14	23	4.3	14.1	5	25	4.7	18.9	0	0	1.5	6.7	3	13	15.0	43.2
8	1	26	38	13.0	34.1	37	60	3.9	18.0	31	9	19.2	38.1	0	0	2.2	8.9	0	13	18.7	61.9
8	2	23	61	21.0	55.1	22	82	3.8	21.8	51	60	29.6	67.7	0	0	6.5	15.4	0	13	16.9	78.7
8	3	26	87	17.9	73.0	7	89	3.8	25.6	23	83	20.9	88.6	0	0	7.7	23.1	0	13	9.9	88.6
8	4	17	104	11.9	84.9	2	91	1.6	27.2	18	101	11.5	100.1	0	0	5.3	28.4	3	16	10.9	99.5
8	5	3	107	11.2	96.1	0	91	0.8	28.0	7	108	3.6	103.7	0	0	3.1	31.5	12	28	6.1	105.6
8	6	10	117	5.2	101.3	0	91	0.2	28.2	5	113	1.2	104.9	0	0	1.3	32.8	0	28	1.7	107.3
9	1	6	123	2.7	104.0	1	92	0.1	28.3	5	118	0.6	105.5	1	1	0.3	33.1	0	28	0.6	107.9
9	2	0	123	0.9	104.9	2	94	0.1	28.4	2	120	0.2	105.7	0	1	0.0	33.1	8	36	0.4	108.3
9	3	2	125	0.1	105.0	0	94	0.1	28.5	0	120	0.1	105.8	0	1	0.0	33.1	4	40	0.0	108.3
9	4	0	125	0.0	105.0	0	94	0.0	28.5	1	121	0.1	105.9	0	1	0.1	33.2	0	40	0.1	108.5
9	5	0	125	0.1	105.1	0	94	0.0	28.5	0	121	0.0	105.9	0	1	0.0	33.2	0	40	0.0	108.5
9	6	0	125	0.0	105.1	0	94	0.0	28.5	0	121	0.0	105.9	0	1	0.2	33.4	0	40	0.1	108.6
10	1									0	121	0.0	105.9								
10	2									0	121	0.0	105.9								
10	3									0	121	0.0	105.9								
10	4									0	121	0.0	105.9								
10	5									0	121	0.0	105.9								
10	6									0	121	0.0	105.9								



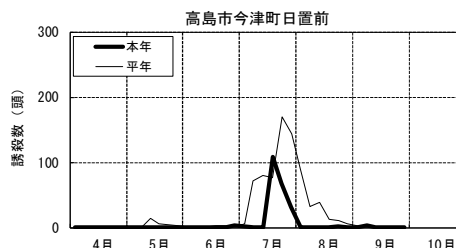
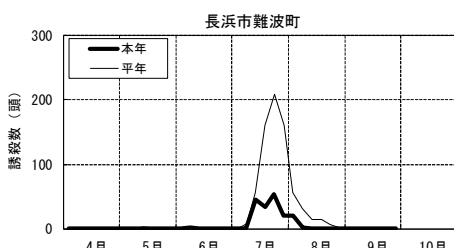
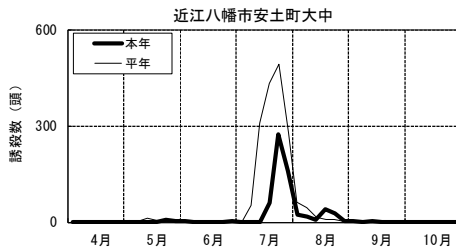
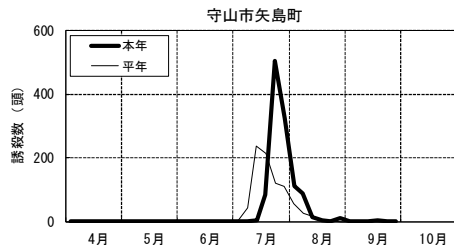
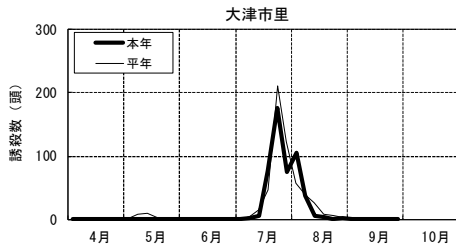
○平年値は基本的に過去10年間（H21～H30）の平均値であるが、高島市の予察灯では、移設により10年分のデータがなく、算出方法については以下のとおりにした。
・高島市今津町日置前の平年値はH24～H30の7年間の平均値

表中の - は欠測を示す。

イネミズゾウムシ半旬別誘殺状況（予察灯）

(頭)

月 半旬	大津市里				守山市矢島町				近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前			
	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積
4 1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
2	0	0	0.1	0.1	0	0	0.1	0.1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
3	0	0	0.0	0.1	0	0	0.2	0.3	0	0	0.2	0.2	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4	0	0	0.0	0.1	0	0	0.1	0.4	0	0	0.0	0.2	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
5	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.4	0	0	0.0	0.2	0	0	0.0	0.0	-	0	0.3	0.3
6	0	0	1.6	1.7	0	0	0.0	0.4	0	0	0.3	0.5	0	0	0.0	0.0	-	0	0.5	0.8
5 1	1	1	2.0	3.7	0	0	0.0	0.4	0	0	4.6	5.1	0	0	0.9	0.9	-	0	0.0	0.8
2	0	1	8.3	12.1	0	0	0.2	0.6	0	0	1.6	6.7	0	0	0.1	1.0	-	0	0.3	1.2
3	1	2	10.3	22.4	0	0	3.4	4.0	0	0	14.4	21.1	1	1	2.5	3.5	-	0	14.1	15.3
4	1	3	3.9	26.3	0	0	0.7	4.7	0	0	4.6	25.7	0	1	2.1	5.6	-	0	6.9	22.2
5	0	3	2.0	28.3	0	0	0.3	5.0	8	8	6.5	32.2	0	1	0.6	6.2	-	0	3.7	25.9
6	0	3	1.3	29.6	0	0	0.0	5.0	6	14	3.9	36.1	0	1	0.6	6.8	-	0	2.1	28.0
6 1	1	4	1.4	31.1	0	0	0.0	5.0	5	19	3.2	39.3	1	2	0.2	7.0	-	0	0.7	28.7
2	0	4	0.3	31.4	1	1	0.0	5.0	0	19	0.3	39.6	3	5	1.0	8.0	0	0	1.4	30.2
3	1	5	0.1	31.5	0	1	0.0	5.0	1	20	1.0	40.6	0	5	0.2	8.2	0	0	1.3	31.5
4	0	5	0.3	31.8	1	2	0.0	5.0	0	20	0.1	40.7	0	5	0.1	8.4	0	0	2.4	33.9
5	1	6	1.4	33.3	0	2	0.0	5.0	0	20	0.6	41.3	0	5	0.1	8.5	0	0	2.9	36.7
6	1	7	0.2	33.5	0	2	0.4	5.4	3	23	0.5	41.8	0	5	0.3	8.8	3	3	0.7	37.5
7 1	1	8	0.4	33.9	0	2	2.6	8.0	0	23	0.6	42.4	0	5	0.0	8.8	2	5	5.6	43.0
2	3	11	4.8	38.7	2	4	42.2	50.2	0	23	51.9	94.3	0	5	7.4	16.2	1	6	72.1	115.2
3	6	17	14.8	53.5	5	9	236.1	286.3	1	24	308.4	402.7	46	51	56.4	72.6	1	7	80.6	195.7
4	77	94	46.6	100.1	85	94	213.7	500.0	60	84	433.5	836.2	34	85	160.2	232.8	109	116	76.6	272.3
5	176	270	210.9	311.0	506	600	120.3	620.3	275	359	494.3	1330.5	53	138	209.1	441.9	68	184	171.0	443.3
6	74	344	123.4	434.4	322	922	108.7	729.0	163	522	281.2	1611.7	21	159	160.6	602.5	31	215	144.4	587.7
8 1	105	449	57.7	492.0	113	1035	57.7	786.7	26	548	62.4	1674.1	20	179	56.0	658.5	0	215	90.1	677.9
2	37	486	38.9	530.9	87	1122	27.1	813.8	17	565	45.2	1719.3	3	182	31.7	690.2	0	215	32.6	710.5
3	6	492	26.0	556.9	16	1138	15.7	829.5	8	573	17.8	1737.1	0	182	13.9	704.1	0	215	39.4	749.9
4	4	496	8.2	565.1	4	1142	7.2	836.7	41	614	9.4	1746.5	1	183	15.1	719.2	0	215	13.1	763.0
5	1	497	6.5	571.6	0	1142	3.5	840.2	28	642	10.0	1756.5	1	184	5.7	724.9	2	217	11.3	774.3
6	3	500	3.5	575.1	10	1152	0.8	841.0	4	646	2.9	1759.4	0	184	0.7	725.5	0	217	5.7	780.0
9 1	0	500	0.8	575.9	1	1153	0.8	841.8	5	651	1.8	1761.2	1	185	0.4	726.0	0	217	2.3	782.3
2	0	500	0.8	576.7	2	1155	0.2	842.0	1	652	1.5	1762.7	0	185	0.9	726.9	4	221	0.6	782.9
3	0	500	1.0	577.7	0	1155	1.2	843.2	3	655	1.0	1763.7	0	185	0.1	727.0	0	221	0.3	783.2
4	0	500	0.2	577.9	4	1159	0.4	843.7	1	656	0.3	1764.0	0	185	0.2	727.2	1	222	0.3	783.5
5	0	500	0.2	578.1	0	1159	0.0	843.7	0	656	0.7	1764.7	0	185	0.2	727.4	0	222	0.6	784.0
6	0	500	0.4	578.6	0	1159	0.0	843.7	0	656	1.1	1765.8	0	185	0.1	727.5	0	222	0.7	784.7
10 1									1	657	1.0	1766.8								
2									1	658	0.8	1767.6								
3									0	658	0.2	1767.8								
4									0	658	0.1	1767.9								
5									0	658	0.5	1768.4								
6									0	658	0.0	1768.4								



○平年値は基本的に過去10年間（H21～H30）の平均値であるが、高島市の予察灯では、移設により10年分のデータがなく、算出方法については以下のとおりにした。
・高島市今津町日置前の平年値はH24～H30の7年間の平均値

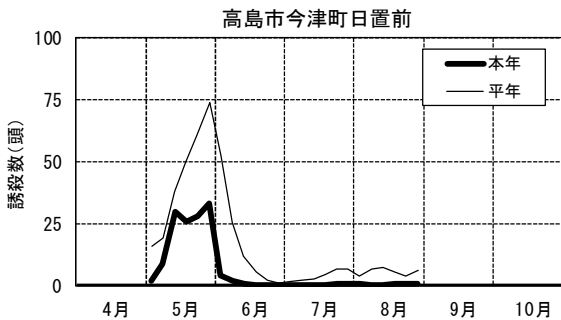
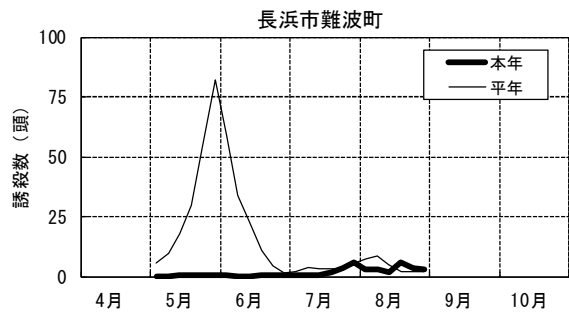
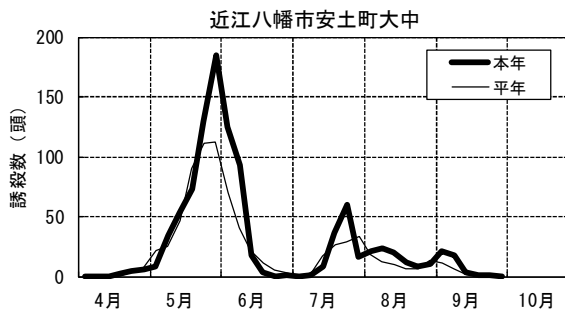
表中の - は欠測を示す。

(ウ) フェロモントラップによる調査
ニカメイガ半旬別誘殺状況（フェロモントラップ）

月	半旬	近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前			
		本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積
4	1	0	0	0.1	0.1								
	2	0	0	0.0	0.1								
	3	0	0	0.3	0.4								
	4	3	3	1.1	1.5								
	5	5	8	4.1	5.6								
	6	6	14	7.7	13.3								
5	1	9	23	22.4	35.7	0	0	5.8	5.8	2	2	15.8	15.8
	2	35	58	25.1	60.8	0	0	9.6	15.4	9	11	19.2	35.0
	3	53	111	46.9	107.7	1	1	18.0	33.4	30	41	38.2	73.2
	4	73	184	90.7	198.4	1	2	29.8	63.2	26	67	49.8	123.0
	5	129	313	110.9	309.3	1	3	54.6	117.8	28	95	60.9	183.9
	6	185	498	112.3	421.6	1	4	82.4	200.2	33	128	74.0	257.9
6	1	125	623	70.2	491.8	1	5	59.0	259.2	4	132	52.6	310.4
	2	93	716	40.9	532.7	0	5	34.0	293.2	2	134	25.9	336.3
	3	18	734	22.6	555.3	0	5	23.6	316.7	1	135	11.7	348.0
	4	4	738	11.7	567.0	1	6	10.8	327.5	0	135	5.4	353.4
	5	0	738	5.5	572.5	1	7	4.3	331.8	0	135	2.0	355.4
	6	2	740	3.5	576.0	1	8	1.8	333.6	0	135	1.0	356.4
7	1	0	740	1.1	577.1	1	9	2.0	335.6	0	135	1.9	358.3
	2	2	2	3.3	3.3	1	1	3.8	3.8	0	0	2.4	2.4
	3	9	11	17.9	21.2	1	2	3.5	7.3	0	0	2.9	5.3
	4	37	48	26.7	47.9	2	4	3.4	10.7	0	0	4.4	9.7
	5	60	108	29.2	77.1	4	8	3.7	14.4	1	1	6.6	16.3
	6	17	125	33.3	110.4	6	14	5.9	20.3	1	2	6.6	22.9
8	1	21	146	18.6	129.0	3	17	7.3	27.6	1	3	4.0	26.9
	2	24	170	12.4	141.4	3	20	8.7	36.3	0	3	6.7	33.6
	3	20	190	10.2	151.6	2	22	4.9	41.2	0	3	7.1	40.7
	4	12	202	7.3	158.9	6	28	2.4	43.6	1	4	5.4	46.1
	5	9	211	7.1	166.0	4	32	2.5	46.1	1	5	4.1	50.3
	6	11	222	13.8	179.8	3	35	2.4	48.5	1	6	6.1	56.4
9	1	21	243	11.6	191.4								
	2	18	261	7.2	198.6								
	3	4	265	1.9	200.5								
	4	1	266	1.1	201.6								
	5	1	267	1.2	202.8								
	6	0	267	1.1	203.9								

越冬世代

第1世代



- ・表中の累積誘殺頭数は、越冬世代と第1世代を区別するため、4月第1半旬～7月第1半旬を越冬世代、7月第2半旬～調査終了時を第1世代として積算している。
- ・近江八幡市安土町大中の平年値はH21～H30の10年間の平均値。
- ・長浜市難波町の平年値はH21～H30の10年間の平均値。
- ・高島市今津町日置前の平年値はH24～H30の7年間の平均値。

エ 一般ほ場における調査

(ア) すくい取りおよび払い落とし調査

a ツマグロヨコバイ、ヒメトビウンカ (越冬量調査)

(頭)

調査地点名	害虫名	ツマグロヨコバイ			ヒメトビウンカ		
		成虫	幼虫	合計	成虫	幼虫	合計
	月日	4/2~4					
大津市	上田上中野	0	0	0	8	1	9
	和邇南浜	0	0	0	0	0	0
草津市	下笠町	0	4	4	1	2	3
守山市	赤野井町	0	0	0	1	0	1
栗東市	下戸山	0	0	0	2	0	2
野洲市	上屋	0	0	0	0	3	3
湖南市	朝国	0	0	0	0	1	1
甲賀市	水口町山	0	0	0	4	0	4
	甲賀町滝	0	0	0	1	0	1
	信楽町黄瀬	0	0	0	0	0	0
近江八幡市	野村町	0	0	0	0	1	1
	安土町大中	14	4	18	15	0	15
日野町	日田	0	0	0	0	0	0
竜王町	田中	0	0	0	11	3	14
東近江市	岡田町	0	0	0	4	0	4
	川合町	0	0	0	0	0	0
	石谷町	0	0	0	3	0	3
	五個荘金堂町	0	0	0	5	0	5
	能登川町	0	0	0	0	0	0
	妹町	0	0	0	0	0	0
彦根市	新海町	0	1	1	1	0	1
愛荘町	東円堂	0	0	0	17	0	17
甲良町	法養寺	0	0	0	17	0	17
多賀町	土田	0	0	0	108	1	109
米原市	本市場	0	0	0	2	0	2
	入江	0	0	0	1	5	6
	西円寺	0	0	0	4	0	4
長浜市	永久寺町	0	0	0	1	0	1
	湯次	0	0	0	4	0	4
	早崎町	0	0	0	0	11	11
	高月町柳野中	0	0	0	18	4	22
	余呉町坂口	0	0	0	0	0	0
高島市	マキノ町知内	0	0	0	0	0	0
	今津町上弘部	0	0	0	0	0	0
	安曇川町北船木	0	0	0	0	3	3
	新旭町北畑	0	0	0	0	1	1

すくい取り：1地点 50回振 合計虫数

b セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、フタオビコヤガ

(頭)

調査地点名	害虫名 調査方法 調査月日	セジロウンカ			トビイロウンカ			ヒメトビウンカ		ツマグロヨコバイ		フタオビコヤガ
		すくい取り		払落	すくい取り		払落	すくい取り		すくい取り		払落
		7/8~12	8/9~9/3	8/7~29	7/8~12	8/9~9/3	8/7~29	7/8~12	8/9~9/3	7/8~12	8/9~9/3	6/24~26
大津市	関津	0	1	0	0	0	0	22	17	6	0	0
	和邇南浜	0	1	0	0	0	0	1	76	0	50	0
草津市	下笠町	0	2	0	0	0	0	4	74	11	108	0
守山市	赤野井町	1	0	3	0	0	0	5	252	0	0	0
栗東市	上砥山	1	1	0	0	0	0	14	326	2	2	0
野洲市	上屋	0	0	0	0	0	0	15	178	7	3	0
湖南市	岩根	0	0	0	0	0	0	2	5	0	0	0
甲賀市	水口町山	0	6	0	0	0	0	0	39	0	0	0
	甲賀町滝	0	1	0	0	0	0	0	110	0	0	0
	信楽町黄瀬	0	0	0	0	0	0	1	8	1	0	0
近江八幡市	野村町	2	0	1	0	0	0	31	140	1	0	0
	安土町大中	0	3	0	0	0	0	0	317	0	13	0
日野町	日田	0	3	0	0	0	0	3	98	0	1	0
竜王町	小口	0	0	0	0	0	0	7	687	0	0	0
東近江市	林田町	0	0	0	0	0	0	28	950	0	0	0
	川合町	1	0	0	0	0	0	11	14	1	0	0
	石谷町	0	3	0	0	0	0	2	41	0	0	0
	五個荘平阪町	1	5	0	0	0	0	14	1239	1	0	0
	栗見新田町	2	0	0	0	0	0	38	916	9	3	0
	鯉江町	0	0	0	0	0	0	4	38	1	6	0
彦根市	新海町	1	0	0	0	0	0	9	243	0	1	0
愛荘町	東円堂	0	0	0	0	0	0	6	403	0	78	0
甲良町	法養寺	0	0	0	0	0	0	10	113	0	0	0
多賀町	土田	0	5	0	0	0	0	10	1091	0	0	0
米原市	本市場	1	0	0	0	0	0	2	304	0	0	0
	入江	0	3	0	0	0	0	4	218	0	20	0
	西円寺	1	0	0	0	0	0	3	112	0	13	0
長浜市	永久寺町	0	1	0	0	0	0	3	421	0	181	0
	湯次町	4	0	0	0	0	0	6	385	0	0	0
	早崎町	6	4	0	0	0	0	3	435	2	64	0
	高月町柳野中	0	0	0	0	1	0	2	27	0	131	0
	余呉町坂口	4	1	0	0	0	0	11	83	0	0	1
高島市	マキノ町知内	0	0	0	0	0	0	0	93	0	0	0
	今津町上弘部	1	3	0	0	0	0	0	141	0	0	0
	安曇川町北船木	0	1	0	0	0	0	2	177	9	0	1
	新旭町北畑	1	0	0	0	0	0	1	138	0	199	0

すくい取り：1地点 1筆10回 5筆50回振 合計虫数（成幼合計）

払い落とし：1地点 1筆5株 5筆25株 合計虫数（成幼合計）

c 斑点米カメムシ類（7月11日基準調査）

(頭)

調査地点名	調査月日 調査場所 害虫名	7/8~12											
		水田					畦畔						
		ホソハリ カメムシ	クモヘリ カメムシ	トゲシラホシ カメムシ	アカスジ カスミカメ	アカヒゲホソミ ドリカスミカメ	その他 斑点米 カメムシ類	ホソハリ カメムシ	クモヘリ カメムシ	トゲシラホシ カメムシ	アカスジ カスミカメ	アカヒゲホソミ ドリカスミカメ	その他 斑点米 カメムシ類
大津市	関津	0	5	0	0	0	0	9	6	0	11	0	0
	和邇南浜	1	0	0	0	0	0	1	0	0	92	13	7
草津市	下笠町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	1	4
守山市	赤野井町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	38	4
栗東市	上砥山	1	7	0	0	0	0	1	7	0	10	1	0
野洲市	上屋	4	0	0	0	0	0	4	0	0	39	1	1
湖南市	岩根	2	0	2	0	0	0	2	0	2	22	1	2
甲賀市	水口町山	7	38	0	0	0	1	7	38	0	15	0	13
	甲賀町滝	5	85	0	0	0	0	5	85	0	90	1	0
	信楽町黄瀬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
近江八幡市	野村町	0	0	1	0	0	0	0	0	1	7	0	6
	安土町大中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0
日野町	日田	2	0	0	1	0	0	2	0	0	55	5	4
竜王町	小口	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0
東近江市	林田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	川合町	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0
	石谷町	2	0	0	0	0	0	2	0	0	3	1	0
	五個荘平阪町	1	0	0	1	0	0	1	0	0	18	0	0
	栗見新田町	6	0	0	0	0	0	6	0	0	77	20	1
彦根市	鯉江町	1	0	0	0	0	0	1	0	0	73	4	8
彦根市	新海町	4	0	2	0	0	3	4	0	2	24	1	2
愛荘町	東円堂	8	0	0	0	0	1	8	0	0	84	2	3
甲良町	法養寺	5	0	1	17	4	0	5	0	1	13	0	3
多賀町	土田	0	14	0	0	0	1	0	14	0	15	16	19
米原市	本市場	5	0	0	0	0	0	5	0	0	114	42	6
	入江	2	0	0	0	0	0	2	0	0	4	0	0
	西円寺	7	0	2	0	0	0	7	0	2	54	11	0
長浜市	永久寺町	11	0	2	0	0	0	11	0	2	22	0	3
	湯次町	3	0	1	0	0	0	3	0	1	16	0	0
	早崎町	4	0	0	0	0	0	4	0	0	3	1	15
	高月町柳野中	12	0	0	0	0	0	12	0	0	21	1	5
	余呉町坂口	46	0	2	0	0	1	46	0	2	118	0	7
高島市	マキノ町知内	2	1	0	0	1	0	2	1	0	119	8	4
	今津町上弘部	2	0	1	0	0	0	2	0	1	2	0	11
	安曇川町北船木	0	3	0	0	0	0	0	3	0	24	5	2
高島市	新旭町北畑	2	0	0	0	0	0	2	0	0	54	4	7

すくい取り：1地点 1筆10回 5筆50回振 合計虫数

d 斑点米カメムシ類（糊熟期調査）

(頭)

調査地点名	調査月日 イネの生育ステージ 害虫名	8/9～9/3 糊熟期					
		ホソハリ カメムシ	クモヘリ カメムシ	トゲシラホシ カメムシ	アカスジ カスミカメ	アカヒゲホソミ ドリカスミカメ	その他 斑点米 カメムシ類
		大津市	関津	0	1	0	0
	和邇南浜	0	0	0	2	0	0
草津市	下笠町	1	0	0	1	0	5
守山市	赤野井町	0	0	0	0	0	0
栗東市	上砥山	0	0	0	0	0	0
野洲市	上屋	0	0	0	2	0	0
湖南市	岩根	0	0	0	0	0	0
甲賀市	水口町山	0	0	0	0	0	0
	甲賀町滝	0	0	1	0	0	0
	信楽町黄瀬	0	0	0	0	0	0
近江八幡市	野村町	1	0	0	0	0	1
	安土町大中	1	0	0	0	0	0
日野町	日田	3	0	0	0	0	0
竜王町	小口	0	0	0	0	0	0
東近江市	林田町	0	0	0	0	0	0
	川合町	0	0	0	0	0	0
	石谷町	0	0	0	0	0	0
	五個荘平阪町	0	0	0	0	0	0
	栗見新田町	0	0	0	0	0	0
	鯉江町	0	0	0	0	0	0
彦根市	新海町	0	0	0	0	0	0
愛荘町	東円堂	3	0	0	0	0	3
甲良町	法養寺	0	0	0	0	0	0
多賀町	土田	0	0	0	0	0	0
米原市	本市場	2	0	1	0	0	1
	入江	1	1	0	0	0	1
	西円寺	2	3	1	8	0	2
長浜市	永久寺町	5	0	0	11	0	0
	湯次町	1	0	0	0	0	0
	早崎町	0	0	0	0	0	0
	高月町柳野中	3	0	0	0	0	0
	余呉町坂口	0	0	0	0	0	0
高島市	マキノ町知内	0	0	0	0	0	0
	今津町上弘部	0	0	0	0	0	0
	安曇川町北船木	0	0	0	0	0	0
	新旭町北畑	1	0	0	3	0	0

すくい取り：1地点 1筆10回 5筆50回振 合計虫数

e コバネイナゴ、クサキリ、ササキリ

(頭)

調査地点名	調査月日 調査場所	7/8~12						8/9~9/3
		水田			畦畔			水田
		コバネイナゴ	クサキリ	ササキリ	コバネイナゴ	クサキリ	ササキリ	コバネイナゴ
大津市	関津	6	0	1	0	0	3	0
	和邇南浜	9	0	0	11	2	1	0
草津市	下笠町	17	0	1	1	0	1	11
守山市	赤野井町	4	0	4	0	0	0	1
栗東市	上砥山	12	0	0	4	0	1	1
野洲市	上屋	5	0	0	2	0	3	1
湖南市	岩根	3	0	1	0	0	15	0
甲賀市	水口町山	10	0	1	0	0	0	0
	甲賀町滝	14	0	0	0	0	0	3
	信楽町黄瀬	1	0	0	0	0	1	1
近江八幡市	野村町	3	0	0	0	0	0	0
	安土町大中	3	0	0	0	0	0	1
日野町	日田	1	2	1	0	1	0	2
竜王町	小口	11	0	0	0	0	0	3
東近江市	林田町	1	0	0	0	0	0	0
	川合町	5	0	0	0	0	0	0
	石谷町	18	0	0	0	0	0	4
	五個荘平阪町	12	1	1	0	0	0	7
	栗見新田町	4	0	0	0	0	0	1
	鯉江町	2	0	1	0	0	0	1
彦根市	新海町	2	0	0	0	0	0	1
愛荘町	東円堂	17	0	1	0	0	3	0
甲良町	法養寺	6	0	0	2	0	0	0
多賀町	土田	5	0	0	0	0	1	7
米原市	本市場	4	0	1	1	0	0	4
	入江	11	0	0	3	0	0	1
	西円寺	14	0	0	2	0	0	31
長浜市	永久寺町	1	0	0	1	0	1	0
	湯次町	3	0	0	1	0	0	2
	早崎町	2	0	0	6	0	1	2
	高月町柳野中	137	0	2	7	0	1	14
	余呉町坂口	64	0	2	4	2	4	0
高島市	マキノ町知内	8	0	1	1	0	5	3
	今津町上弘部	15	0	3	0	1	0	1
	安曇川町北船木	16	0	2	1	0	0	4
	新旭町北畑	4	0	3	2	0	0	0

1地点 1筆10回 5筆50回振 合計虫数(成幼虫数)

(イ) 発生量調査

a 地点別調査結果

調査地点名		葉いもち		穂いもち		紋 枯 病		もみ枯細菌病		白葉枯病	
		発 生 ほ場率	平 均 発病度	発 生 ほ場率	平均発 病穂率	発 生 ほ場率	平 均 発病度	発 生 ほ場率	平均発 病株率	発 生 ほ場率	平 均 発病度
大 津 市	関 津	0	0	60	0.69	100	9.2	0	0	0	0
	和 邇 南 浜	0	0	0	0	100	3.2	0	0	0	0
草 津 市	下 笠 町	0	0	80	0.24	100	10.6	0	0	0	0
守 山 市	赤 野 井 町	60	0.6	80	0.19	100	23.6	0	0	0	0
栗 東 市	上 砥 山	20	0.2	80	0.23	100	3.6	0	0	0	0
野 洲 市	上 屋	0	0	100	0.31	100	4.8	0	0	0	0
湖 南 市	岩 根	0	0	80	0.70	100	15.8	0	0	0	0
甲 賀 市	水 口 町 山	0	0	100	0.20	60	3.2	0	0	0	0
	甲 賀 町 滝	60	0.6	100	0.25	100	5.4	0	0	0	0
	信 楽 町 黄 瀬	0	0	20	0.04	20	0.4	0	0	0	0
近 江 八 幡 市	野 村 町	0	0	80	0.16	100	5.8	0	0	0	0
	安 土 町 大 中	0	0	80	0.28	100	5.0	0	0	0	0
日 野 町	日 田	20	0.4	20	0.03	100	8.8	0	0	0	0
竜 王 町	小 口	40	0.6	100	0.44	100	26.4	0	0	0	0
東 近 江 市	林 田 町	0	0	100	0.27	100	17.0	0	0	0	0
	川 合 町	0	0	60	0.19	100	28.0	0	0	0	0
	石 谷 町	0	0	60	0.34	100	2.8	0	0	0	0
	五 個 荘 平 阪 町	0	0	60	0.12	80	18.0	0	0	0	0
	栗 見 新 田 町	40	0.4	100	0.20	100	7.4	0	0	0	0
	鯉 江 町	20	0.2	100	0.60	100	5.6	0	0	0	0
彦 根 市	新 海 町	0	0	20	0.05	100	33.8	0	0	0	0
愛 荘 町	東 円 堂	20	0.2	80	0.15	100	16.2	0	0	0	0
甲 良 町	法 養 寺	0	0	20	0.05	100	33.2	0	0	0	0
多 賀 町	土 田	0	0	40	0.12	80	10.0	0	0	0	0
米 原 市	本 市 場	0	0	40	0.09	100	5.4	0	0	0	0
	入 江	0	0	0	0	40	0.4	0	0	20	0.1
	西 円 寺	0	0	40	0.10	100	5.8	0	0	0	0
長 浜 市	永 久 寺 町	0	0	20	0.06	100	5.6	0	0	0	0
	湯 次 町	0	0	20	0.05	100	14.8	0	0	0	0
	早 崎 町	0	0	0	0	100	10.0	0	0	0	0
	高 月 町 柳 野 中	0	0	60	0.12	100	17.4	0	0	0	0
	余 呉 町 坂 口	0	0	0	0	100	8.8	0	0	0	0
高 島 市	マキノ町知内	0	0	40	0.11	100	12.0	0	0	0	0
	今津町上弘部	0	0	0	0	100	3.2	0	0	0	0
	安曇川町北船木	0	0	40	0.12	100	7.4	0	0	0	0
	新旭町北畑	20	0.2	60	0.10	100	1.4	0	0	0	0

1 地点 5 筆調査。発生ほ場率 (%) は、5 筆中に対象病害が発生した筆数より算出。

平均発病度は、1 筆あたり25株の発病度を調査し、5 筆の平均を算出したもの。

平均発病穂 (株) 率 (%) は、1 筆あたり25株を調査して発病穂 (株) 率を求め、5 筆の平均を算出したもの。

発病度の算出は、発生予察事業の調査実施基準 (平成28年農林水産省生産局植物防疫課) に従った。

地点別調査結果（つづき）

調査地点名	病害虫名	ごま葉枯病		稲こうじ病		ばか苗病		黄萎病（立毛中）		黄萎病（再生芽）	
		発生ほ場率	平均発病度	発生ほ場率	平均発病株率	発生ほ場率	平均発病株率	発生ほ場率	平均発病株率	発生ほ場率	平均発病株率
大津市	関津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	和邇南浜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
草津市	下笠町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
守山市	赤野井町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栗東市	上砥山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野洲市	上屋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湖南市	岩根	20	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0
甲賀市	水口町山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	甲賀町滝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	信楽町黄瀬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近江八幡市	野村町	20	0.2	20	0.4	0	0	0	0	0	0
	安土町大中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日野町	日田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
竜王町	小口	20	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0
東近江市	林田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	川合町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石谷町	60	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0
	五個荘平阪町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	栗見新田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鯉江町	60	2.0	0	0	0	0	0	0	0	0
彦根市	新海町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛荘町	東円堂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
甲良町	法養寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
多賀町	土田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
米原市	本市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入江	0	0	40	0.8	0	0	0	0	0	0
	西円寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長浜市	永久寺町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	湯次町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	早崎町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高月町柳野中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	余呉町坂口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高島市	マキノ町知内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	今津町上弘部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	安曇川町北船木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	新旭町北畑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

1 地点 5 筆調査。発生ほ場率（％）は、5 筆中对象病害が発生した筆数より算出。

平均発病度は、1 筆あたり 25 株の発病度を調査し、5 筆の平均を算出したもの。

平均発病株率（％）は、1 筆あたり稲こうじ病で 50 株、ばか苗病で 100 株、黄萎病（立毛中）で 25 株、黄萎病（再生芽）で 400 株を調査して発病株率を求め、5 筆の平均を算出したもの。

発病度の算出は、発生予察事業の調査実施基準（平成 28 年農林水産省生産局植物防疫課）に従った。

地点別調査結果（つづき）

調査地点名		病害虫名		縞葉枯病(立毛中)		縞葉枯病(再生芽)		イネミズゾウムシ		イネドロオイムシ	
		発生 ほ場率	平均発 病株率	発生 ほ場率	平均発 病株率	発生 ほ場率	平均 被害度	発生 ほ場率	平均 被害度		
大津市	関津	40	1.6	40	0.1	100	17.6	0	0		
	和邇南浜	20	0.8	0	0	80	1.4	100	1.0		
草津市	下笠町	80	4.0	100	9.1	60	2.4	0	0		
守山市	赤野井町	20	0.8	100	8.1	20	0.2	0	0		
栗東市	上砥山	60	2.4	100	15.9	40	0.4	80	2.0		
野洲市	上屋	80	4.0	100	15.5	80	6.2	0	0		
湖南市	岩根	100	4.0	100	2.4	0	0	0	0		
甲賀市	水口町山	20	0.8	100	1.3	60	1.2	40	0.4		
	甲賀町滝	20	0.8	100	1.1	80	2.2	0	0		
	信楽町黄瀬	60	2.4	100	1.2	0	0	100	3.0		
近江八幡市	野村町	40	1.6	100	4.0	80	5.6	0	0		
	安土町大中	100	4.8	100	0.7	40	3.0	0	0		
日野町	日田	20	0.8	80	0.5	40	0.4	0	0		
竜王町	小口	100	4.0	100	10.0	60	1.4	0	0		
東近江市	林田町	60	2.4	100	1.5	0	0	0	0		
	川合町	40	1.6	100	4.8	40	3.0	0	0		
	石谷町	20	0.8	20	0.2	60	0.8	0	0		
	五個荘平阪町	60	2.4	100	1.1	40	0.6	0	0		
	栗見新田町	20	0.8	100	0.9	60	0.6	0	0		
	鯉江町	60	2.4	100	0.4	40	0.6	0	0		
彦根市	新海町	40	1.6	100	0.3	60	0.6	0	0		
愛荘町	東円堂	20	0.8	60	0.2	20	0.2	0	0		
甲良町	法養寺	20	0.8	80	0.2	60	1.0	0	0		
多賀町	土田	20	0.8	80	0.6	20	0.2	0	0		
米原市	本市場	0	0	0	0	0	0	0	0		
	入江	0	0	0	0	100	2.2	0	0		
	西円寺	0	0	20	0.1	0	0	0	0		
長浜市	永久寺町	0	0	40	0.1	0	0	0	0		
	湯次町	0	0	20	0.1	20	0.2	0	0		
	早崎町	0	0	20	0.1	100	7.2	0	0		
	高月町柳野中	20	0.8	40	0.1	80	2.4	0	0		
	余呉町坂口	0	0	0	0	40	0.6	0	0		
高島市	マキノ町知内	0	0	0	0	60	5.8	0	0		
	今津町上弘部	0	0	0	0	100	3.2	0	0		
	安曇川町北船木	0	0	60	0.2	100	3.0	20	0.2		
	新旭町北畑	0	0	0	0	100	1.8	0	0		

1 地点5筆調査。発生ほ場率(%)は、5筆中に対象病害虫が発生した筆数より算出。

平均発病株率(%)は、1筆あたり縞葉枯病(立毛中)で25株、縞葉枯病(再生芽)で400株を調査して発病株率を求め、5筆の平均を算出したもの。

平均被害度は、1筆あたり25株の被害度を調査し、5筆の平均を算出したもの。

被害度の算出は、発生予察事業の調査実施基準(平成28年農林水産省生産局植物防疫課)に従った。

地点別調査結果（つづき）

調査地点名		病害虫名		ニカメイガ(1)		ニカメイガ(2)		イチモンジセセリ	コブノメイガ		イネクロカメムシ
		発生ほ場率	平均被害株率	発生ほ場率	平均被害株率	発生ほ場率	発生ほ場率	平均被害株率	発生ほ場率		
大津市	関津	40	1.6	20	0.8	0	0	0	0		
	和邇南浜	80	7.2	100	4.8	0	0	0	0		
草津市	下笠町	80	4.0	80	4.8	0	20	0.8	0		
守山市	赤野井町	100	7.2	80	4.0	40	80	3.2	0		
栗東市	上砥山	80	4.0	0	0	0	0	0	0		
	上屋	100	7.2	100	4.8	0	0	0	20		
湖南市	岩根	40	1.6	80	3.2	0	0	0	0		
甲賀市	水口町山	40	1.6	20	0.8	0	0	0	0		
	甲賀町滝	60	2.4	20	0.8	0	80	3.2	0		
	信楽町黄瀬	60	2.4	40	1.6	0	0	0	0		
近江八幡市	野村町	80	4.8	80	3.2	20	20	0.8	0		
	安土町大中	100	4.0	20	0.8	0	0	0	20		
日野町	日田	100	4.8	60	2.4	0	0	0	0		
竜王町	小口	60	4.8	60	2.4	0	0	0	0		
東近江市	林田町	100	5.6	60	2.4	0	0	0	0		
	川合町	100	12.8	60	2.4	40	0	0	0		
	石谷町	40	2.4	100	6.4	0	20	0.8	0		
	五個荘平阪町	100	5.6	60	2.4	0	0	0	0		
	栗見新田町	100	12.8	60	2.4	0	100	4.0	0		
	鯉江町	100	5.6	40	1.6	0	0	0	0		
彦根市	新海町	100	8.8	100	4.0	0	0	0	0		
愛荘町	東円堂	100	11.2	80	3.2	0	0	0	0		
甲良町	法養寺	100	26.4	100	4.0	0	20	0.8	0		
多賀町	土田	100	14.4	100	4.0	0	80	3.2	0		
米原市	本市場	100	14.4	100	4.0	0	100	4.0	0		
	入江	0	0	100	4.0	0	100	20.8	0		
	西円寺	100	8.0	100	4.0	0	60	2.4	0		
長浜市	永久寺町	100	4.0	80	3.2	0	20	0.8	0		
	湯次町	80	19.2	40	1.6	0	100	8.0	0		
	早崎町	100	30.4	100	4.0	0	100	4.0	0		
	高月町柳野中	100	22.4	60	3.2	0	80	3.2	0		
	余呉町坂口	100	5.6	40	1.6	0	40	1.6	0		
高島市	マキノ町知内	100	15.2	80	3.2	0	80	3.2	0		
	今津町上弘部	100	22.4	100	5.6	0	60	2.4	0		
	安曇川町北船木	100	22.4	40	1.6	0	80	3.2	0		
	新旭町北畑	100	12.8	100	4.0	0	100	4.0	0		

1地点5筆調査。発生ほ場率(%)は、5筆中に対象害虫が発生した筆数より算出。

平均被害株率(%)は、1筆あたり25株を調査して被害株率を求め、5筆の平均を算出したもの。

b 地域別集計表

病害虫名	葉いもち				穂いもち				紋枯病			
	発病度		ほ場率(%)		発病率(%)		ほ場率(%)		発病度		ほ場率(%)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
大津南部	0.1	2.4	13.3	40.7	0.3	0.4	66.7	46.2	9.2	13.8	100	86.4
甲賀	0.2	1.6	15.0	27.6	0.3	0.9	75.0	44.4	6.2	6.4	70.0	75.2
東近江	0.2	1.1	12.0	25.4	0.3	0.6	76.0	50.6	12.5	14.3	98.0	88.6
湖東	0.1	0.6	5.0	8.1	0.1	0.3	40.0	43.4	23.3	7.0	95.0	69.3
湖北	0	0.4	0	10.0	0.1	0.3	22.5	41.7	8.5	5.6	92.5	63.5
高島	0.1	1.8	5.0	25.0	0.1	2.0	35.0	68.0	6.0	7.2	100	67.0
全県	0.1	1.3	8.3	22.7	0.2	0.6	53.9	48.1	10.8	9.7	93.9	76.3

病害虫名	もみ枯細菌病				白葉枯病				ごま葉枯病			
	発病率(%)		ほ場率(%)		発病度		ほ場率(%)		発病度		ほ場率(%)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
大津南部	0	-	0	-	0	0.4	0	17.2	0	0.2	0	7.5
甲賀	0	-	0	-	0	3.1	0	27.7	0.1	0.4	5.0	10.4
東近江	0	-	0	-	0	0.5	0	21.4	0.3	0.3	16.0	7.6
湖東	0	-	0	-	0	0.0	0	1.6	0	0.0	0	1.2
湖北	0	-	0	-	0.0	0.0	2.5	0.7	0	0.0	0	2.0
高島	0	-	0	-	0	0.0	0	2.5	0	0.3	0	5.0
全県	0	-	0	-	0.0	0.5	0.6	12.4	0.1	0.2	5.0	5.6

病害虫名	稲こうじ病				ばか苗病				黄萎病(立毛中)			
	発病率(%)		ほ場率(%)		発病率(%)		ほ場率(%)		発病率(%)		ほ場率(%)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
大津南部	0	0.1	0	0.9	0	-	0	-	0	0	0	0
甲賀	0	0.1	0	1.6	0	-	0	-	0	0	0	0
東近江	0.0	0.1	2.0	3.0	0	-	0	-	0	0	0	0
湖東	0	0.2	0	2.4	0	-	0	-	0	0	0	0
湖北	0.1	0.9	5.0	7.6	0	-	0	-	0	0	0	0
高島	0	0.1	0	2.0	0	-	0	-	0	0	0	0
全県	0.0	0.3	1.7	3.3	0	-	0	-	0	0	0	0

病害虫名	黄萎病(再生芽)				縹葉枯病(立毛中)				縹葉枯病(再生芽)			
	発病率(%)		ほ場率(%)		発病率(%)		ほ場率(%)		発病率(%)		ほ場率(%)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
大津南部	0	0.0	0	0.3	2.3	-	50.0	-	8.1	2.4	73.3	62.3
甲賀	0	0.0	0	1.6	2.0	-	50.0	-	1.5	0.7	100	47.7
東近江	0	0.0	0	1.2	2.2	-	52.0	-	2.4	1.4	90.0	58.0
湖東	0	0	0	0	1.0	-	25.0	-	0.3	0.5	80.0	51.7
湖北	0	0.0	0	0.9	0.1	-	2.5	-	0.0	0.6	17.5	43.6
高島	0	0.0	0	1.0	0	-	0	-	0.1	0.1	15.0	18.3
全県	0	0.0	0	0.9	1.3	-	31.7	-	2.2	1.1	62.8	49.4

病害虫名	イネミズゾウムシ				イネドロオイムシ				ニカメイガ第1世代			
	被害度		ほ場率(%)		被害度		ほ場率(%)		被害率(%)		ほ場率(%)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
大津南部	4.7	13.6	63.3	86.0	0.5	0.1	30.0	5.0	5.2	15.9	80.0	76.7
甲賀	0.9	14.9	35.0	81.3	0.9	0.6	35.0	21.2	2.0	9.1	50.0	57.5
東近江	1.6	16.8	46.0	82.0	0	0.1	0	4.0	6.3	13.5	88.0	80.2
湖東	0.5	5.0	40.0	74.0	0	0.0	0	0.4	15.2	12.6	100	69.5
湖北	1.6	14.8	42.5	74.6	0	0.2	0	9.4	13.0	9.7	85.0	59.2
高島	3.5	36.7	90.0	97.5	0.1	0.4	5.0	15.5	18.2	3.9	100	44.5
全県	2.1	16.1	51.1	81.4	0.2	0.2	9.4	8.5	9.4	11.4	84.4	67.2

病害虫名	ニカメイガ第2世代				イチモンジセセリ		コブノメイガ				イネクロカラムシ	
	被害率(%)		ほ場率(%)		ほ場率(%)		被害率(%)		ほ場率(%)		ほ場率(%)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
大津南部	3.2	8.9	63.3	66.3	6.7	16.4	0.7	3.8	16.7	18.0	3.3	2.0
甲賀	1.6	6.0	40.0	61.6	0	9.3	0.8	4.0	20.0	15.2	0	0
東近江	2.6	9.8	60.0	81.6	6.0	15.2	0.6	2.3	14.0	15.0	2.0	3.2
湖東	3.8	6.4	95.0	82.8	0	14.8	1.0	0.7	25.0	16.1	0	0
湖北	3.2	4.8	77.5	80.0	0	19.6	5.6	1.8	75.0	28.2	0	0.2
高島	3.6	3.2	80.0	71.5	0	15.0	3.2	6.6	80.0	38.5	0	0
全県	3.0	7.0	68.3	75.3	2.8	15.3	2.1	2.9	37.2	21.0	1.1	1.1

発病度および被害度の算出は、発生予察事業の調査実施基準(平成28年農林水産省生産局植物防疫課)に従った。

もみ枯細菌病、ばか苗病、縹葉枯病(立毛中)は平成28年度から調査開始のため平年値なし。

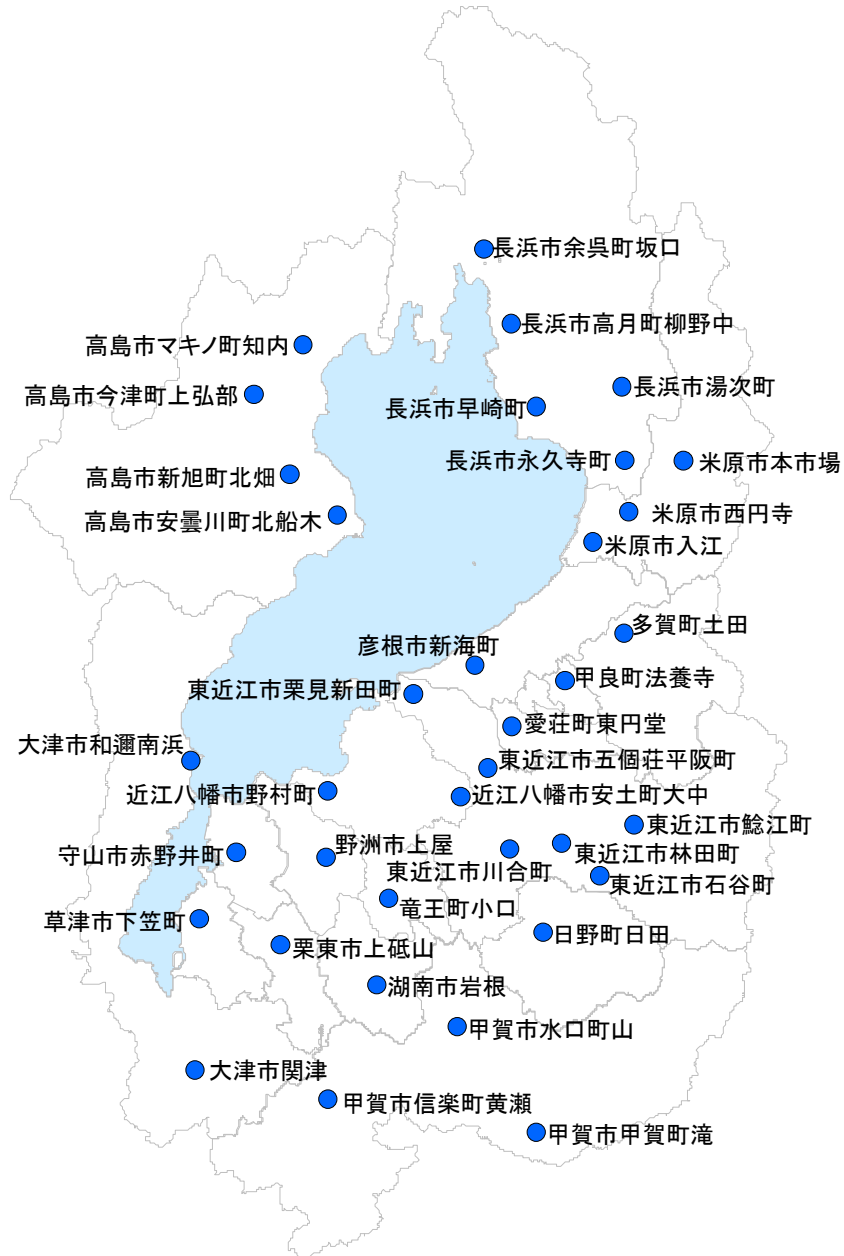
縹葉枯病(再生芽)の平年は過去9年の平均値。

c 精密調査ほ調査結果

調査地点名		害虫名	斑点米カメムシ類(頭)		斑点米被害率(%)				
			畦畔発生量	本田発生量	標準斑点米	黒触粒	尻黒粒	基部加害型	合計
			6/24~26	7/29~31	収穫後				
大津市	関津		34	0	0.19	0	0.04	0.07	0.30
	和邇南浜		42	3	0.08	0.01	0.07	0	0.16
草津市	下笠町		-	0	0.05	0	0	0	0.05
守山市	赤野井町		2	0	0.01	0	0	0	0.01
栗東市	上砥山		3	0	0.02	0	0	0	0.02
野洲市	上屋		8	4	0.08	0	0.06	0	0.14
湖南市	岩根		1	-	0.09	0.01	0.13	0	0.23
甲賀市	水口町山		18	3	0.02	0	0	0	0.02
	甲賀町滝		5	2	0.04	0	0.01	0	0.06
	信楽町黄瀬		-	12	0	0	0.03	0	0.03
近江八幡市	野村町		1	7	0.13	0	0	0	0.13
	安土町大中		-	-	0.01	0.01	0.05	0	0.07
日野町	日田		2	0	0	0	0	0	0
竜王町	小口		1	0	0.02	0	0	0	0.02
東近江市	林田町		3	0	0.01	0	0	0	0.01
	川合町		-	3	0	0.02	0.02	0	0.04
	石谷町		1	-	0.17	0	0.03	0	0.20
	五個荘平阪町		3	2	0.08	0	0.01	0	0.09
	栗見新田町		44	0	0.04	0	0.01	0	0.04
	鯉江町		0	0	0.06	0.05	0.01	0	0.11
彦根市	新海町		24	1	0.01	0	0.04	0	0.06
愛荘町	東円堂		63	2	0.05	0	0.01	0.01	0.08
甲良町	法養寺		17	24	0	0	0	0	0
多賀町	土田		15	4	0.32	0.05	0.04	0	0.41
米原市	本市場		98	12	0.22	0.03	0.04	0	0.29
	入江		1	-	0.01	0.01	0.06	0	0.08
	西円寺		21	29	0.44	0	0.11	0	0.56
長浜市	永久寺町		1	17	0.53	0.03	0.11	0	0.68
	湯次町		21	0	0.02	0	0.01	0	0.03
	早崎町		3	4	0.08	0	0	0	0.08
	高月町柳野中		59	15	0.11	0	0.05	0	0.16
	余呉町坂口		-	1	0	0	0.02	0	0.02
高島市	マキノ町知内		41	1	0.10	0	0	0	0.10
	今津町上弘部		17	18	0.55	0	0.01	0	0.56
	安曇川町北船木		10	0	0	0	0	0	0
	新旭町北畑		0	43	0.08	0	0.08	0	0.16

畦畔の斑点米カメムシ類発生量は捕虫網10回振り調査、-は畦畔除草されていたことを示す。
 本田の斑点米カメムシ類発生量は捕虫網50回振り調査、-は出穂していなかったことを示す。
 斑点米被害率はランダムにサンプリングした100穂の全粒から求めた値。なお各斑点米被害率の値は四捨五入をしているため、それらの合計が、合計欄の値と合致しない場合がある。

d 水稻病虫害発生量調査定点配置図（36か所）



オ 初発見月日と初発見場所

病害名	初発見月日	初発見場所
葉いもち(置苗)	6/5	近江八幡市島町
葉いもち	6/27	近江八幡市島町
穂いもち	8/9	愛荘町東円堂
紋枯病	6/14	近江八幡市島町
白葉枯病	9/1	米原市入江
ばか苗病	5/29	東近江市布施町
もみ枯細菌病	-	-
ごま葉枯病	7/30	東近江市鯉江町
縞葉枯病	6/27	近江八幡市安土町大中
黄萎病	-	-
稲こうじ病	8/19	近江八幡市野村町

害虫名	初発見月日	初発見場所
ニカメイガイ	5/3	近江八幡市安土町大中 (A予察灯)
	6/11	近江八幡市野村町
セジロウンカ	6/28	近江八幡市安土町大中 (A予察灯)
トビイロウンカ	7/31	近江八幡市池田本町 (Aすくい取り)
ヒメトビウンカ	4/2	近江八幡市野村町 (Lすくい取り)
ツマグロヨコバイ	4/2	草津市下笠町 (Aすくい取り)
イネドロオイムシ	5/27	長浜市島羽上町 (L)
イネクロカメムシ	6/11	近江八幡市安土町下豊浦 (A)
ホソハリカメムシ	5/9	近江八幡市安土町大中 (Aすくい取り)
クモヘリカメムシ	6/25	湖南市岩根 (Aすくい取り)
トゲシラホシカメムシ	6/24	日野町日田 (Aすくい取り)
アカスジカスミカメ	5/13	近江八幡市安土町大中 (Aすくい取り)
アカヒゲホソミドリカスミカメ	5/7	近江八幡市安土町大中 (Aすくい取り)
イネカメムシ	7/12	高島市今津町日置前 (A予察灯)
コバネヒョウタンナガカメムシ	-	-
イチモンジセセリ	6/11	守山市赤野井町 (L)
フタオビコヤガ	6/18	高島市今津町日置前 (A予察灯)
コブノメイガイ	7/8	高島市今津町上弘部 (L)
イネミズゾウムシ	5/5	大津市里 (A予察灯)
コバネイナゴ	5/14	東近江市平林 (L)
スクミリンゴガイ	5/15	野洲市小南 (A)

注：初発見場所（ ）内
A：成虫、L：幼虫

カ 程度別発生面積と防除面積

作物名	栽培面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					発生面積率 (%)	被害面積率 (%)	防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	計			実防除	延防除
イネ	32,900	葉いもち	0	0	100	3000	4000	12.2	0.3	14000	14000
		穂いもち	0	0	100	16000	6900	21.0	0.3	7400	7400
		紋枯病	0	900	3000	20000	16500	50.2	11.9	2700	2700
		白葉枯病	0	0	0	500	1000	3.0	0.0	6000	6000
		ばか苗病	0	0	0	400	400	1.2	0.0	7500	7500
		もみ枯細菌病	0	0	0	0	0	0.0	0.0	1000	1000
		ごま葉枯病	0	0	0	1000	500	1.5	0.0	0	0
		縞葉枯病	0	0	100	10300	17000	51.7	0.3	22000	23000
		黄萎病	0	0	0	0	10	0.0	0.0	0	0
		稲こうじ病	0	0	0	500	800	2.4	0.0	2000	2000
		ニカメイガイ I	0	50	800	14000	12650	38.4	2.6	13000	13000
		ニカメイガイ II	0	40	500	12000	12460	37.9	1.6	8000	8000
		セジロウンカ	0	0	0	12000	5000	15.2	0.0	22000	23000
		トビイロウンカ	2	0	30	5500	100	0.3	0.1	22000	23000
ヒメトビウンカ	0	30	100	14000	13300	40.4	0.4	22000	23000		
ツマグロヨコバイ	0	0	20	13000	13100	39.8	0.1	22000	23000		
イネドロオイムシ	0	0	220	5700	6200	18.8	0.7	14000	14000		
斑点米カメムシ類	0	50	600	14500	15030	45.7	2.0	23000	24000		
イネクロカメムシ	0	0	50	2000	2050	6.2	0.2	4000	4000		
イチモンジセセリ	0	0	0	800	2000	6.1	0.0	3000	3000		
フタオビコヤガ	0	0	10	3200	2000	6.1	0.0	9000	9000		
コブノメイガイ	0	0	0	9000	400	1.2	0.0	0	0		
イネミズゾウムシ	10	100	700	22000	23630	71.8	2.5	14000	14000		
コバネイナゴ	0	0	20	28000	25020	76.0	0.1	7500	7500		
スクミリンゴガイ	0	0	3	27	30	0.1	0.0	4	5		

ニカメイガイ I、II は第 1 世代、第 2 世代を指す

被害面積率 = 甚～中発生面積 / 栽培面積 × 100

(2) ムギ（平成30年秋播き）

ア 生育概況

平年に比べて10～11月の降水量は少なく、全般に播種作業は順調に進み、播種後に適度な降雨があったことから出芽・苗立ちは良好であった。11月上旬～3月にかけて気温が高く推移したことから、一般的に生育は進み、草丈は高く、茎数はかなり多く推移した。4月上旬～中旬の気温は平年より低くなり、特に4月上旬には積雪もあり、一部で凍霜害がみられた。

出穂期は平年よりやや早くなった。4月の平均気温が低かったことから開花までの日数はやや長くなったものの、開花期は平年よりやや早くなった。成熟期は、生育の早い大麦で平年より4～9日早くなり、小麦では平年並となった。

穂数については、小麦では平年に比べ少なかったが、登熟期が多照であったことや収穫期の降雨が少なかったことから、収量、品質とも平年並であった。ただし、凍霜害の被害や倒伏を受けたほ場では一部減収したところもあった。大麦では、収量、品質ともに平年並～やや良となった。早播きによる茎数過多や凍霜害を受けた一部ほ場で黒節病の発生が見られた。

イ 発生状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
コムギ	うどんこ病	-	少	ほ場での発生は見られなかった。	県内で作付される品種の中には、うどんこ病への耐病性が弱い品種もあるが、発生を確認していない。赤かび病防除の薬剤にうどんこ病への防除効果があるため、発生が抑制されていると考えられる。	赤かび病の防除時に同時防除の実施。
	赤かび病	平年並	平年並	ほ場での初発確認は5月15日で、発生時期は平年並であった。全県的に発生が見られ、発生量は平年並となった。	開花期の4月6半旬に降水量が多かったため、発病の助長と拡大が懸念されたが、5月の降水量は少なく推移したため、発生量は平年並となった。	開花期頃から1～2回の薬剤防除。
	黒節病	平年並	多	ほ場での初発確認は3月12日で、発生時期は平年並であった。気温の上昇とともに発病茎率が増加し、発生量は多くなった。一部ほ場では、病斑の上位進展により倒伏が引き起こされた。	前年の10月下旬から11月中旬にかけて降雨が少なく、早期に播種されたほ場が多かったことと、1月から3月にかけて気温が平年より高くなったため、生育が旺盛となり、発病が助長された。	排水対策の徹底や適期播種などによる耕種的防除。
オオムギ	うどんこ病	-	少	ほ場での発生は見られなかった。	県内で作付される品種の中には、うどんこ病への耐病性が弱い品種もあるが、発生を確認していない。赤かび病防除の薬剤にうどんこ病への防除効果があるため、発生が抑制されていると考えられる。	赤かび病の防除時に同時防除の実施。
	赤かび病	平年並	平年並	ほ場での初発確認は5月8日で、発生時期は平年並であった。全県的に発生が見られ、発生量は平年並となった。	開花期後1週間にあたる4月6半旬に降水量が多く、発病が助長され、拡大が懸念されたが、5月の降水量は少なく推移したため、発生量は平年並となった。	開花期頃から2回の薬剤防除。
	黒節病	早	平年並	ほ場での初発確認は2月26日で、発生時期は早かった。全県的に発病は確認されたが、発生量は平年並となった。	前年の10月下旬から11月中旬にかけて降雨が少なく、早期に播種されたほ場が多かったことと、1月から3月にかけて気温が平年より高くなったため、生育が旺盛となり、発病が助長された。	排水対策の徹底や適期播種などによる耕種的防除。

ウ 発生量調査

(ア) オオムギ

病害虫名 調査地点名	小さび病		うどんこ病		赤かび病		黒節病		縮萎縮病
	発生 ほ場率(%)	発生 面積率(%)	発生 ほ場率(%)	発生 面積率(%)	発生 ほ場率(%)	平均 発病度	発生 ほ場率(%)	平均発病 茎率(%)	発病 面積率(%)
大津市 里	0	0	0	0	0	0	80	0.8	0
近江八幡市 長田町	0	0	0	0	20	0.1	100	6.2	0
竜王町 岡屋	0	0	0	0	0	0	100	2.0	0
東近江市 芝原町	0	0	0	0	20	0.1	40	0.4	0
長浜市 湖北町山本	0	0	0	0	100	0.7	0	0	0
長浜市 口分田町	0	0	0	0	40	0.3	100	1.2	0
高島市 今津町上弘部	0	0	0	0	80	0.5	100	2.6	0
高島市 新旭町藁園	0	0	0	0	40	0.3	0	0	0
全 県 平 均	0	0	0	0	37.5	0.3	65.0	1.7	0

※調査品種

大津市里、竜王町岡屋、東近江市芝原町、長浜市湖北町山本、長浜市口分田町、高島市今津町上弘部、高島市新旭町藁園

は「ファイバースノウ」

近江八幡市長田町は「サチホゴールド」

(イ) コムギ

病害虫名 調査地点名	赤さび病		うどんこ病		赤かび病		黒節病		縮萎縮病
	発生 ほ場率(%)	発生 面積率(%)	発生 ほ場率(%)	発生 面積率(%)	発生 ほ場率(%)	平均 発病度	発生 ほ場率(%)	平均発病 茎率(%)	発病 面積率(%)
草津市 下笠町	40	0.2	0	0	20	0.1	100	1.2	0
守山市 赤野井町	20	0.0	0	0	20	0.1	100	6.6	0
守山市 矢島町	0	0	0	0	60	0.4	100	2.4	5
栗東市 上砥山	80	0.5	0	0	40	0.3	100	13.6	0
野洲市 小南	0	0	0	0	0	0	60	0.6	10
野洲市 上屋	40	0.1	0	0	20	0.1	80	2.0	20
野洲市 木部	40	0.2	0	0	20	0.1	100	3.2	1
湖南市 岩根	40	0.2	0	0	0	0	100	8.0	1
甲賀市 水口町酒人	60	0.4	0	0	0	0	80	1.4	30
甲賀市 甲南町杉谷	0	0	0	0	0	0	100	1.8	10
近江八幡市 野村町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近江八幡市 安土町上豊浦	0	0	0	0	0	0	80	0.8	0
近江八幡市 上田町	0	0	0	0	0	0	100	1.8	10
日野町 十禅師	60	0.8	0	0	0	0	100	2.8	30
竜王町 小口	20	0.1	0	0	0	0	100	2.4	10
東近江市 横山町	80	0.9	0	0	0	0	80	1.0	0
東近江市 上羽田町	60	0.8	0	0	0	0	100	24.0	5
東近江市 栗見新田町	20	0.0	0	0	0	0	100	1.0	40
東近江市 一式町	60	1.2	0	0	0	0	100	3.8	10
東近江市 南菩提寺	20	0.0	0	0	0	0	100	9.4	2
彦根市 甘呂町	20	0.0	0	0	0	0	100	9.4	0
彦根市 本庄町	60	0.0	0	0	100	0.7	100	1.2	0
豊郷町 八町	0	0	0	0	40	0.3	100	3.0	0
甲良町 法養寺	0	0	0	0	20	0.1	100	6.8	0
多賀町 敏満寺	0	0	0	0	20	0.1	100	6.4	0
米原市 世継	0	0	0	0	0	0	100	52.0	50
米原市 本市場	0	0	0	0	0	0	100	5.8	0
米原市 上多良	0	0	0	0	40	0.3	100	4.8	80
全 県 平 均	25.9	0.2	0	0	14.8	0.1	91.9	6.2	11.6

※調査品種

守山市矢島町、野洲市小南は「シロガネコムギ」

東近江市横山町、彦根市甘呂町、彦根市本庄町、豊郷町八町、

甲良町法養寺、多賀町敏満寺、長浜市高月町西柳野は「ふくさやか」

その他の地点は全て「農林61号」

エ 発生状況一覧表

病害虫名	オオムギ		コムギ	
	初発見月日	初発見場所	初発見月日	初発見場所
さび病類	5/8	東近江市芝原町	5/16	彦根市本庄町
うどんこ病	—	—	—	—
赤かび病	5/8	近江八幡市長田町	5/15	長浜市高月町西柳野
黒節病	2/26	近江八幡市安土町内野	3/12	多賀町敏満寺
株腐病	4/8	高島市今津町上弘部	4/8	野洲市小南
縞萎縮病	—	—	2/26	長浜市永久寺
アブラムシ類	2/26	長浜市口分田町	2/26	草津市下笠町
ハモグリバエ類	5/15	長浜市湖北町山本	3/12	豊郷町八町
ムギダニ	—	—	—	—

オ 発生および被害面積

作物名	栽培面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					発生面積率 (%)	被害面積率 (%)	防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	計			実防除	延防除
オオムギ	867	さび病類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		うどんこ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		赤かび病	0	0	0	300	300	34.6	0	867	1734
		黒節病	0	0	50	300	350	40.4	6	0	0
コムギ	5751	さび病類	0	0	0	1300	1300	22.6	0	0	0
		うどんこ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		赤かび病	0	0	0	900	900	15.6	0	5751	10000
		黒節病	200	450	700	4000	5350	93.0	23.5	0	0

被害面積率 = (程度別発生面積の甚～中の和) / (栽培面積)

(3) ジャガイモ

ア 発生状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
ジャガイモ	疫病	-	-	ほ場での発生は見られなかった。	5月から6月にかけて降水量が平年より大幅に少なく、発病に好適でなかったため、発病が認められなかった。また、前年の発生が少なかったことから、残存菌密度が少なくなっていると考えられる。	発生初期に防除の実施。
	アブラムシ類	平年並	やや多	ほ場での初発確認は4月1日で、発生時期は平年並であった。4月～7月の発生量は、やや多かったが、8月以降は、やや少なかった。	4月～7月まで、黄色水盤での誘殺数は、やや多く、8月以降は、やや少なかった。4月～7月まで気温はほぼ平年並で、増殖に好適な条件となった。しかし、8月以降、高温多雨となり、密度が抑制された。	定植時の粒剤施用など、多くは発生初期の防除。

イ 発生量

ジャガイモ	病害虫名		疫病	アブラムシ類
			発病度	寄生度
	調査地点	6/11～13	6/11～13	
	草津市	下笠町	0	2
	野洲市	小南	0	5
	湖南市	菩提寺	0	2
	近江八幡市	安土町	0	2
	彦根市	松原町	0	1
	甲良町	下之郷	0	1
	米原市	世継	0	1
	高島市	今津町	0	0

ウ 発生状況一覧表

作物名	病害虫名	初発見月日	初発見場所
ジャガイモ	疫病	-	-
	アブラムシ類	5月15日	野洲市小南

エ 発生および被害面積

作物名	栽培面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					発生面積率 (%)	被害面積率 (%)	防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	計			実防除	延防除
ジャガイモ	28	疫病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		アブラムシ類	0	0	1	8	9	32.1	4	2	2

※被害面積率 = (程度別発生面積甚～中の和) / (栽培面積)

(4) ダイズ

ア 生育概況

梅雨入り前の6月第4～5半旬の降雨日が少なかったため、6月第4半旬から播種（定植）作業は順調に進んだが、6月第6半旬以降に断続的な降雨があり、これにより播種作業の遅れたほ場も見られた。適期に播種されたほ場では、出芽・苗立ちは良好で、生育は概ね順調に進んだものの、播種が遅れたほ場では生育量が小さく、播種時期により生育の差が大きくなった。7月第3～6半旬にも断続的な降雨があり、中耕培土が不十分なほ場が見られた。

8月上旬の開花期には寡雨となり、一部のほ場で干ばつによる落花・落莢が発生し、台風10号（8/15～16）通過に伴い、一部のほ場で浸水や茎葉の損傷、葉焼病の発生が見られた。また、8月下旬頃からは雑草が多発するほ場も散見された。9月は日照時間が平年より多く、気温も高く推移し、子実の肥大は順調に進んだ。べと病やハスモンヨトウ、カメムシ類の発生は平年より少なく、大きな被害は見られなかったが、一部のほ場では台風19号（10/12）による葉の損傷や落葉の発生が見られた。

10月中旬から葉の黄化が始まり、着莢が少ないほ場では青立ちの発生が見られた。適期に播種されたほ場では、主茎長や着莢数が確保され、収量は平年並となったが、播種が遅れたほ場では、主茎長は短く、着莢数は少なく、やや小粒傾向にあり、収量は平年を下回った。

イ 発生状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
ダイズ	べと病	早	やや少	ほ場での初発確認は7月29日で、発生時期は早く、発生量は、やや少なかった。	7月3-6半旬にかけて降水量が多かったことから、発生が助長され、初発生が早まった。その後、8月1-2半旬に降雨が見られなかったことと、8月1-3半旬の高温によって、病原菌の活動が抑制され、発生量は、やや少なかった。	本病への薬剤防除は未実施。
	葉焼病	早	やや多	ほ場での初発確認は7月29日で、発生時期は早く、発生量は、やや多かった。	7月3-6半旬にかけて降水量が多かったことから、発生が助長され、初発生が早まった。その後、8月15日の台風10号の風雨で葉が叩かれて発生が増加し、発生量は、やや多くなった。	本病への薬剤防除は未実施。
	ハスモンヨトウ	遅	やや少	フェロモントラップへの誘殺数は6月第3半旬に増加したが、それ以降、ほぼ平年並に推移した。ほ場での初発確認は8月10日で、発生時期は遅く、8月～9月の発生量は、少～やや少で推移した。	8月は高温で推移し、本種の増殖に好適な条件となったが、適期に薬剤防除が実施されたことから密度抑制された。	8月下旬以降、1～2回の薬剤防除が実施されている。常発地では3～4回防除されることもある。
	タバコガ類	早	少	オタバコガのフェロモントラップへの誘殺数は、7月まで平年並、8月以降少く推移した。ほ場での初発確認は7月16日で、発生時期は早かったが、8月～9月のほ場での発生量は少なかった。	8月は高温で推移し、本種の増殖に好適な条件となったが、8月以降、フェロモントラップでは、ほぼ誘殺がなく、発生量が少なかった。	ハスモンヨトウと同時防除されることが多い。
	フタスジヒメハムシ	早	やや少	ほ場での初発確認は6月26日で、発生時期は早く、発生量は、やや少なかった。	播種時期の早いほ場では、発生時期が早かった。種子塗抹処理剤の利用が進んでおり、初期の発生が抑制された。	種子塗抹処理剤により初期防除されている。近年、この剤の残効が切れてからの被害が一部地域で発生していることから、結莢期にも防除が実施されている。
	カメムシ類	遅	やや少	ほ場での初発確認は8月19日で、発生時期は遅く、発生量および発生地点率ともに、やや少なかった。	8月以降、降水量が多く、発生が抑制された。	通常、開花期以降に薬剤散布により防除されるが、近年、ハスモンヨトウの発生量が多く、鱗翅目害虫に対する防除を実施した場合、カメムシの防除が省略される場合がある。
	アブラムシ類	早	少	ほ場での初発確認は8月7日で、発生時期は早く、発生量は少なかった。	4月～7月まで、黄色水盤での誘殺数は、やや多く、8月以降は、やや少なかった。6月～7月にかけて気温は平年並、降水量は平年より少なく、増殖に好適な条件となった。しかし、8月～9月には、高温となり、増殖が抑制された。	種子塗抹処理剤による初期防除。
ハダニ類	遅	やや少	ほ場での初発確認は8月7日で、発生時期は遅く、発生量は、やや少なかった。	8月は高温ではあったが、降水量が多く、発生が抑制された。	通常、防除は実施されない。	

ウ 発生量調査

(8月20～21日調査、開花期)

病害虫名		べと病		葉焼病	カメムシ類	フタスジヒメハムシ	ハダニ類	ハスモンヨトウ
		発生ほ場率 (%)	発生ほ場率 (%)	虫数 (頭/a)	虫数 (頭/株)	発生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	
調査地点								
大津市	関津	50	0	0	3.3	0	0	
草津市	下笠町	0	0	0.5	0	0	0	
守山市	木浜町	0	0	0	0.1	0	0	
守山市	赤野井町	0	0	0	0.2	5	0	
栗東市	上砥山	0	0	0.5	0.9	0	0	
野洲市	上屋	0	0	0	0.3	0	0	
野洲市	木部	0	0	0	0.1	0	0	
湖南市	岩根	0	0	0.5	0.4	0	0	
甲賀市	水口町酒人	0	100	0	0.1	0	0	
近江八幡市	上田町	0	0	0	0	40	0	
近江八幡市	野村町	50	0	0	0	0	0	
近江八幡市	安土町大中	0	0	0	0	0	100	
日野町	猫田	0	0	0	0.2	0	0	
竜王町	岡屋	0	100	0	0.1	0	0	
東近江市	一式町	0	100	0	0.1	0	0	
東近江市	南菩提寺町	0	100	1.0	0.1	5	0	
東近江市	栗見新田町	50	100	1.0	0	0	0	
彦根市	甘呂町	50	100	0.5	0	0	0	
愛荘町	東円堂	0	0	0	1.2	0	0	
豊郷町	八町	50	0	0	0.6	5	0	
甲良町	法養寺	50	100	0	0	10	0	
米原市	世継	0	100	0	0	0	0	
長浜市	口分田町	0	50	0	0.2	0	0	
長浜市	高月町西柳野	50	50	0	0.1	0	0	
長浜市	湖北町山本	0	0	0	0	10	0	
高島市	マキノ町知内	100	50	0.0	2.1	0	0	

(9月18～20日調査、若莢期)

病害虫名		べと病		葉焼病		カメムシ類	ハスモンヨトウ
		発生ほ場率 (%)	平均発病度	発生ほ場率 (%)	平均発病度	虫数 (頭/a)	白変か所数 (か所/a)
調査地点							
大津市	関津	0	0	100	41.0	0	0
草津市	下笠町	100	12.5	50	2.5	0	1.5
守山市	木浜町	100	11.0	100	9.5	0	1.0
守山市	矢島町	50	0.5	100	33.5	0	0
栗東市	上砥山	100	14.0	0	0	1.0	1.5
野洲市	上屋	100	12.5	100	10.5	0	0.5
野洲市	吉川	100	11.0	100	2.0	0	0
湖南市	岩根	100	17.0	50	1.0	0	0
甲賀市	水口町酒人	0	0.0	100	13.5	0	0
近江八幡市	安土町西老蘇	100	3.0	100	16.0	0	2.0
近江八幡市	野村町	100	1	100	25.0	0	1.0
近江八幡市	白王町	50	2.5	100	18.0	0	0
日野町	十禅師	100	3.0	100	5.0	0	0
竜王町	岡屋	0	0.0	100	33.5	0	0
東近江市	市原野町	50	0.5	100	9.5	0	0.5
東近江市	南菩提寺町	100	5.5	100	9.5	1.0	0
東近江市	福堂町	100	4	100	23.5	0	0
彦根市	新海町	100	7.5	100	10.0	0	0.5
愛荘町	東円堂	100	4.5	100	11.5	0	0
豊郷町	八町	100	20.0	100	2.0	0	1.0
甲良町	下之郷	100	1	100	25.0	0	0
米原市	世継	100	1	100	15.0	0	0.5
長浜市	野村町	0	0	100	23.0	0	0
長浜市	高月町東阿閉	0	0	100	24.0	0	0
長浜市	湖北町山本	0	0.0	100	23.0	0	2.0
高島市	マキノ町知内	100	4.0	100	16.0	0	0

エ 発生状況一覧表

病虫害名	初発見月日	初発見場所
べと病	7月29日	高島市マキノ町知内
葉焼病	7月29日	高島市マキノ町知内
茎疫病	7月25日	守山市木浜町
白絹病	7月29日	高島市マキノ町知内

病虫害名	初発見月日	初発見場所
アブラムシ類	7月16日	高島市今津町日置前
ハダニ類	8月7日	近江八幡市野村町
ハスモンヨトウ	8月10日	近江八幡市安土町大中
タバコガ類	7月16日	近江八幡市野村町
カメムシ類	8月19日	草津市下笠町
フタスジヒメハムシ	6月26日	高島市マキノ町知内
コガネムシ類	8月19日	近江八幡市安土町大中
サヤムシガ類	7月16日	野洲市木部

オ 発生および被害面積

作物名	栽培面積 (ha)	病虫害名	程度別発生面積 (ha)					発生 面積率 (%)	被害 面積率 (%)	防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	計			実防除	延防除
ダイズ	6,690	べと病	0	0	200	2,000	2,200	32.9	3.0	0	0
		葉焼病	0	100	900	4,500	5,500	82.2	14.9	0	0
		アブラムシ類	0	0	0	30	30	0.4	0	3,500	3,500
		ハスモンヨトウ	0	30	50	2,500	2,580	38.6	1.2	4,500	4,500
		食葉性鱗翅目幼虫	0	0	10	3,200	3,210	48.0	0.1	1,100	1,100
		ハダニ類	0	10	200	950	1,160	17.3	3.1	10	10
		カメムシ類	0	0	3	385	388	5.8	0.0	1,500	1,900
		フタスジヒメハムシ	0	0	80	3,660	3,740	55.9	1.2	3,500	3,700

被害面積率 = (程度別発生面積・甚～中の和) / (栽培面積)

5 野菜（露地）病虫害発生予察事業

ナス科、ウリ科およびアブラナ科を中心として、露地野菜全般における主要病虫害を調査した。その結果に基づく病虫害発生予察情報として、予報9回および防除情報1回（タマネギベと病）、病虫害発生予察特殊報2回（タバコノミハムシ、ネギハモグリバエ別系統）を提供した。

(1) 野菜

ア 発生状況

農作物名	病虫害名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
野菜全般	うどんこ病 (夏秋ナス、 夏秋キュウリ)	遅	やや少	ほ場での初発確認は6月10日で、発生時期は遅く、発生量は、やや少なかった。	5月から6月にかけて降水量が平年より大幅に少なく、うどんこ病の発病には好適な環境であったが、適期防除が実施されたことにより、発生は抑制されたと考えられる。	発生初期に防除の実施。
	灰色かび病 (夏秋ナス、 夏秋トマト、 夏秋キュウリ)	遅	やや少	ほ場での初発確認は6月26日で、発生時期は遅く、発生量は、やや少なかった。	5月から6月にかけて降水量が平年より大幅に少なく、適期防除が実施されたことにより、発生は抑制されたため、発生量は、やや少なかった。	発生初期に防除の実施。
	ハスモンヨトウ	遅	やや少	フェロモントラップへの誘殺数は6月第3半旬に増加したが、それ以降、ほぼ平年並に推移した。ほ場での初発確認は8月13日で発生時期は遅く、発生量は、やや少なかった。	8月は高温で推移し、本種の増殖に好適な条件となったが、発生量が少なく、適期に薬剤防除が実施されたことから密度抑制された。	主産地では定期的な薬剤防除がされている。アブラナ科野菜では、育苗時のセルトレイ灌注や、定植時の粒剤施用が実施されている。
	オオタバコガ	遅	平年並	フェロモントラップへの誘殺数は、7月まで平年並、8月以降少なくなかった。ほ場での初発確認は6月29日で、発生時期は遅く、発生量は平年並であった。	7月までのフェロモントラップでの誘殺数は平年並であった。両種とも7月～8月の集中的な降雨により、密度抑制された。	ハスモンヨトウと同時防除されることが多い。
	ヨトウガ	平年並	やや多	ほ場での初発確認は5月27日で、発生時期は平年並であったが、発生量は、やや多かった。しかし、夏以降、発生を確認していない。	フェロモントラップでの誘殺数は、やや多く、ほ場での飛来量も、やや多であった。発生が増加した要因については不明である。	主産地では定期的な薬剤防除が実施されている。また、アブラナ科野菜では、育苗時のセルトレイ灌注や、定植時の粒剤施用による防除が実施されている。
	アザミウマ類	早	やや多	ほ場での初発は4月8日で、発生時期は平年より早かった。タマネギおよび夏秋ナスの一部で発生が多いほ場があったが、7月に入り密度は低下した。	4月～6月まで、降水量は平年より少なく、増殖に好適な気象条件であったが、7月以降の多雨により、密度抑制された。	発生に応じ薬剤防除がされるが、微小害虫であることから発見・防除が遅れがち。
	コナジラミ類 (夏秋トマト、 夏秋キュウリ)	平年並	少	ほ場での初発確認は6月3日で発生時期は平年並、発生量は少なかった。	通常露地野菜では、問題になることが少なく、施設果菜類や、廃棄場所のトマト等からの飛来により発生する。	発生に応じ薬剤防除がされるが、微小害虫であることから発見・防除が遅れがち。
	アブラムシ類	平年並	やや多	ほ場での初発確認は4月1日で、発生時期は平年並であった。4月～7月の発生量は、やや多かったが、8月以降は、やや少なかった。	4月～7月まで、黄色水盤での誘殺数は、やや多く、8月以降は、やや少なかった。4月～7月まで気温はほぼ平年並で、増殖に好適な条件となった。しかし、8月以降、高温多雨となり、密度が抑制された。	定植時の粒剤施用など、多くは発生初期の防除。
ハダニ類	平年並	平年並	ほ場での初発確認は5月27日で、発生時期は平年並、発生量も平年並であった。	4月～6月の降水量が少なく、増殖に好適な条件であったが、7月～8月の多雨により、密度抑制された。	発生に応じ薬剤防除がされるが、微小害虫であることから発見・防除が遅れがち。なお、一部地域では薬剤感受性の低下が認められている。	
ナス科野菜	疫病 (夏秋トマト)	-	少	ほ場での発生は見られなかった。	5月から6月にかけて降水量が平年より大幅に少なく、発病に好適でなかったため、発病が認められなかった。また、前年の発生が少なかったことから、残存菌密度が少なくなっていると考えられる。	発生初期に防除の実施。
	葉かび病 (夏秋トマト)	-	-	ほ場での発生は見られなかった。	葉かび病抵抗性品種の導入が進んでいること、発病適期に降水量が少なかったため発病が抑制されたと考えられる。	発生初期に防除の実施。
	ニジュウヤホシテントウ類	平年並	平年並	ほ場での初発確認は5月15日で、発生時期、発生量ともに平年並であった。	前年の発生量は平年並で、越冬量も平年並であった。	食害が顕著になった場合のみ防除されている。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
アブラナ科 野菜	軟腐病	-	少	ほ場での発生は認められなかった。	8月中旬の定植以降、台風などの襲来がなかったため、発病が起らなかった。	発生初期と台風の通過後に防除の実施。
	黒腐病 (冬キャベツ)	-	少	ほ場での発生は認められなかった。	8月中旬の定植以降、台風などの襲来がなかったこと、抵抗性品種の普及が進んだことから、発病が起らなかったと考えられる。	発生初期に防除の実施。
	菌核病 (冬キャベツ)	-	少	ほ場での発生は認められなかった。	9月を通して降水量が少なく推移したことから、発病が抑制された。	発生初期に防除の実施。
	ネキリムシ類	早	やや多	フェロモントラップでの誘殺時期は早く、発生量も、やや多かった。	フェロモントラップでの誘殺数は、4月1半旬から平年の約2倍と多く、4月～6月の降水量は平年より少なく、増殖に好適な条件であった。	播種または定植時の粒剤等の防除。
	ハイマダラメイガ	遅	平年並	発生時期は遅く、発生量は平年並であった。	定植前にセルトレイ灌注や粒剤施用されている場合も多く、無防除のほ場との被害の差は顕著となる。	育苗時のセルトレイ灌注や、定植時の粒剤施用の実施。
	コナガ	遅	やや少	ほ場での初発確認は5月29日で、発生時期は遅く、発生量は、やや少なかった。また、フェロモントラップでの誘殺数も、やや少なく推移した。	近年発生量が増加傾向にあるが、春の発生量が、やや少なく、9月以降の発生も、やや少なかった。	育苗時のセルトレイ灌注や、定植時の粒剤施用の実施。植付け後は発生初期の防除。なお、一部地域では薬剤感受性の低下が認められている。
	モンシロチョウ	遅	やや少	ほ場での初発確認は5月15日で、発生時期は遅く、発生量は、やや少なかった。	定植前にセルトレイ灌注や粒剤施用されている場合も多く、無防除のほ場との被害の差は顕著となる。	育苗時のセルトレイ灌注や、定植時の粒剤施用の実施。植付け後は発生初期の防除。
キュウリ	べと病	遅	やや少	ほ場での初発確認は6月25日で、発生時期は遅く、発生量は、やや少なかった。	5月から6月にかけて降水量が平年より大幅に少なく、適期防除が実施されたことにより、発生は抑制されたため、発生量は、やや少なくなった。	発生初期に防除の実施。
	褐斑病	-	-	ほ場での発生は認められなかった。	5月から6月にかけて降水量が平年より大幅に少なく、多湿条件とならなかったことから、発病が抑制された。	発生初期に防除の実施。
タマネギ	さび病	-	少	ほ場での発生は認められなかった。	4月中旬から5月にかけて気温が高く推移し、降水量が少なく推移したことから、発病が抑制された。	発生初期に防除の実施。
	べと病	-	-	ほ場での初発確認は3月12日で、全域で発生が認められた。	2月から3月にかけて気温が高く推移したことから、3月上旬から感染が確認された。前年度発生が多かったほ場を中心に感染が確認されたが、4月から5月にかけて降水量が少なく推移したため、発生量が多いほ場は一部に留まった。	3月の予防防除と発生初期に防除されている。
	白色疫病	-	-	ほ場での発生は認められなかった。	2月から3月にかけて降水量が少なく推移したことから、多湿条件にならず、発病が抑制された。	発生初期に防除の実施。
ネギ	さび病	遅	少	ほ場での初発確認は5月7日で、一部地域で発生が認められたが、発生量は少なかった。	4月中旬から5月にかけて気温が高く推移し、降水量が少なく推移したことから、発病が抑制された。	発生初期に防除の実施。
	黒斑病	-	-	ほ場での発生は認められなかった。	定植以後の9月の降水量が少なく推移したため、多湿条件にならず、発病が抑制された。	発生初期に防除の実施。
	べと病	-	-	ほ場での初発確認は4月9日で、一部地域で発生が認められた。	昨年度発生が少なかったことによる菌密度の低下と、予防的な薬剤散布により発病が抑制された。	発生初期に防除の実施。
	シロイチモジヨトウ	-	やや少	ほ場での発生を認めなかった。	フェロモントラップには誘殺されるが、本県でのほ場での発生は通常はほぼ見られない。さらに、ハスモンヨトウなど他害虫の防除の際に同時防除されている。	発生時の薬剤散布。

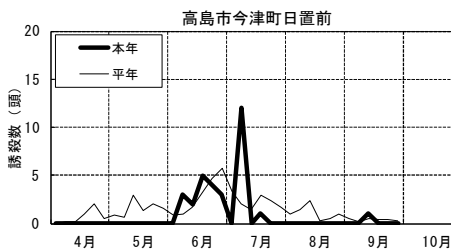
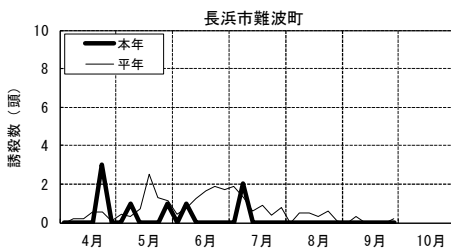
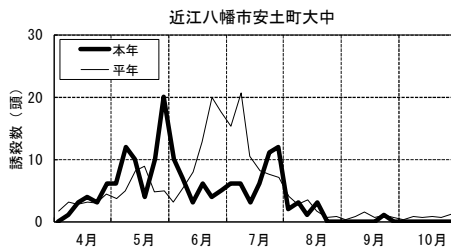
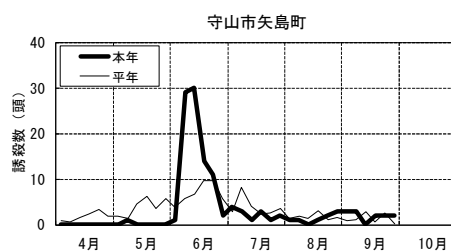
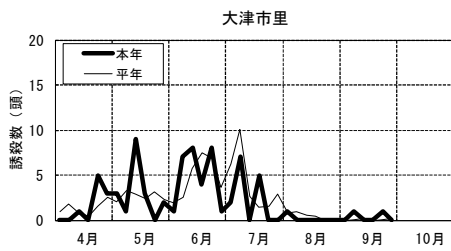
イ 予察灯、フェロモントラップ、黄色水盤による調査

(ア) 予察灯による調査

コナガ半旬別誘殺状況（予察灯）

(頭)

月	半旬	大津市里				守山市矢島町				近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前			
		本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積
4	1	0	0	0.9	1.1	0	0	1.0	0.9	0	0	1.8	1.7	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
2	0	0	0	1.8	2.9	0	0	0.6	1.5	1	1	3.1	4.8	0	0	0.2	0.2	-	0	0.2	0.2
3	1	1	0.9	3.8	0	0	1.6	3.1	3	4	2.8	7.6	0	0	0.2	0.4	-	0	0.2	0.3	
4	0	1	0.5	4.3	0	0	2.3	5.4	4	8	3.2	10.8	0	0	0.6	1.0	-	0	1.0	1.3	
5	5	6	1.5	5.8	0	0	3.4	8.8	3	11	3.0	13.8	3	3	0.6	1.6	-	0	2.0	3.3	
6	3	9	2.5	8.3	0	0	1.8	10.6	6	17	4.4	18.2	0	3	0.1	1.7	-	0	0.5	3.8	
5	1	3	12	2.1	10.4	0	0	1.8	12.4	6	23	3.6	21.8	0	3	0.4	2.1	-	0	0.8	4.7
2	1	13	3.3	13.7	1	1	1.4	13.8	12	35	5.0	26.8	1	4	0.3	2.4	-	0	0.7	5.3	
3	9	22	2.9	16.6	0	1	4.6	18.4	10	45	8.1	34.9	0	4	0.7	3.1	-	0	3.0	8.3	
4	3	25	2.4	19.0	0	1	6.2	24.6	4	49	8.8	43.7	0	4	2.5	5.6	-	0	1.3	9.6	
5	0	25	3.2	22.3	0	1	3.5	28.1	10	59	4.7	48.4	0	4	1.3	6.9	-	0	2.0	11.6	
6	2	27	2.3	24.6	0	1	5.7	33.8	20	79	5.0	53.4	1	5	1.1	8.1	-	0	1.6	13.2	
6	1	1	28	1.9	26.5	1	2	3.9	37.7	10	89	3.2	56.6	0	5	0.4	8.5	-	0	0.9	14.0
2	7	35	2.6	29.0	29	31	5.8	43.5	7	96	5.5	62.1	1	6	0.8	9.3	3	3	1.0	15.0	
3	8	43	5.8	34.8	30	61	6.8	50.3	3	99	7.9	70.0	0	6	1.2	10.5	2	5	1.7	16.8	
4	4	47	7.4	42.3	14	75	9.8	60.1	6	105	12.7	82.7	0	6	1.7	12.2	5	10	3.1	19.9	
5	8	55	6.9	49.1	11	86	9.7	69.8	4	109	20.0	102.7	0	6	1.9	14.1	4	14	4.7	24.6	
6	1	56	3.7	52.8	2	88	5.7	75.5	5	114	17.6	120.3	0	6	1.7	15.8	3	17	5.7	30.3	
7	1	2	58	6.2	59.0	4	92	2.9	78.4	6	120	15.2	135.5	0	6	1.9	17.7	0	17	3.3	33.6
2	7	65	10.1	69.1	3	95	8.2	86.6	6	126	20.7	156.2	2	8	1.3	19.0	12	29	2.0	35.6	
3	0	65	2.7	71.8	1	96	4.2	90.8	3	129	10.4	166.6	0	8	0.6	19.6	0	29	1.4	37.0	
4	5	70	1.4	73.3	3	99	2.3	93.1	6	135	8.2	174.8	0	8	0.9	20.5	1	30	3.0	40.0	
5	0	70	1.6	74.9	1	100	2.7	95.8	11	146	7.6	182.4	0	8	0.4	20.9	0	30	2.4	42.5	
6	0	70	2.9	77.8	2	102	3.6	99.4	12	158	7.0	189.4	0	8	0.8	21.7	0	30	1.7	44.2	
8	1	1	71	0.8	78.5	1	103	1.4	100.8	2	160	4.1	193.5	0	8	0.0	21.7	0	30	1.0	45.2
2	0	71	1.0	79.5	1	104	2.0	102.8	3	163	2.8	196.3	0	8	0.5	22.2	0	30	1.4	46.6	
3	0	71	0.6	80.1	0	104	1.3	104.1	1	164	3.5	199.8	0	8	0.5	22.7	0	30	2.4	49.0	
4	0	71	0.4	80.5	1	105	3.2	107.3	3	167	1.8	201.6	0	8	0.3	23.0	0	30	0.3	49.3	
5	0	71	0.0	80.5	2	107	1.1	108.4	0	167	0.7	202.3	0	8	0.6	23.6	0	30	0.6	49.9	
6	0	71	0.1	80.6	3	110	1.7	110.1	0	167	0.8	203.1	0	8	0.1	23.7	0	30	1.0	50.9	
9	1	0	71	0.0	80.6	3	113	0.9	111.0	0	167	0.2	203.3	0	8	0.0	23.7	0	30	0.6	51.5
2	1	72	0.1	80.7	3	116	1.2	112.2	0	167	0.9	204.2	0	8	0.3	24.0	0	30	0.1	51.6	
3	0	72	0.2	80.9	0	116	2.8	114.9	0	167	1.5	205.7	0	8	0.0	24.0	1	31	0.6	52.2	
4	0	72	0.0	80.9	2	118	0.6	115.5	0	167	0.6	206.3	0	8	0.0	24.0	0	31	0.4	52.6	
5	1	73	0.1	81.0	2	120	2.7	118.2	1	168	1.0	207.3	0	8	0.0	24.0	0	31	0.4	53.0	
6	0	73	0.2	81.3	2	122	0.1	118.3	0	168	0.6	207.9	0	8	0.2	24.2	0	31	0.3	53.3	
10	1									0	168	0.3	208.2								
2										0	168	0.9	209.1								
3										0	168	0.7	209.8								
4										0	168	0.9	210.7								
5										0	168	0.6	211.3								
6										0	168	1.1	212.4								



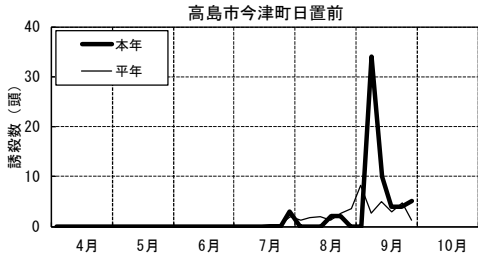
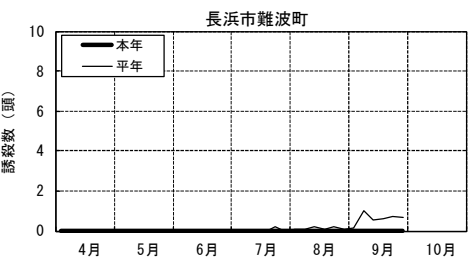
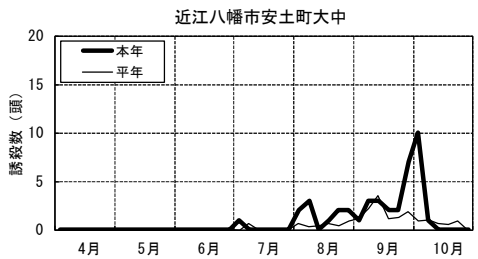
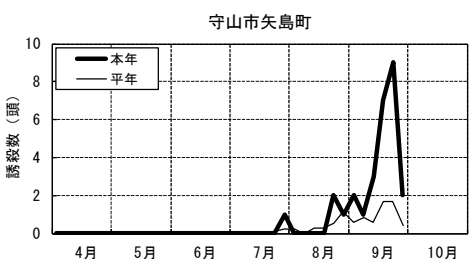
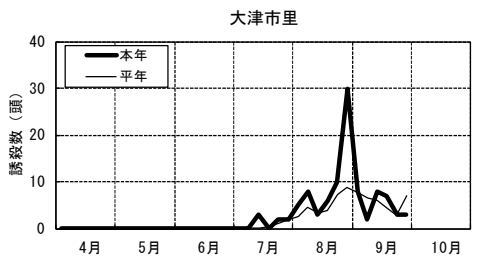
○平年値は基本的に過去10年間（H21～H30）の平均値であるが、高島市の予察灯では、移設により10年分のデータがなく、算出方法については以下のとおりにした。
・高島市今津町日置前の平年値はH24～H30の7年間の平均値

表中の - は欠測を示す。

シロオビノメイガ半旬別誘殺状況

(頭)

月 半旬	大津市里				守山市矢島町				近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前			
	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積
4 1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.0
4 2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.2	0.2
4 3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.2
4 4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.2
4 5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.2
4 6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.2
5 1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.2
5 2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.2
5 3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.2
5 4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.2
5 5	0	0	0.1	0.1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.2
5 6	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.2
6 1	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	-	0	0.0	0.2
6 2	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.2
6 3	0	0	0.1	0.2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.2
6 4	0	0	0.1	0.3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.2
6 5	0	0	0.2	0.6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.3
6 6	0	0	0.0	0.6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.5
7 1	0	0	0.1	0.7	0	0	0.0	0.0	1	1	0.0	0.2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.6
7 2	0	0	0.1	0.8	0	0	0.0	0.0	0	1	0.7	0.9	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.6
7 3	3	3	0.2	1.0	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	0.9	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.7
7 4	0	3	0.4	1.4	0	0	0.0	0.0	0	1	0.1	1.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.3	1.0
7 5	2	5	1.2	2.6	0	0	0.1	0.1	0	1	0.0	1.0	0	0	0.2	0.2	0	0	0.4	1.5
7 6	2	7	1.8	4.4	1	1	0.2	0.3	0	1	0.1	1.1	0	0	0.0	0.2	3	3	1.9	3.3
8 1	5	12	2.6	6.9	0	1	0.2	0.5	2	3	0.6	1.7	0	0	0.1	0.3	0	3	1.3	4.6
8 2	8	20	4.5	11.4	0	1	0.0	0.5	3	6	0.3	2.0	0	0	0.1	0.4	0	3	1.7	6.3
8 3	3	23	3.3	14.7	0	1	0.3	0.8	0	6	0.4	2.4	0	0	0.2	0.7	0	3	2.0	8.3
8 4	6	29	3.9	18.6	0	1	0.3	1.1	1	7	0.7	3.1	0	0	0.1	0.8	2	5	1.3	9.6
8 5	10	39	7.4	26.0	2	3	0.5	1.6	2	9	0.4	3.5	0	0	0.2	1.0	2	7	2.7	12.3
8 6	30	69	8.7	34.7	1	4	1.1	2.7	2	11	0.9	4.4	0	0	0.1	1.1	0	7	3.6	15.9
9 1	8	77	7.8	42.5	2	6	0.6	3.3	1	12	1.1	5.5	0	0	0.1	1.2	0	7	8.1	24.0
9 2	2	79	6.4	49.0	1	7	0.8	4.1	3	15	2.2	7.7	0	0	1.0	2.2	34	41	2.6	26.6
9 3	8	87	6.1	55.1	3	10	0.6	4.7	3	18	3.5	11.2	0	0	0.6	2.8	10	51	4.9	31.5
9 4	7	94	4.2	59.3	7	17	1.7	6.3	2	20	1.1	12.3	0	0	0.6	3.4	4	55	3.0	34.5
9 5	3	97	2.8	62.1	9	26	1.7	8.0	2	22	1.3	13.6	0	0	0.8	4.2	4	59	4.7	39.2
9 6	3	100	7.0	69.1	2	28	0.4	8.4	7	29	1.8	15.4	0	0	0.7	4.8	5	64	1.3	40.5
10 1									10	39	0.9	16.3								
10 2									1	40	1.0	17.3								
10 3									0	40	0.6	17.9								
10 4									0	40	0.5	18.4								
10 5									0	40	0.9	19.3								
10 6									0	40	0.0	19.3								



○平年値は基本的に過去10年間（H21～H30）の平均値であるが、高島市の予祭灯では、移設により10年分のデータがなく、算出方法については以下のとおりにした。
 ・高島市今津町日置前の平年値はH24～H30の7年間の平均値
 表中の - は欠測を示す。

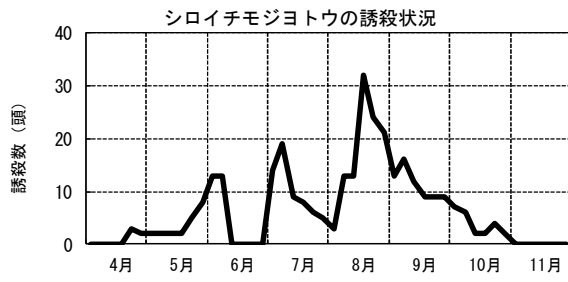
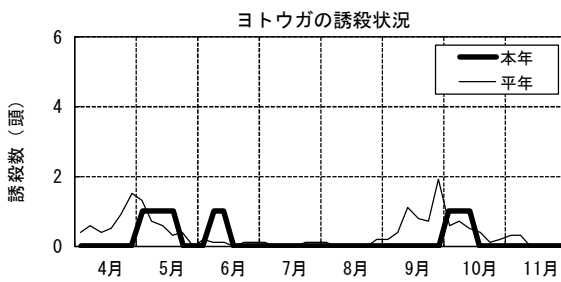
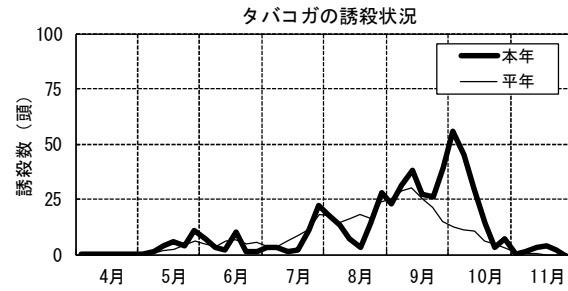
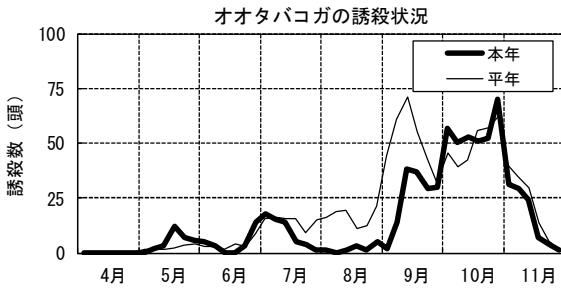
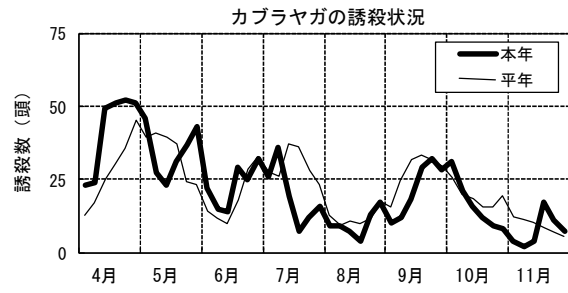
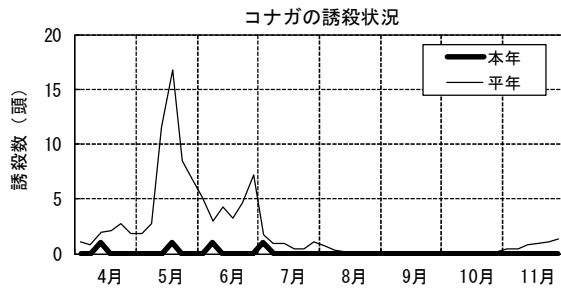
(イ) フェロモントラップによる調査

野菜類主要害虫のフェロモントラップ半旬別誘殺状況（近江八幡市安土町大中）

月 半旬		コナガ		カブラヤガ		タバコガ		オオタバコガ		ヨトウガ	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	1.1	23	12.6	0	0.0	0	0.2	0	0.4
	2	0	0.8	24	16.8	0	0.0	0	0.3	0	0.6
	3	1	2.0	49	25.1	0	0.1	0	0.3	0	0.4
	4	0	2.1	51	30.1	0	0.1	0	0.2	0	0.5
	5	0	2.7	52	35.7	0	0.1	0	0.2	0	0.9
	6	0	1.9	51	45.2	0	0.2	0	0.3	0	1.5
5	1	0	1.8	46	39.4	0	0.1	0	1.4	1	1.3
	2	0	2.8	27	41.0	1	0.5	2	1.5	1	0.7
	3	0	11.5	23	39.2	4	1.5	3	1.9	1	0.6
	4	1	16.7	31	37.0	6	1.9	12	2.0	1	0.3
	5	0	8.5	37	24.3	4	4.1	7	3.5	0	0.4
	6	0	6.8	43	23.4	11	6.2	6	4.0	0	0.0
6	1	0	5.2	22	14.1	7	5.0	5	3.1	0	0.2
	2	1	3.0	15	11.8	3	3.7	3	3.0	1	0.1
	3	0	4.3	14	10.0	2	6.1	0	1.7	1	0.1
	4	0	3.2	29	17.7	10	6.9	0	4.2	0	0.0
	5	0	4.7	25	28.5	1	5.0	3	3.1	0	0.1
	6	0	7.2	32	32.5	1	5.1	14	8.5	0	0.1
7	1	1	1.7	26	27.4	3	3.3	18	15.9	0	0.1
	2	0	1.0	36	26.0	3	3.7	15	16.3	0	0.0
	3	0	1.0	19	37.1	1	5.8	14	15.5	0	0.0
	4	0	0.5	7	36.1	2	8.7	5	15.6	0	0.0
	5	0	0.5	12	28.0	11	11.3	4	9.3	0	0.1
	6	0	1.1	16	23.1	22	18.1	1	15.0	0	0.1
8	1	0	0.7	9	12.7	18	17.3	1	16.3	0	0.1
	2	0	0.3	9	9.1	13	14.3	0	19.0	0	0.0
	3	0	0.2	7	10.7	7	16.3	1	19.4	0	0.0
	4	0	0.1	4	9.9	3	18.0	3	11.3	0	0.0
	5	0	0.0	13	11.6	14	15.9	1	12.6	0	0.0
	6	0	0.1	17	17.4	28	23.9	5	21.6	0	0.2
9	1	0	0.1	10	15.5	23	25.2	2	44.2	0	0.2
	2	0	0.1	12	24.7	31	28.9	14	61.1	0	0.4
	3	0	0.0	18	32.0	38	30.2	38	71.2	0	1.1
	4	0	0.2	29	33.3	27	24.9	37	55.0	0	0.8
	5	0	0.2	32	32.0	26	21.0	29	42.9	0	0.7
	6	0	0.2	28	29.3	39	15.0	30	32.0	0	1.9
10	1	0	0.1	31	25.5	56	12.3	57	45.7	1	0.6
	2	0	0.1	21	19.6	45	11.1	50	38.9	1	0.7
	3	0	0.1	16	18.5	30	10.7	53	42.2	1	0.5
	4	0	0.1	12	15.7	14	6.0	51	55.5	0	0.4
	5	0	0.0	9	15.3	3	5.0	52	57.0	0	0.1
	6	0	0.2	8	19.2	7	2.9	70	62.1	0	0.2
11	1	0	0.4	4	12.1	0	0.8	31	39.7	0	0.3
	2	0	0.5	2	11.3	1	0.5	29	34.5	0	0.3
	3	0	0.8	4	10.5	3	0.1	24	29.7	0	0.0
	4	0	0.9	17	8.4	4	0.0	7	13.6	0	0.0
	5	0	1.1	11	7.1	2	0.0	4	5.4	0	0.0
	6	0	1.3	7	5.6	-1	0.2	1	1.7	0	0.0

・ 平年値はH21～H30の10年間の平均値。

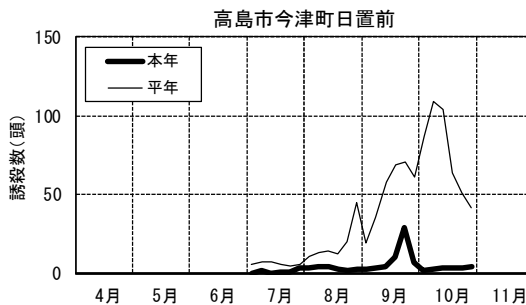
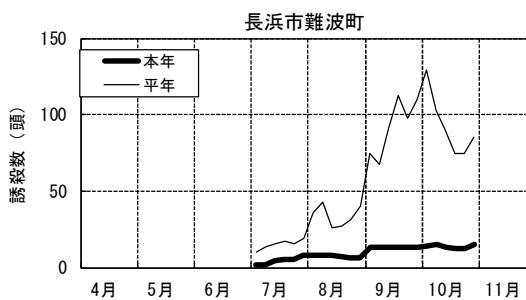
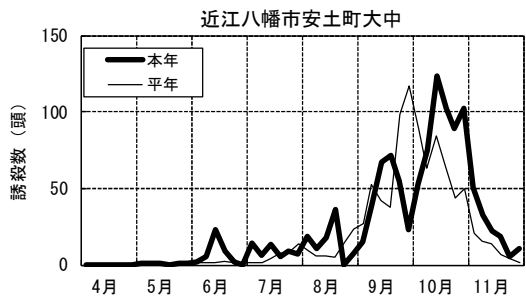
野菜類主要害虫のフェロモントラップ半旬別誘殺状況のグラフ（近江八幡市安土町大中）



平年値は過去10年間（H21～H30）の平均値
 ただし、シロイチモジヨトウのフェロモントラップは今年度から設置したため、本年値のみ。

ハスモンヨトウ半旬別誘殺数（湿式フェロモントラップ）

		近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前			
月	半旬	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積
4	1	0	0	0.1	0.1								
4	2	0	0	0.2	0.3								
4	3	0	0	0.0	0.3								
4	4	0	0	0.0	0.3								
4	5	0	0	0.2	0.5								
4	6	0	0	0.1	0.6								
5	1	1	1	0.1	0.7								
5	2	1	2	0.2	0.9								
5	3	1	3	0.4	1.3								
5	4	0	3	0.5	1.8								
5	5	1	4	0.5	2.3								
5	6	1	5	0.6	2.9								
6	1	2	7	1.0	3.9								
6	2	5	12	1.3	5.2								
6	3	23	35	1.3	6.5								
6	4	9	44	2.2	8.7								
6	5	2	46	0.9	9.6								
6	6	0	46	1.3	10.9								
7	1	14	60	1.7	12.6	2	2	10.2	10.2	0	0	6.1	6.1
7	2	6	66	1.6	14.2	2	4	13.3	23.5	2	2	7.6	13.7
7	3	13	79	4.0	18.2	4	8	15.8	39.3	0	2	7.6	21.3
7	4	5	84	7.8	26.0	5	13	17.3	56.6	1	3	5.9	27.1
7	5	9	93	8.4	34.4	5	18	15.1	71.7	1	4	4.7	31.9
7	6	7	100	13.3	47.7	8	26	19.4	91.1	4	8	6.1	38.0
8	1	19	119	9.2	56.9	8	34	36.0	127.1	4	12	11.0	49.0
8	2	11	130	5.7	62.6	8	42	42.5	169.6	5	17	13.3	62.3
8	3	18	148	5.4	68.0	8	50	26.4	196.0	5	22	14.4	76.7
8	4	36	184	4.5	72.5	7	57	26.9	222.9	3	25	12.6	89.3
8	5	0	184	14.9	87.4	6	63	31.1	254.0	2	27	20.3	109.6
8	6	7	191	23.7	111.1	6	69	40.4	294.4	3	30	44.9	154.4
9	1	15	206	27.2	138.3	13	82	74.6	369.0	3	33	20	174.0
9	2	40	246	52.7	191.0	13	95	67.4	436.4	4	37	36.0	210.0
9	3	67	313	42.1	233.1	13	108	91.7	528.1	5	42	58.0	268.0
9	4	72	385	37.8	270.9	13	121	112.9	641.0	11	53	69.1	337.1
9	5	55	440	99.0	369.9	13	134	97.7	738.6	29	82	70.4	407.6
9	6	23	463	116.9	486.8	13	147	110.3	849.0	7	89	61.3	468.9
10	1	53	516	88.9	575.7	14	161	129.3	978.3	2	91	86.7	555.6
10	2	75	591	62.9	638.6	15	176	103.3	1081.6	3	94	109.3	664.9
10	3	124	715	84.4	723.0	13	189	90.1	1171.7	4	98	104.6	769.4
10	4	103	818	64.1	787.1	12	201	74.7	1246.4	4	102	64.4	833.9
10	5	89	907	43.5	830.6	12	213	74.9	1321.3	4	106	51.0	884.9
10	6	103	1010	50.4	881.0	15	228	85.2	1406.5	5	111	42.1	927.0
11	1	50	1060	21.1	902.1								
11	2	33	1093	15.7	917.8								
11	3	22	1115	13.8	931.6								
11	4	19	1134	6.4	938.0								
11	5	5	1139	3.7	941.7								
11	6	11	1150	1.0	942.7								



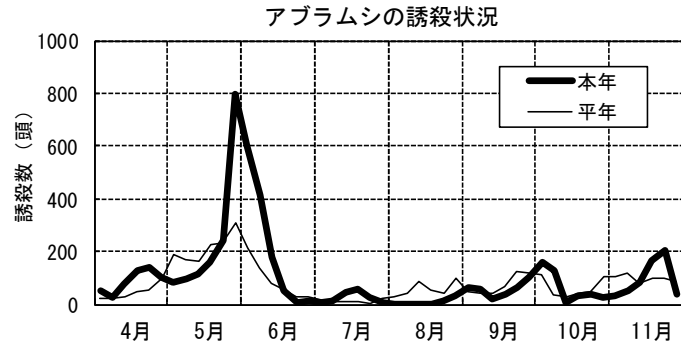
- ・近江八幡市安土町大中の平年値はH21～H30の10年間の平均値。
- ・長浜市難波町の平年値はH21～H30の10年間の平均値。
- ・高島市今津町日置前の平年値はH24～H30の7年間の平均値。

(ウ) 黄色水盤による調査

アブラムシ類半旬別誘殺数 (近江八幡市安土町大中)

(頭)

月	半旬	本年		平年	
		半旬別	累積	半旬別	累積
4	1	54	54	21.8	21.8
	2	26	80	22.4	44.2
	3	78	158	30.3	74.5
	4	128	286	45.1	119.6
	5	137	423	51.6	171.2
	6	100	523	98.8	270.0
5	1	81	604	190.1	460.1
	2	98	702	170.8	630.9
	3	112	814	161.2	792.1
	4	157	971	226.3	1018.4
	5	241	1212	229.7	1248.1
	6	796	2008	306.7	1554.8
6	1	605	2613	210.5	1765.3
	2	412	3025	136.8	1902.1
	3	178	3203	82.0	1984.1
	4	51	3254	52.8	2036.9
	5	8	3262	30.0	2066.9
	6	15	3277	25.9	2092.8
7	1	9	3286	16.6	2109.4
	2	10	3296	8.3	2117.7
	3	42	3338	7.7	2125.4
	4	55	3393	8.8	2134.2
	5	28	3421	6.3	2140.5
	6	7	3428	24.4	2164.9
8	1	1	3429	26.7	2191.6
	2	3	3432	39.0	2230.6
	3	3	3435	85.3	2315.9
	4	2	3437	53.7	2369.6
	5	10	3447	42.7	2412.3
	6	31	3478	100.5	2512.8
9	1	66	3544	50.8	2563.6
	2	60	3604	39.0	2602.6
	3	22	3626	43.4	2646.0
	4	38	3664	67.2	2713.2
	5	65	3729	125.2	2838.4
	6	100	3829	118.1	2956.5
10	1	157	3986	108.3	3064.8
	2	126	4112	35.7	3100.5
	3	6	4118	31.8	3132.3
	4	30	4148	44.3	3176.6
	5	40	4188	49.6	3226.2
	6	23	4211	103.7	3329.9
11	1	35	4246	107.3	3437.2
	2	52	4298	115.1	3552.3
	3	82	4380	80.1	3632.4
	4	167	4547	99.0	3731.4
	5	207	4754	100.4	3831.8
	6	39	4793	87.0	3918.8



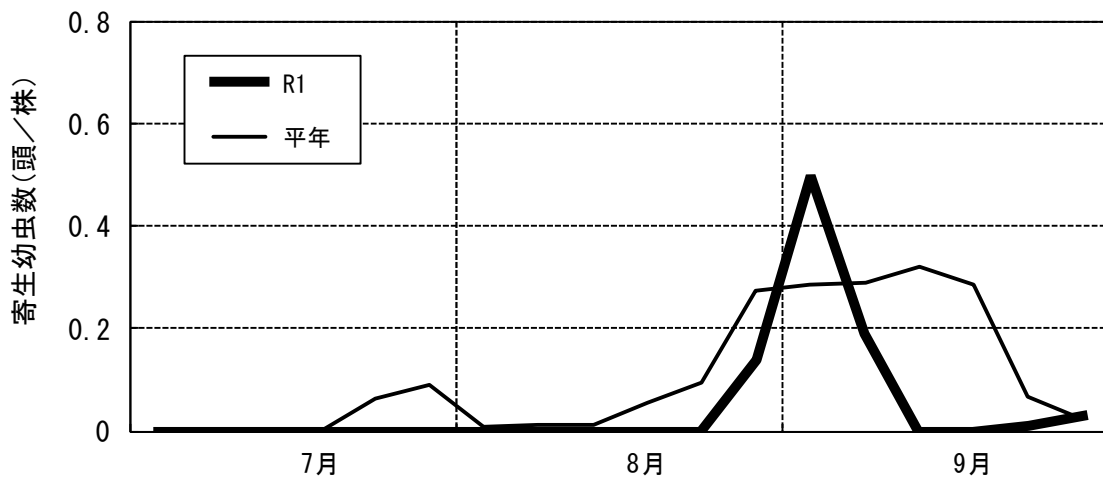
・ 平年値はH21～H30の10年間の平均値。

(エ) クレオメによる調査

クレオメ 1 株当たりのハイマダラノメイガ幼虫寄生数 (近江八幡市安土町大中)

(頭)

月	半旬	R1		平年	
		半旬別	累積	半旬別	累積
7	1	0	0	0	0
	2	0	0	0	0
	3	0	0	0	0
	4	0	0	0	0
	5	0	0	0.06	0.06
	6	0	0	0.09	0.15
8	1	0	0	0.01	0.16
	2	0	0	0.01	0.17
	3	0	0	0.01	0.18
	4	0	0	0.05	0.24
	5	0	0	0.10	0.33
	6	0.14	0.14	0.28	0.61
9	1	0.50	0.64	0.29	0.90
	2	0.19	0.83	0.29	1.25
	3	0	0.83	0.32	1.58
	4	0	0.83	0.29	1.86
	5	0.01	0.84	0.07	2.31
	6	0.03	0.87	0.02	2.33



・平年値は10年間 (H21~H30) の平均値

ウ 発生量調査

(ア) トマト

調査地点	病害虫名	灰色かび病	疫病	葉かび病
		発病度	発病度	発病度
		6/24～26	6/24～26	6/24～26
草津市	下笠町	0	0	0
野洲市	小南	0	0	0
湖南市	菩提寺	0	0	0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0	0
彦根市	松原町	0	0	0
甲良町	下之郷	0	0	0
米原市	世継	0	0	0
高島市今津町	深清水	0	0.5	0

調査地点	病害虫名	アブラムシ類	コナジラミ類	ハスモンヨトウ
		寄生株率 (%)	寄生葉率 (%)	寄生株率 (%)
		7/29～31	7/29～31	7/29～31
草津市	下笠町	0	0	0
野洲市	小南	0	0	0
湖南市	菩提寺	0	0	0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0	0
彦根市	松原町	0	0	0
甲良町	下之郷	0	0	0
米原市	世継	0	0	0
高島市今津町	深清水	0	0	0

(イ) ナス

調査地点	病害虫名	うどんこ病	灰色かび病	アブラムシ類	アザミウマ類
		発病度	発病株率 (%)	1葉あたり生息数 (頭/葉)	寄生葉率 (%)
		6/10～12	6/10～12	7/29～31	7/29～31
草津市	下笠町	0	0	0	0
野洲市	小南	0	0	0	5.0
湖南市	菩提寺	0	0	0	0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0	0	5.0
彦根市	松原町	0	0	0	5.0
甲良町	下之郷	0	0	0	2.0
米原市	世継	0	0	0	0
高島市今津町	深清水	0	0	0	0

調査地点	病害虫名	ハスモンヨトウ	オオタバコガ	ハダニ類
		被害面積率 (%)	被害果率 (%)	寄生葉率 (%)
		8/19～22	7/29～31	8/19～22
草津市	下笠町	0	0	5.0
野洲市	小南	0	0	0
湖南市	菩提寺	0	0	10.0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0	0
彦根市	松原町	0	0	0
甲良町	下之郷	0	0	5.0
米原市	世継	0	0	2.0
高島市今津町	深清水	0	0	0

(ウ) キュウリ

調査地点	病害虫名	べと病	うどんこ病	灰色かび病	褐斑病
		発病葉率 (%)	発病葉率 (%)	発病株率 (%)	発病葉率 (%)
		6/10～12	6/24～26	6/24～26	6/24～26
草津市	下笠町	0	10.0	0	0
野洲市	小南	0	2.0	0	0
湖南市	菩提寺	0	1.0	0	0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0	0	0
彦根市	松原町	0	1.0	0	0
甲良町	下之郷	0	2.0	0	0
米原市	世継	0	0	0	0
高島市今津町	深清水	0	0	0	0

調査地点	病害虫名	アブラムシ類	コナジラミ類	アザミウマ類
		1葉あたり生息数 (頭/葉)	寄生葉率 (%)	1葉あたり寄生頭数 (頭/葉)
		6/24～26	6/24～26	6/24～26
草津市	下笠町	0	0	0.2
野洲市	小南	0	0	2.0
湖南市	菩提寺	0	0	0.2
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0	0.1
彦根市	松原町	0	0	0.1
甲良町	下之郷	0	0	1.0
米原市	世継	0.1	0	0.1
高島市今津町	深清水	0.1	0	1.0

(エ) ダイコン

調査地点	病害虫名	アブラムシ類
		発生程度指数
		10/28
草津市	下笠町	0
野洲市	小南	0
湖南市	菩提寺	0
近江八幡市安土町	上豊浦	0
彦根市	松原町	0
甲良町	下之郷	0
米原市	世継	0
高島市今津町	深清水	0

(オ) 春キャベツ

調査地点	病害虫名	ヨトウガ	コナガ
		寄生株率 (%)	10株当たり幼虫・蛹数 (頭/10株)
		5/27～29	5/27～29
草津市	下笠町	0	0
野洲市	小南	0	1.0
湖南市	菩提寺	2.0	0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0
彦根市	松原町	2.0	0
甲良町	下之郷	0	0
米原市	世継	0	0
高島市今津町	深清水	2.0	0

(カ) 冬キャベツ

病害虫名		黒腐病	菌核病
		発病度	発病株率 (%)
調査地点		10/28	10/28
草津市	下笠町	0	0
野洲市	小南	0	0
湖南市	菩提寺	0	0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0
彦根市	松原町	0	0
甲良町	下之郷	0	0
米原市	世継	0	0
高島市今津町	深清水	0	0

病害虫名		アブラムシ類	ハスモンヨトウ	ヨトウガ	コナガ
		寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	10株当たり幼虫・蛹数 (頭/10株)
調査地点		10/28	10/28	10/28	10/28
草津市	下笠町	0	10.0	0	0
野洲市	小南	0	0	0	0
湖南市	菩提寺	0	0	0	0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0	2.0	1.0
彦根市	松原町	0	0	0	0
甲良町	下之郷	0	0	0	0
米原市	世継	0	0	0	0
高島市今津町	深清水	0	0	0	0

(キ) タマネギ

病害虫名		白色疫病	べと病	アザミウマ類
		被害株率 (%)	被害株率 (%)	被害株率 (%)
調査地点		4/8~9	4/8~9	5/14~16
草津市	下笠町	0	30.0	10.0
野洲市	小南	0	0	10.1
湖南市	菩提寺	0	4.0	3.1
近江八幡市安土町	上豊浦	0	4.0	10.1
彦根市	松原町	0	8.0	20.0
甲良町	下之郷	0	0.5	6.0
米原市	世継	0	8.0	6.7
高島市今津町	深清水	0	0.5	8.0

(ク) ネギ

調査地点	病害虫名	黒斑病	べと病	さび病
		被害株率 (%)	被害株率 (%)	被害株率 (%)
		9/17~19	9/17~19	9/17~19
草津市	下笠町	0	0	0
野洲市	小南	0	0	0
湖南市	菩提寺	0	0	0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0	0
彦根市	松原町	0	0	0
甲良町	下之郷	0	0	0
米原市	世継	0	0	0
高島市今津町	深清水	0	0	0

調査地点	病害虫名	アブラムシ類	アザミウマ類	ハスモンヨトウ	シロイチモジヨトウ
		被害株率 (%)	被害葉率 (%)	被害株率 (%)	被害株率 (%)
		10/28	9/17~19	10/28	10/28
草津市	下笠町	0	1.3	0	0
野洲市	小南	0	1.7	0	0
湖南市	菩提寺	0	1.3	0	0
近江八幡市安土町	上豊浦	1.0	1.3	0	0
彦根市	松原町	0	0	0	0
甲良町	下之郷	0	0	0	0
米原市	世継	0	0	0	0
高島市今津町	深清水	0	0	0	4.0

(ケ) サトイモ

調査地点	病害虫名	ハスモンヨトウ
		食害面積率 (%)
		9/17~19
草津市	下笠町	0
野洲市	小南	0
湖南市	菩提寺	5.0
近江八幡市安土町	上豊浦	0
彦根市	松原町	0
甲良町	下之郷	0
米原市	世継	0
高島市今津町	深清水	0

エ 発生状況一覧表

(ア) ほ場

作物名	病害虫名	初発見 月日	初発見場所	作物名	病害虫名	初発見 月日	初発見場所
トマト	灰色かび病	6/26	高島市今津町深清水	キャベツ	菌核病	-	-
	疫病	-	-		黒腐病	-	-
	葉かび病	-	-		軟腐病	-	-
	モモアカアブラムシ	5/15	野洲市小南		アブラムシ類	9/17	草津市下笠町
	コナジラミ類	6/3	近江八幡市安土町大中		ハスモンヨトウ	9/17	草津市下笠町
	オオタバコガ	7/17	近江八幡市安土町大中		オオタバコガ	10/28	甲良町下之郷
ナス	ハスモンヨトウ	-	-		ヨトウガ	5/27	湖南市善提寺
	うどんこ病	8/22	米原市世継		コナガ	5/29	野洲市小南
	灰色かび病	-	-		ハイマダラノメイガ	9/18	野洲市小南
	アブラムシ類	5/15	野洲市小南		カブラヤガ	-	-
	ハダニ類	5/27	米原市世継	モンシロチョウ	5/15	近江八幡市安土町上豊浦	
	ミナミキイロアザミウマ	5/15	近江八幡市安土町上豊浦	黒腐病	-	-	
キュウリ	ハスモンヨトウ	-	-	ブロッコリ	ハスモンヨトウ	10/28	草津市下笠町
	うどんこ病	6/10	甲良町下之郷	ヨトウガ	-	-	
	灰色かび病	-	-	コナガ	-	-	
	褐斑病	-	-	さび病	-	-	
	アブラムシ類	5/15	湖南市善提寺	べと病	3/12	彦根市松原町	
	アザミウマ類	5/15	近江八幡市安土町上豊浦	白色疫病	-	-	
ダイコン	コナジラミ類	-	-	ネギアザミウマ	4/8	草津市下笠町	
	ハスモンヨトウ	-	-	さび病	5/7	近江八幡市安土町大中	
	オオタバコガ	-	-	黒斑病	-	-	
	ハダニ類	-	-	べと病	4/9	近江八幡市安土町上豊浦	
	アブラムシ類	-	-	ネギアブラムシ	4/8	野洲市小南	
	ハスモンヨトウ	-	-	ネギアザミウマ	4/8	野洲市小南	
サトイモ	ヨトウガ	-	-	ハスモンヨトウ	-	-	
	コナガ	10/28	野洲市小南	シロイチモジヨトウ	10/28	高島市今津町深清水	
				ハスモンヨトウ	8/13	近江八幡市安土町大中	
				ハダニ類	-	-	

巡回調査において、複数種を調査対象としているものや種同定が困難なものは「～類」とした。なお、指定有害動植物は網掛けで示した。

(イ) 予察灯、フェロモントラップおよび黄色水盤

害虫名	初発見 月日	初発見場所
アブラムシ類	4/8	近江八幡市安土町大中（黄色水盤）
ヨトウガ	5/8	近江八幡市安土町大中（P T）
ハスモンヨトウ	5/8	近江八幡市安土町大中（P T）
シロイチモジヨトウ	4/24	近江八幡市安土町大中（P T）
タバコガ	5/15	近江八幡市安土町大中（P T）
オオタバコガ	5/8	近江八幡市安土町大中（P T）
カブラヤガ	4/8	近江八幡市安土町大中（P T）
シロオビノメイガ	7/5	高島市今津町日置前（予）
コナガ	4/8	近江八幡市安土町大中（予）

初発見場所（ ）内記号 P T：フェロモントラップ、予：予察灯

オ 発生および被害面積

作物名	栽培面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					発生面積率 (%)	被害面積率 (%)	防除面積 (ha)		
			甚	多	中	少	計			実防除	延防除	
トマト	6	灰色かび病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		疫病	0	0	0	1	1	16.7	0	1	1	
		葉かび病	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
		アブラムシ類	0	0	0	3	3	50.0	0	1	2	
		コナジラミ類	0	0	0	1	1	16.7	0	1	1	
		ミカンキイロアザミウマ	0	0	0	1	1	16.7	0	1	1	
		ハスモンヨトウ	0	0	0	1	1	16.7	0	1	1	
		オオタバコガ	0	0	2	2	4	66.7	33.3	3	6	
ナス	20	うどんこ病	0	0	0	2	2	10.0	0	1	1	
		灰色かび病	0	0	0	0	0	0	0	3	6	
		アブラムシ類	0	0	1	6	7	35.0	5.0	6	14	
		アザミウマ類	0	0	1	9	10	50.0	5.0	14	28	
		マメハモグリバエ	0	0	0	1	1	5	0	0	0	
		ニジュウヤホシテントウ類	0	0	0	6	6	30.0	0	6	6	
		ハスモンヨトウ	0	0	0	2	2	10.0	0	6	6	
		オオタバコガ	0	0	0	8	8	40.0	0	6	14	
		ハダニ類	0	0	0	7	7	35.0	0	12	24	
キュウリ	9	灰色かび病	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
		うどんこ病	0	0	0	3	3	33.3	0	2	2	
		べと病	0	0	0	3	3	33.3	0	2	2	
		褐斑病	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
		アブラムシ類	0	0	1	4	5	55.6	11.1	6	12	
		コナジラミ類	0	0	0	1	1	11.1	0	1	1	
		ミカンキイロアザミウマ	0	0	0	2	2	22.2	0	5	5	
		アザミウマ類	0	0	2	5	7	77.8	22.2	5	5	
		ハスモンヨトウ	0	0	0	1	1	11.1	0	1	1	
オオタバコガ	0	0	0	2	2	22.2	0	1	1			
ハダニ類	0	0	0	3	3	33.3	0	2	2			
ダイコン	42	アブラムシ類	0	0	0	7	7	16.7	0	15	25	
		ハスモンヨトウ	0	0	0	2	2	4.8	0	15	25	
		ヨトウガ	0	0	0	3	3	7.1	0	15	25	
		コナガ	0	0	0	5	5	11.9	0	15	25	
春キャベツ	25	アブラムシ類	0	0	0	7	7	28.0	0	10	20	
		ヨトウガ	0	0	1	7	8	32.0	4.0	10	20	
		コナガ	0	0	0	2	2	8.0	0	10	20	
冬キャベツ	224	黒腐病	0	0	0	0	0	0	0	20	20	
		菌核病	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
		アブラムシ類	0	0	0	6	6	2.7	0	120	120	
		ハスモンヨトウ	0	0	0	50	50	22.3	0	120	240	
		ヨトウガ	0	0	0	12	12	5.4	0	120	240	
		オオタバコガ	0	0	1	71	72	32.1	0.4	120	240	
		コナガ	0	0	0	50	50	22.3	0	120	240	
モンシロチョウ	0	0	0	55	55	24.6	0	120	240			
ブロッコリー	62	ハスモンヨトウ	0	0	0	18	18	29.0	0	50	100	
		コナガ	0	0	0	16	16	25.8	0	50	100	
タマネギ	52	白色疫病	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
		べと病	0	0	0	3	3	5.8	0	15	15	
		アザミウマ類	0	0	0	0	0	0	0	3	3	
ネギ	49	黒斑病	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
		べと病	0	0	0	1	1	10.2	0	15	15	
		さび病	0	0	0	1	1	0	0	25	30	
		アブラムシ類	0	0	0	5	5	4.1	0	20	30	
		ネギアザミウマ	0	0	5	25	30	49.0	10.2	40	90	
		ハスモンヨトウ	0	0	0	3	3	12.2	0	10	10	
		シロイチモジヨトウ	0	0	0	1	1	2.0	0	13	13	
サトイモ	23	ハスモンヨトウ	0	0	0	7	7	43.5	0	4	4	

※被害面積率 = (程度別発生面積甚～中の和) / (栽培面積)

6 果樹等作物病害虫発生予察事業

ナシなどの主要果樹、チャおよび花き（キク）について、主要病害虫を対象とした重点調査の結果に基づき、病害虫発生予報を10回（P.81）、発生予察情報として防除情報を4回（果樹カメムシ類3回、チャノホソガ）発表した。

（1）果樹

ア 生育概況

（ア）ナシ

3月までは暖冬で経過したものの、4月上旬から中旬にかけて低温で推移したため、展葉期および開花期は、平年よりやや遅くなった。

開花期は、降雨が少なく温暖な日が続いたため、受精・結実は良好であった。

しかし、果実肥大期の5月下旬から7月上旬は少雨で、その後7月中下旬は多雨・日照不足となったことから、特に「幸水」で裂果が発生した。また7月28日以降、約2週間にわたり、ほとんど降雨がなく、高温状態が続いたことから、早生品種を中心に小玉傾向となった。

収穫時期は、近年に比べると遅れたものの、平年並であった。

8月中旬に近畿を通過した台風11号により、中生、晩生品種の一部で落果がみられた。

（イ）ブドウ

3月までは暖冬で経過したものの、4月上旬から中旬にかけて低温で推移したため、初期生育が停滞し、発芽は平年より遅くなった。

しかし、5月は晴天が多く、高温で推移したことから生育が進み、開花時期は平年並となった。

5月下旬から7月上旬は少雨で、その後7月中下旬にかけて多雨・日照不足となったことから、一部裂果が発生した。また7月28日以降、約2週間にわたり、ほとんど降雨がなく、高温状態が続いたことから、果粒肥大は劣り、一部日焼けの症状がみられた。

着色は早生品種で平年よりやや早く進み、その程度も良好で、収穫時期もやや早くなった。しかし、中晩生品種では糖度の上昇が遅く、一部着色不良がみられた。

全体的に生育期の降雨が少なかったことから、平年より病害の発生が少なかった。

（ウ）カキ

発芽・展葉は平年並で、5月は晴天が多く、高温で推移したことから生育が進み、開花時期は平年よりやや早くなった。開花期以降も概ね天候に恵まれ、着果・初期肥大は良好であった。

7月28日以降、約2週間にわたり、ほとんど降雨がなく、高温状態が続いたことから、日焼け果がみられた。また収穫期前の多雨により、へたすき果の発生が多くみられた。

9月以降高温が続いたことから「富有」において着色が遅れ、収穫時期も遅れた。ツヤアオカメムシ等の果樹カメムシ類の発生が多く、収量は減少した。

イ 発生状況

(ア) ナシ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
黒星病	やや早	平年並	葉での発病は5月中旬頃と、やや早かったが、その発生量は平年並であった。収穫直前に果実への発病がみられ、その発生量も平年並であった。	前年の発生量は平年より、やや多かったため、越冬した菌密度も高くなったことから発生時期が、やや早かった。5～6月の降水量は少なく梅雨入りも遅かったため、発生量は平年並であった。しかし、梅雨時期のまとまった降雨前に薬剤防除できなかった園については、果実への発病が確認された。	開花期から梅雨明けまでの薬剤防除。秋季防除の徹底、落葉、被害果の園外処分。
赤星病	平年並	やや少	生育期間を通して、発生量は、やや少なかった。	5月の降水量が少なかったため、発生量は、やや少なかった。	4～5月の降雨前に、薬剤による黒星病との同時防除。
うどんこ病	平年並	平年並	収穫後半に発病したものの、発生量は平年並であった。	7～8月の降水量が多かったため、発病が増えたが、発生量は平年並となった。	薬剤による黒星病との防除。落葉の処分。
ナシヒメシクイ	平年並	平年並	発生時期は平年並であったが、収穫後半に果実への被害が見られた。	フェロモントラップでの誘殺時期は4月第3半旬と平年並であったが、その後増えることなく、誘殺数は、やや少なかった。しかし、薬剤防除の適期を逸した園については収穫後半に果実への被害が目立った。	発生に応じた薬剤防除。被害果の処分。交信攪乱剤の設置。
モモシクイガ	—	やや少	生育期間を通して、発生および被害を確認していない。	他害虫との同時防除により発生および被害は確認できなかった。	発生に応じた薬剤防除。被害果の処分。交信攪乱剤の設置。
チャノココクモンハマキ	やや遅	平年並	発生時期は、やや遅く、収穫後半に葉および果実への食害が見られた。	フェロモントラップでの誘殺時期は4月第5半旬と、やや遅かった。誘殺数は7月上旬、8月中下旬に一時増加したが、薬剤防除により発生量は平年並となった。薬剤防除の適期を逸した園については葉や果実への被害につながった。	薬剤および交信攪乱剤によるシクイムシ類等との同時防除。
チャハマキ	平年並	やや多	発生時期は平年並であったが、収穫後半に葉および果実への食害が見られた。	フェロモントラップでの誘殺数は7月以降増加し、その発生量は、やや多かった。薬剤防除の適期を逸した園については葉や果実への被害につながった。	薬剤および交信攪乱剤によるシクイムシ類等との同時防除。
チャバネアオカメムシ	平年並	越冬世代 やや少 第一世代 やや多	越冬世代の飛来時期は平年並であったが、その後の発生は、やや少なかった。8月中下旬になって第一世代の発生が増加し始め、果実への被害もみられたが、ネット被覆により大きな被害には至らなかった。	前年の発生量が多かったが、越冬成虫調査では数が少なかったことから、越冬世代の発生量が、やや少なかった。第一世代が増えたのは、5月以降の高温や餌となるヒノキ球果量が関係している。	ネット被覆および発生に応じた薬剤防除。6月24日、8月23日に防除情報を発信した。
ツヤアオカメムシ	平年並	越冬世代 多 第一世代 多	越冬世代の飛来時期は平年並であったが、6月中旬に増加した。8月に入って、第一世代が増加し始め、発生量は多くなった。果実への被害も一部みられたが、ネット被覆により大きな被害には至らなかった。	予察灯では初飛来が5月第2半旬と平年並であったが、6月第3半旬以降急激に増加した。その後、発生量は、やや減少したものの8月第1半旬から第一世代が増加し始め、発生量は多くなった。第一世代が増えたのは、暖冬や5月以降の高温、餌となるヒノキ球果量が関係している。	ネット被覆および発生に応じた薬剤防除。6月24日、8月23日に防除情報を発信した。
クサギカメムシ	やや遅	越冬世代 やや少 第一世代 平年並	越冬世代の飛来時期は平年並であり、生育期間を通じて発生量は平年並であった。	予察灯では初飛来が6月第6半旬と平年より、やや遅く、越冬世代の誘殺数も、やや少なかった。第一世代が増えたのは、5月以降の高温や餌となるヒノキ球果量が関係している。	ネット被覆および発生に応じた薬剤防除。6月24日、8月23日に防除情報を発信した。
アブラムシ類	平年並	やや少	初発確認は5月上旬と平年並であり、一時増加したが、その後も多発することはないと推移し、発生量は平年より、やや少なかった。	5月の高温により一時発生量は増加したが、適期防除により抑えられた。	展葉期、新梢新梢期に発生に応じて薬剤防除。
ハダニ類	やや早	平年並	初発確認は6月中旬と平年より、やや早かったが、その後梅雨時期に入って発生量は落ち着き、平年並となった。	5～6月の気温は高く、降水量が少なかったことにより、発生時期は、やや早くなった。	発生初期の薬剤防除。薬剤のローテーション散布。

(イ) ブドウ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
うどんこ病	やや遅	やや少	果実の初発確認は7月中旬と、やや遅く、その後の発生量も平年より、やや少なかった。	梅雨入りが平年より遅く、6月中旬から7月上旬の梅雨期の降雨が少なく推移したことから、発生量は少なかった。	初発時の薬剤防除。発病果の摘粒。
べと病	遅	少	初発確認は8月中旬と遅く、その後の発生量も少なかった。一部園地で9月上旬に増加した。	梅雨入りが平年より遅く、6月中旬から7月上旬の梅雨期の降雨が少なく推移したことから、発生量は少なかった。8月中旬の台風および8月下旬の長雨により、風当たりの強い園地では被害は増えた。	雨除け被覆。初発時の薬剤防除。落葉の園外処分。
灰色かび病	—	やや少	花穂における発病は確認されなかった。	5～6月は高温および降水量は少なく推移し、梅雨入りも遅かったため、発生量は、やや少なかった。	花かす落としの励行。開花前と落花直後の薬剤防除。発病果の摘粒。新梢管理による過繁茂防止。
晩腐病	やや早	平年並	初発確認は8月上旬と、やや早かったが、その発生量は少なく、その後の拡大は見られなかった。	5～6月の降雨が少なかったことにより発生量は平年並であったが、袋かけが遅れた園地においては、7月の降雨により発生が増えた。適期防除および袋かけの実施により、拡大は見られなかった。	開花期および幼果期の薬剤防除。粗皮削り。幼果期の薬剤防除。雨よけ被覆。袋かけの実施。発病果の摘粒。
カイガラムシ類	—	やや少	新梢および果実における発病は確認されなかった。	前年の発生量も、やや少なく、粗皮削りや適期防除が実施されたため、発生量が、やや少なかった。	薬剤防除。粗皮削り。
チャバネアオカメムシ	平年並	越冬世代 やや少 第一世代 やや多	越冬世代の飛来時期は平年並であったが、その後の発生は、やや少なかった。8月中下旬になって第一世代の発生が増加し始めたが、果実への被害は確認されなかった。	前年の発生量が多かったが、越冬成虫調査では数が少なかったことから、越冬世代の発生量が、やや少なかった。第一世代が増えたのは、5月以降の高温や餌となるヒノキ球果量が関係している。	発生に応じた薬剤防除。6月24日、8月23日に防除情報を発信した。
ツヤアオカメムシ	平年並	越冬世代 多 第一世代 多	越冬世代の飛来時期は平年並であったが、6月中旬に増加した。8月に入って、第一世代が増加し始め、発生量は多くなったが、果実への被害は確認されなかった。	予察灯では初飛来が5月第2半旬と平年並であったが、6月第3半旬以降急激に増加した。その後、発生量は、やや減少したものの8月第1半旬から第一世代が増加し始め、発生量は多くなった。第一世代が増えたのは、暖冬や5月以降の高温、餌となるヒノキ球果量が関係している。	発生に応じた薬剤防除。6月24日、8月23日に防除情報を発信した。
クサギカメムシ	やや遅	越冬世代 やや少 第一世代 平年並	越冬世代の飛来時期は平年並であり、生育期間を通じて発生量は平年並であった。果実への被害は確認されなかった。	予察灯では初飛来が6月第6半旬と平年より、やや遅く、越冬世代の誘殺数も、やや少なかった。第一世代が増えたのは、5月以降の高温や餌となるヒノキ球果量が関係している。	発生に応じた薬剤防除。6月24日、8月23日に防除情報を発信した。
フタテンヒメヨコバイ	—	平年並	ほ場での発生は見られなかった。	近年発生を確認することは少ない。	アザミマ類との同時防除。新梢管理による過繁茂の防止。
チャノキイロアザミウマ	やや早	やや多	7月下旬に果軸および果粒への被害を確認し、その発生量も平年より、やや多かった。	幼果期の薬剤防除が防除時期に合わなかったことにより、被害が増加した。	幼果期の薬剤防除。粗皮削り。袋かけ。園内外の除草。
コガネムシ類	平年並	平年並	初発確認は6月下旬であり、発生時期は平年並であった。適期防除により被害は拡大しなかった。	園外からの飛来が主であり、園外の雑草等の管理が怠ると、発生が多くなる。	飛来状況に応じた薬剤防除。園外の雑草等管理。

(ウ) カキ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
うどんこ病	やや遅	やや少	初発確認は6月下旬と平年よりやや遅く、その後の発生量も、やや少なく推移した。	5～6月の気温は高く、降水量は少なく推移し、梅雨入りも遅く、降水量も少なくなったため、発生時期は、やや遅くなり、発生量はやや少なかった。	初発時の防除。落葉病、炭疽病との同時防除。落葉の園外処分。
落葉病	やや早	やや少	初発確認は7月下旬と、やや早かったが、その後の発生量も、やや少なく推移した。	梅雨時期は降水量が多かったため、発生時期が早くなったが、その後高温により発生量は、やや少なかった。	感染期の薬剤防除。落葉の園外処分。
炭疽病	—	やや少	新梢および果実における発病は確認されなかった。	5～6月の気温は高く、降水量は少なく推移し、梅雨入りも遅かったため、発生量は、やや少なかった。	新梢の過繁茂防止。発病枝や発病果の除去。薬剤防除。
チャノキイロアザミウマ	—	やや少	果実における発病は確認されなかった。	適期防除が実施され、発生量は少なかった。	開花期および幼果期の薬剤防除。粗皮削り。
カキクダアザミウマ	やや早	平年並	初発確認は6月中旬と、やや早かったが、その後の発生量は平年並であった。	5～6月は高温により発生は早かったが、その後の適期防除により被害の拡大は見られなかった。	軽微な被害葉が見え始めた頃の薬剤による防除。被害葉の処分。粗皮削り。
カキノヘタムシガ	平年並	やや多	初発確認は6月上旬と平年並であり、第一世代での成虫も確認された。また、第二世代による果実への被害は増え、その被害量は平年より、やや多くなった。	5～6月は高温により、第一世代の成虫が増え、その時の発生と防除時期が合わなかったことにより、第二世代での発生が増えた。	満開10日後および成虫発生盛期の薬剤防除。粗皮削り。
フジコナカイガラムシ	—	やや少	新梢および果実における発病は確認されなかった。	前年の発生量もやや少なく、粗皮削りや適期防除が実施されたため、発生量が、やや少なかった。	薬剤防除。粗皮削り。
チャバネアオカメムシ	平年並	越冬世代 やや少 第一世代 やや多	越冬世代の飛来時期は平年並であったが、その後の発生は、やや少なかった。8月中下旬になって第一世代の発生が増加し始め、ほ場において昼間でも観察された。	前年の発生量が多かったが、越冬成虫調査では数が少なかったことから、越冬世代の発生量が、やや少なかった。第一世代が増えたのは、5月以降の高温や餌となるヒノキ球果量が関係している。	発生に応じた薬剤防除。6月24日、8月23日に防除情報を発信した。
ツヤアオカメムシ	平年並	越冬世代 多 第一世代 多	越冬世代の飛来時期は平年並であったが、6月中旬に増加した。8月に入って、第一世代が増加し始め、発生量は多くなった。	予察灯では初飛来が5月第2半旬と平年並であったが、6月第3半旬以降急激に増加した。その後、発生量は、やや減少したものの8月第1半旬から第一世代が増加し始め、発生量は多くなった。第一世代が増えたのは、暖冬や5月以降の高温、餌となるヒノキ球果量が関係している。	発生に応じた薬剤防除。6月24日、8月23日に防除情報を発信した。
クサギカメムシ	やや遅	越冬世代 やや少 第一世代 平年並	越冬世代の飛来時期は平年並であり、生育期間を通じて発生量は平年並であった。	予察灯では初飛来が6月第6半旬と平年よりやや遅く、越冬世代の誘殺数も、やや少なかった。第一世代が増えたのは、5月以降の高温や餌となるヒノキ球果量が関係している。	発生に応じた薬剤防除。6月24日、8月23日に防除情報を発信した。
マイマイガ	—	少	ほ場での発生は見られなかった。	H24に多発したが、その後の発生は少ない。	初発時の薬剤防除。
チャノコカクモンハマキ	やや遅	平年並	発生時期は、やや遅く、葉および果実への食害が見られた。	フェロモントラップでの誘殺時期は4月第5半旬と、やや遅かった。誘殺数は7月上旬、8月中下旬に一時増加したが、薬剤防除により発生量は平年並となった。薬剤防除の適期を逸した園については葉や果実への被害につながった。	アザミウマ類、カキノヘタムシガとの同時防除。
チャハマキ	平年並	やや多	発生時期は平年並であったが、葉および果実への食害が見られた。	フェロモントラップでの誘殺数は7月以降増加し、その発生量は、やや多かった。薬剤防除の適期を逸した園については葉や果実への被害につながった。	アザミウマ類、カキノヘタムシガとの同時防除。

ウ 予察灯、フェロモントラップおよびほ場における調査

(ア) 予察灯による調査

カメムシ類半旬別誘殺状況 (栗東市荒張、100W高圧水銀灯) (頭)

月	半旬	チャバネアオカメムシ				ツヤアオカメムシ				クサギカメムシ			
		本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積
4	1	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
	2	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
	3	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
	4	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
	5	0	0	0.1	0	0	0	0.0	0	0	0	0.1	0
	6	0	0	0.1	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
5	1	0	0	2.6	3	0	0	0.2	0	0	0	0.0	0
	2	2	2	0.1	3	2	2	0.3	1	0	0	0.0	0
	3	3	5	1.8	5	7	9	0.7	1	0	0	0.0	0
	4	1	6	49.7	54	9	18	4.4	6	0	0	0.0	0
	5	1	7	2.8	57	14	32	1.8	7	0	0	0.1	0
	6	0	7	9.8	67	2	34	6.7	14	0	0	0.1	0
6	1	8	15	14.9	82	59	93	9.6	24	0	0	0.1	1
	2	0	15	10.6	92	10	103	25.2	49	0	0	1.0	2
	3	2	17	9.9	102	94	197	17.6	66	0	0	1.1	3
	4	17	34	16.6	119	321	518	18.2	85	0	0	0.6	3
	5	17	51	24.0	143	246	764	41.0	126	0	0	0.3	4
	6	30	81	86.3	229	121	885	34.6	160	2	2	0.4	4
7	1	3	84	55.7	285	72	957	31.8	192	1	3	0.5	4
	2	11	95	66.1	351	63	1020	26.0	218	1	4	4.6	9
	3	1	96	108.9	460	83	1103	38.5	257	1	5	17.2	26
	4	3	99	144.7	604	32	1135	55.8	312	2	7	21.2	47
	5	2	101	102.7	707	10	1145	48.4	361	0	7	17.8	65
	6	1	102	239.4	947	11	1156	48.9	410	2	9	72.3	138
8	1	10	112	239.5	1186	106	1262	49.2	459	4	13	49.7	187
	2	14	126	125.7	1312	510	1772	39.4	498	15	28	27.0	214
	3	86	212	134.7	1446	1696	3468	42.0	540	27	55	29.0	243
	4	32	244	160.8	1607	294	3762	57.9	598	36	91	32.1	275
	5	19	263	112.2	1719	28	3790	33.1	631	5	96	25.2	301
	6	70	333	135.8	1855	86	3876	45.5	677	14	110	19.7	320
9	1	301	634	76.2	1931	122	3998	32.7	709	15	125	6.0	326
	2	364	998	83.0	2014	109	4107	47.0	756	14	139	3.8	330
	3	201	1199	52.9	2067	439	4546	27.2	784	3	142	2.6	333
	4	99	1298	43.6	2111	250	4796	49.1	833	0	142	1.6	334
	5	104	1402	35.7	2147	500	5296	43.4	876	0	142	1.4	336
	6	1318	2720	51.6	2198	2616	7912	55.1	931	4	146	1.8	337
10	1	308	3028	25.2	2223	1220	9132	82.4	1014	3	149	1.0	338
	2	44	3072	18.7	2242	245	9377	80.6	1094	1	150	0.9	339
	3	225	3297	9.9	2252	1101	10478	49.5	1144	1	151	0.6	340
	4	42	3339	5.2	2257	744	11222	26.4	1170	2	153	0.2	340
	5	11	3350	3.0	2260	239	11461	12.4	1183	0	153	0.3	340
	6	2	3352	0.9	2261	70	11531	6.0	1189	0	153	0.1	340

※平年値はH21～H30の10年間の平均値

(イ) フェロモントラップによる調査

フェロモントラップ半旬別誘殺状況 (栗東市荒張)

(頭)

月	半旬	果樹カメムシ類						ナシヒメシンクイ		チャハマキ		チャノコカクモンハマキ	
		チャバナアオカメムシ		ツヤアオカメムシ		クサギカメムシ		本年	平年	本年	平年	本年	平年
		本年	平年	本年	平年	本年	平年						
4	1	0	0.1	0	0	0	0	0	0.4	0	0.2	0	0.0
	2	0	0.3	0	0	0	0	0	0.4	0	0.2	0	0.6
	3	0	0	0	0	0	0	1	0.8	0	0.0	0	0.6
	4	0	0.5	0	0	0	0	1	1.6	0	0.3	0	1.3
	5	0	3.6	0	0.1	0	0	0	2.0	3	0.6	2	1.4
	6	1	3.1	0	0	0	0.2	0	2.4	0	1.3	2	1.5
5	1	3	29.1	2	0.4	0	0.4	0	0.7	1	1.6	0	2.4
	2	2	19.6	2	0	0	0	0	0.4	2	1.4	0	3.9
	3	0	35.2	3	3.1	0	0.3	0	0.1	0	2.1	3	6.2
	4	1	106.8	1	6.1	0	1.4	0	0.1	1	3.1	0	4.1
	5	30	26.4	18	3.1	0	1	0	0.0	1	1.7	0	1.9
	6	1	20.6	6	4.7	0	1.3	0	0.0	0	1.8	3	1.3
6	1	5	71.1	56	7.4	0	3.2	0	0.1	2	1.0	1	0.1
	2	1	36.2	2	4.2	0	1	0	0.2	1	1.0	0	0.2
	3	0	31.3	0	0.7	0	0.8	0	0.3	3	0.5	0	1.1
	4	53	77.1	0	2.4	0	1.2	0	0.5	0	1.4	1	1.0
	5	42	116.7	0	1.1	0	0.7	0	0.5	0	1.7	0	2.0
	6	33	268.8	0	1.9	0	1.2	0	0.6	1	1.3	1	2.2
7	1	39	310.5	0	2.1	0	1.1	0	0.4	3	0.3	6	4.3
	2	13	323.7	0	1.7	0	2.3	0	0.5	5	1.1	6	3.2
	3	3	422	0	0.6	0	3	0	0.2	0	0.9	1	1.3
	4	0	490	0	1.7	0	3	0	1.4	2	1.1	0	0.5
	5	0	407	0	3.3	0	1.9	0	1.4	0	1.2	0	0.8
	6	0	440	0	5.6	0	1	0	1.5	10	0.2	1	1.5
8	1	1	329	0	3.4	0	0.7	1	1.0	8	0.9	1	3.4
	2	2	217.8	0	2.6	0	0.4	0	1.3	5	1.0	0	2.4
	3	1	242.7	0	1.9	0	0.6	0	0.9	0	0.1	0	3.6
	4	1	233.5	0	1.9	0	1	0	1.4	1	0.5	2	2.5
	5	1	108.2	0	2.7	0	0.2	1	1.1	0	0.8	1	0.8
	6	31	68.6	3	1.8	0	0.2	0	1.0	1	1.3	4	0.4
9	1	10	17	0	1.333	0	0	0	2.3	2	-	3	-
	2	24	19.2	1	3.7	0	0	0	2.8	14	-	1	-
	3	9	4.4	1	0.4	0	0	0	1.0	8	-	3	-
	4	7	5	0	1.6	0	0	0	0.9	3	-	2	-
	5	7	4.2	5	3.3	0	0.1	0	0.5	1	-	2	-
	6	55	3.3	117	1.7	0	0.2	0	0.9	0	-	2	-
10	1	3	1.8	21	0.7	0	0	-	-	-	-	-	-
	2	62	2.4	357	1.3	1	0	-	-	-	-	-	-
	3	204	1	517	0.8	3	0.1	-	-	-	-	-	-
	4	72	0.6	481	0.6	2	0.1	-	-	-	-	-	-
	5	23	0.2	314	0.7	3	0.2	-	-	-	-	-	-
	6	13	0	82	0.2	1	0	-	-	-	-	-	-

※ナシヒメシンクイの調査期間は4月～9月。チャハマキおよびチャノコカクモンハマキの調査期間は4月～8月であるが、本年は8月下旬も発生が確認されたため、9月まで継続して調査

(ウ) 現地ほ場における発生調査

a ナシ

月	黒星病 (発病果率%)				赤星病 (発病葉率%)				アブラムシ類 (寄生新梢率%)				ハダニ類 (寄生葉率%)			
	東近江市 下中野町		彦根市 石寺町		東近江市 下中野町		彦根市 石寺町		東近江市 下中野町		彦根市 石寺町		東近江市 下中野町		彦根市 石寺町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.4	0.0	6.0	15.5	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0
6	0.5	1.0	0.0	0.0	4.5	0.1	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	6.2	2.0	2.8	0.0	0.2
7	3.3	0.6	0.0	0.0	-	-	-	-	0.0	1.0	0.0	1.3	2.0	3.6	0.3	1.5
8	2.2	0.5	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	0.6	2.0	0.5

※平年値：H21～H30の10年間の値。

※「-」は調査期間外または未調査。

b ブドウ

月	べと病 (葉の発病度)				灰色かび病 (発病葉率%)				晩腐病 (発病葉率%)				チャノキイロアザミウマ (果房の被害度)			
	東近江市 鯉江町		長浜市 今荘町		東近江市 鯉江町		長浜市 今荘町		東近江市 鯉江町		長浜市 今荘町		東近江市 鯉江町		長浜市 今荘町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5	0.0	0.0	-	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	0.0	0.1	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	0.2	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0
7	0.0	3.2	0.0	5.1	0.0	1.1	0.0	0.0	-	-	-	-	0.8	0.1	1.7	0.0
8	0.2	9.2	0.0	9.2	-	-	-	-	0.0	-	0.4	-	-	-	-	-
9	1.0	-	14.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※平年値：H21～H30の10年間の値。ただし東近江市についてはH26年に曾根町から鯉江町に調査地点を変更。

※本年の「-」は調査期間外または未調査。平年の「-」はデータ数が少ないため未記入とした。

c カキ

月	炭そ病 (発病果率%)				カキクダアザミウマ (被害度)				カキノヘタムシガ (100葉あたり成虫数)				フジコナカイガラムシ (寄生新梢率%)				マイマイガ (寄生葉率%)			
	米原市 弥高		栗東市 荒張		米原市 杉沢		栗東市 荒張		米原市 弥高		栗東市 荒張		米原市 弥高		栗東市 荒張		米原市 弥高		栗東市 荒張	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5	-	-	-	-	0.4	0.1	0.0	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	0.0	0.6	0.0	0.2
6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.1	0.0	0.4	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
7	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8	0.0	0.5	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.7	0.0	0.0	-	-	-	-
9	0.0	1.8	0.0	1.3	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	2.2	0.0	0.4	-	-	-	-

※平年値：米原市はH21～H30の10年間、栗東市はH23～H30の8年間の値。

※「-」は調査期間外または未調査。

エ 発生および被害面積

作物名	栽培面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					発生面積 率 (%)	被害面積 率 (%)	防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	計			実防除	延防除
ナシ	49	黒星病			3	12	15	30.6	6.1	* 40	* 360
		赤星病			1	8	9	17.7	1.3	* 40	* 80
		うどんこ病				1	1	2.0	0.0	* 40	* 80
		ナシヒメシンクイ			3	4	7	13.3	6.1	* 40	* 240
		モモシンクイガ				1	1	2.0	0.0	* 40	* 80
		チャノコカクモンハマキ			1	6	7	14.7	2.4	* 40	* 80
		チャハマキ			1	6	7	15.1	2.9	* 40	* 80
		ナミハダニ		1	5	9	14	28.6	11.2	* 40	* 120
		カンザワハダニ		1	4	9	13	27.1	8.8	* 40	* 120
		クサギカメムシ			1	4	5	10.2	2.0	* 40	* 60
		チャバネアオカメムシ			2	5	7	14.3	4.1	* 40	* 60
		ツヤアオカメムシ			3	8	11	22.4	6.1	* 40	* 60
		アブラムシ類			3	14	17	33.7	5.1	* 40	* 120
ブドウ	53	晩腐病				8	8	15.1	0.0	* 46	* 92
		うどんこ病				2	2	2.8	0.0	* 46	* 92
		べと病			2	8	1	1.9	3.8	* 46	* 138
		灰色かび病				8	8	15.1	0.0	* 46	* 92
		チャバネアオカメムシ			1	5	6	11.3	1.9	* 46	* 46
		ツヤアオカメムシ			3	8	11	20.8	5.7	* 46	* 46
		クサギカメムシ				4	4	7.5	0.0	* 46	* 46
		コガネムシ類				3	3	5.3	0.0	* 23	* 23
		フタテンヒメヨコバイ				2	2	3.8	0.0	* 15	* 15
		チャノキイロアザミウマ			3	8	11	20.8	5.7	* 46	* 92
クワコナカイガラムシ			1	3	4	6.6	1.6	* 23	* 35		
カキ	153	炭そ病			3	18	21	13.7	2.0	* 34	* 68
		うどんこ病			1	8	9	5.9	0.7	* 34	* 68
		落葉病類				22	22	14.5	0.0	* 34	* 102
		カキノヘタムシガ			2	19	21	13.7	1.3	* 34	* 136
		フジコナカイガラムシ			1	3	4	2.3	0.3	* 34	* 68
		クサギカメムシ		1	7	2	28	18.3	5.2	* 34	* 51
		チャバネアオカメムシ		3	7	25	35	22.9	6.5	* 34	* 51
		ツヤアオカメムシ	1	5	15	25	46	30.1	13.7	* 34	* 51
		チャハマキ				3	3	2.0	0.0	* 34	* 34
		チャノコカクモンハマキ				4	4	2.5	0.0	* 34	* 34
		チャノキイロアザミウマ				4	4	2.6	0.0	* 34	* 34
マイマイガ				1	1	0.7	0.0	* 34	* 34		
カキクダアザミウマ			1	2	3	1.7	0.4	* 34	* 34		

※防除面積の「*」は同時防除含む。

※被害面積率= (程度別発生面積甚～中の和) / (栽培面積)

(2) チャ

ア 生育状況

茶業指導所内の作況園での一番茶萌芽期は、萌芽期直前の4月上旬の平均気温が平年に比べ1.7℃低かったことから、前年より13日遅く、前5か年平均より8日遅い4月13日となった。その後は平年並の気温が続いたものの、萌芽期の遅れの影響によって摘採日は前年より11日遅く、前5か年平均より5日遅い5月12日となった。収量は、頂芽と側芽の生育差が大きく百芽重が小さい傾向となったため減少した。

二番茶摘採日は、一番茶摘採日が遅れた影響により、前年より10日遅く、前5か年平均より6日遅い7月1日となった。収量は芽数が多く百芽重が多かったことから、前5か年平均より4割程度多かった。

三番茶は、9月に少雨の影響で生育が一時緩慢となったが、10月に入ると平均気温が平年に比べ高く、台風や秋雨の影響で降水量が多くなったため、生育停止が遅く旺盛に生育した。

イ 発生状況

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
炭疽病	平年並	平年並	7月中旬以降に平年並の発生がみられ、9月に入ると発生量はやや多くなった。	8月中・下旬にかけて、降水量が多かったことから、発生量はやや多くなった。	薬剤による防除が適宜行われたほか、二番茶摘採後の浅刈り等による耕種的防除が実施された。
もち病	平年並	平年並	期間を通じて発生量は平年並であった。	感染源となる前年の発生量が平年並で、7月まで降水量が平年並～少なかったことから、発生はほとんど認められず、発生量は平年並となった。	常発地では薬剤による防除が適宜行われた。また、二番茶摘採後の浅刈り等による耕種的防除が実施された。
輪斑病	平年並	平年並	発生量は8月まではやや少なく、9月以降は平年並となった。	感染源となる前年の新梢枯死症の発生量が平年並で、7月まで降水量が平年並～少なかったことから、発生量はやや少なくなった。9月に入ると8月中・下旬の降雨の影響で発生が認められ、発生量は平年並となった。	発生園では、治療剤散布による防除が実施された。
新梢枯死症	平年並	平年並	9月に平年並の発生がみられた。	感染源となる輪斑病の発生量がやや少なかったことから、新梢枯死症の発生量もやや少なくなった。9月に入ると8月中・下旬の降雨の影響で発生が認められ、発生量は平年並となった。	発生園では、治療剤散布による防除が実施された。
チャノコカクモンハマキ	平年並	やや多	発生量は第1世代まで平年並であったが、第2世代以降は多かった。	第1・2世代幼虫のふ化最盛期が摘採期と重なり、適期防除が困難であったことから、徐々に発生量が増加した。	薬剤による防除が適宜行われたほか、二番茶摘採後の浅刈りによる耕種的防除が実施された。

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
チャハマキ	平年並	やや多	期間を通じて発生量はやや多かった。	前年最終世代の発生量が増加傾向にあったことから、越冬世代から発生量がやや多くなり、その後の発生量も、やや多く推移した。	チャノココクモンハマキとの同時防除が実施された。
チャノホソガ	平年並	やや多	発生量は越冬世代で、やや少なかったが、第1世代以降はやや多かった。	一番茶の摘採期が遅く第1世代成虫の羽化が進んだことから、発生量がやや多くなり、その後も、やや多く推移した。	二番茶、秋番茶の摘採前を中心に、薬剤による防除が実施された。第2世代成虫の誘殺数が多かったため、7月25日に防除情報を発表した。
チャノミドリヒメヨコバイ	平年並	やや多	発生量は7月と8月にやや多かった。	6月中旬～7月上旬と8月上旬にかけて降雨が少なかったことから、7月と8月の発生量がやや多くなった。	発生に応じて適宜防除が実施された。
カンザワハダニ	平年並	平年並	発生量は9月までやや少～平年並で、10月はやや多かった。	9月が高湿少雨の傾向にあったことから、10月の発生量はやや多くなった。	発生に応じて適宜防除が実施された。
チャノキイロアザミウマ	平年並	平年並	7月までは平年並の発生がみられたが、8月以降はやや少なかった。	8月中・下旬の降雨の影響で、8月以降の発生量はやや少なくなった。	発生に応じて適宜防除が実施された。
ツマグロアオカスミカメ	やや遅	平年並	発生時期はやや遅く、発生量は平年並であった。	一番茶の萌芽期が平年より8日遅かったことから、発生時期はやや遅くなった。	一番茶の萌芽期～開葉期に薬剤防除が実施された。
クワシロカイガラムシ	平年並	やや少	発生量は越冬世代、第1世代で、やや少なく、第2世代で平年並となった。	前年最終世代の発生量が少なかったことから、越冬世代と第1世代の発生量はやや少なくなった。このため、防除しない生産者が多く、第2世代の発生量は平年並となった。	発生園では主に第2世代幼虫ふ化期に薬剤防除が実施された。
チャトゲコナジラミ	やや遅	やや多	発生時期は第1世代でやや遅く、第2世代は遅かった。発生量は越冬世代で多く、第1世代はやや少なかったが、第2世代でやや多かった。	7月と8月後半の気温が低かったことから、第1・2世代の幼虫ふ化期が遅れた。また、前年最終世代成虫の発生量が多かったことから、越冬世代の発生量が多くなった。第2世代は9月から10月にかけて気温が高かったことから、成虫の発生が長く続き、発生量がやや多くなった。	発生園では防除適期である若齢幼虫期に薬剤防除が実施された。また、二番茶摘採後の浅刈りによる耕種的防除が実施された。

ウ 予察灯・フェロモントラップ・ほ場における調査

(ア) 予察灯（水盤）・フェロモントラップにおける調査

チャノコカクモンハマキ・チャハマキ・チャノホソガ 半旬別誘殺状況（甲賀市水口町）

(頭)

月 半旬	チャノコカクモンハマキ						チャハマキ						チャノホソガ				
	予察灯			フェロモン トラップ			予察灯			フェロモン トラップ			予察灯		フェロモン トラップ		
	本年			平年	本年		平年	本年			平年	本年	平年	本年	平年		
	♀	♂	計		♀	♂		計	♀	♂						計	
4	1	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	1	7	176	
	2	0	0	0	2	35	0	0	0	0	0	0	0	2	15	137	
	3	0	0	0	2	40	0	0	0	0	2	5	0	7	58	118	
	4	0	0	0	2	72	141	0	0	0	0	18	6	1	16	174	202
	5	0	1	1	7	101	167	0	1	1	1	21	9	1	5	135	85
	6	0	2	2	39	70	250	0	0	0	1	18	11	2	4	37	28
5	1	8	25	33	49	327	308	0	3	3	2	20	10	3	4	21	14
	2	4	28	32	63	259	189	0	1	1	2	19	11	0	2	5	11
	3	3	35	38	22	186	357	0	5	5	4	21	10	3	0	20	4
	4	0	1	1	35	60	198	0	0	0	2	22	7	0	0	2	1
	5	0	5	5	13	26	61	0	2	2	1	20	11	0	0	1	40
	6	0	4	4	6	11	25	0	3	3	2	11	13	2	16	47	563
6	1	0	0	0	1	7	0	2	2	1	10	9	153	19	1573	888	
	2	0	2	2	1	16	0	0	0	1	3	6	157	47	2661	1915	
	3	0	0	0	56	5	105	0	0	0	0	2	5	6	33	2040	1402
	4	0	3	3	19	92	115	0	0	0	0	8	4	0	7	1099	599
	5	4	27	31	25	145	197	0	0	0	1	18	4	1	4	573	236
	6	5	56	61	26	144	241	0	4	4	1	7	7	0	5	313	128
7	1	3	30	33	21	75	175	0	4	4	1	12	5	2	3	126	248
	2	0	5	5	25	83	78	0	2	2	2	13	8	5	22	2124	556
	3	0	5	5	12	17	25	0	2	2	4	10	9	7	24	2274	676
	4	0	0	0	4	6	16	0	1	1	1	22	10	44	23	3346	597
	5	1	6	7	4	3	29	0	4	4	2	8	5	25	3	1695	326
	6	14	28	42	16	61	28	0	4	4	1	17	5	11	3	1254	213
8	1	0	19	19	31	153	45	0	0	0	0	6	4	3	2	348	225
	2	1	24	25	37	95	27	0	0	0	1	5	3	10	9	2093	355
	3	0	4	4	22	135	14	0	0	0	1	0	3	4	14	613	586
	4	27	102	129	21	72	15	0	0	0	1	10	2	21	8	1470	464
	5	4	43	47	11	27	8	0	2	2	0	4	3	3	4	239	351
	6	3	5	8	2	24	16	0	1	1	0	5	1	1	2	224	304
9	1	0	3	3	3	90	24	0	0	0	0	6	1	0	2	361	234
	2	3	27	30	9	146	32	0	0	0	0	9	3	6	3	2397	317
	3	3	67	70	25	137	48	0	0	0	1	1	6	2	3	1650	513
	4	10	80	90	36	301	52	0	0	0	1	4	6	5	11	1428	825
	5	14	70	84	32	333	70	0	0	0	1	6	5	1	8	1046	574
	6	386	152	538	49	299	54	0	1	1	1	1	6	5	5	434	443
10	1	12	14	26	19	130	89	0	2	2	2	13	4	0	3	186	383
	2	1	7	8	15	42	71	0	0	0	2	7	7	4	2	234	258
	3	0	1	1	12	11	29	0	0	0	3	9	9	0	1	281	129
	4	0	3	3	6	27	33	0	1	1	1	22	10	1	1	337	104
	5	0	0	0	2	14	23	0	1	1	1	17	16	0	1	398	63
	6	0	0	0	0	3	5	0	0	0	1	16	11	0	1	192	47
11	1	0	0	0	8	3	0	0	0	1	8	4	0	0	87	30	
	2	0	1	1	13	2	0	0	0	1	3	3	0	1	59	34	
	3	0	0	0	34	3	0	0	0	0	2	4	0	1	82	23	
	4	0	0	0	27	2	0	0	0	0	1	1	0	0	95	18	
	5	0	1	1	0	64	1	0	0	0	0	0	1	0	60	14	
	6	0	0	3	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	5	19	

※ 平年値はH21～H30の10年間の平均値。

チャノコカクモンハマキ発生型一覧表（甲賀市水口町）

	越冬世代成虫		第1世代成虫		第2世代成虫		第3世代成虫	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日（月日）	4月24日	4月19日	6月20日	6月14日	7月21日	7月26日	9月3日	9月10日
最盛日（月日）	5月8日	5月9日	7月2日	6月26日	8月19日	8月7日	9月26日	9月29日
最盛半旬（月-半旬）	5-3	5-2	6-6	6-5	8-4	8-2	9-6	9-6
50%誘殺日（月日）	5月10日	5月9日	6月29日	6月27日	8月18日	8月7日	9月26日	9月28日
終息日（月日）	6月6日	5月30日	7月15日	7月15日	8月28日	8月26日	11月27日	10月26日
誘殺日数（日）	23	25	23	22	31	22	41	22
誘殺数（頭）	118	239	138	186	281	145	858	209
性比（♂ / ♀）	6.87	12.46	10.50	8.91	4.62	8.70	1.00	7.75

※ 平年値はH21～H30の10年間の平均値。

チャハマキ発生型一覧表（甲賀市水口町）

	越冬世代成虫		第1世代成虫		第2世代成虫		第3世代成虫	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日（月日）	4月23日	4月27日	6月28日	6月27日	8月21日	8月8日	9月28日	9月24日
最盛日（月日）	5月13日	5月11日	7月25日	7月9日	8月22日	8月19日	10月1日	10月12日
最盛半旬（月-半旬）	5-3	5-2	7-4	7-2	8-4	8-3	10-1	10-2
50%誘殺日（月日）	5月13日	5月11日	7月13日	7月13日	8月22日	8月17日	10月1日	10月12日
終息日（月日）	6月5日	5月31日	7月30日	7月18日	8月26日	8月22日	10月25日	10月30日
誘殺日数（日）	14	12	16	8	3	6	4	12
誘殺数（頭）	17	21	21	14	3	10	5	17
性比（♂ / ♀）	—	5.12	—	7.17	—	3.92	—	5.31

※ 平年値はH21～H30の10年間の平均値。

※ 「—」は誘殺数が0であったことによる。

チャノホソガ発生型一覧表（甲賀市水口町）

	越冬世代成虫		第1世代成虫		第2世代成虫		第3世代成虫		第4世代成虫		第5世代成虫	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日（月日）	4月20日	4月11日	5月30日	5月30日	7月3日	7月2日	8月6日	8月6日	9月6日	9月7日	10月7日	10月10日
最盛日（月日）	5月3日	4月22日	6月6日	6月8日	7月18日	7月11日	8月19日	8月14日	9月17日	9月15日	10月8日	10月22日
最盛半旬（月-半旬）	5-1	4-5	6-2	6-2	7-4	7-2	8-4	8-3	9-4	9-3	10-2	10-5
50%誘殺日（月日）	5月3日	4月22日	6月6日	6月8日	7月18日	7月11日	8月17日	8月14日	9月17日	9月11日	10月8日	10月21日
終息日（月日）	5月12日	5月8日	6月21日	6月21日	8月3日	7月25日	8月26日	8月24日	9月29日	9月25日	10月16日	11月5日
誘殺日数（日）	6	12	15	15	20	15	16	11	13	11	3	7
誘殺数（頭）	10	44	319	125	97	81	39	41	19	34	5	11

※ 平年値はH21～H30の10年間の平均値。ただし、第5世代成虫は発生が認められたH21、H22、H25～H28、H30年の7年間の平均値。

(イ) ほ場における調査

a カンザワハダニ 基準ほ場における発生調査 (甲賀市水口町)

月 旬	本年					平年	
	寄生数 (頭/葉)				寄生葉率 (%)	寄生数 (頭/葉)	寄生葉率 (%)
	成虫	幼虫	卵	合計			
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.02	1.0
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.02	0.6
3	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	1.4
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	2.0
	下	0.00	0.00	0.00	0.00	0.44	3.0
4	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.16	1.6
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.18	1.6
	下	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	1.2
5	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.37	1.4
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.49	1.4
	下	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	1.2
6	上	0.00	0.02	0.00	0.02	2.0	2.8
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	1.8
	下	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.03
7	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.03
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.03
	下	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.00
8	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.04
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.75
	下	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.14
9	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.13
	中	0.02	0.14	0.00	0.16	2.0	0.03
	下	0.04	0.36	0.88	1.28	10.0	0.05
10	0.02	0.00	0.00	0.02	2.0	0.18	2.6
11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.13	2.2
12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.06	1.6

※ 平年値はH21～H30の10年間の平均値。

※ 寄生葉率は成虫、幼虫、または卵が1頭 (卵) 以上寄生している葉の割合。

b カンザワハダニ 予察ほにおける発生調査

(a) 甲賀市土山町 市場

月 旬	本年				寄生葉率 (%)	平年		
	寄生数 (頭/葉)					寄生数 (頭/葉)	寄生葉率 (%)	
	成虫	幼虫	卵	合計				
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.05	1.0	
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.00	0.4	
3	上	0.00	0.00	0.00	0.0	0.03	1.6	
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.45	1.4
4	上	0.00	0.00	0.00	0.00	1.78	5.0	
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	1.13	3.2
5	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.18	2.2
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.61	5.4
6	上	0.38	0.18	1.50	2.06	20.0	1.81	15.6
	中	1.56	5.92	8.16	15.64	52.0	0.69	8.6
7	上	0.26	0.02	0.00	0.28	16.0	0.71	9.2
	中	0.02	0.00	0.00	0.02	2.0	0.04	2.6
8	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.23	5.8
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.56	8.8
9	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	1.33	7.6
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	1.63	4.0
10		0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.08	0.8
11		0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.01	0.8
12		0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.02	0.6

※ 平年値はH21～H30の10年間の平均値。

(b) 甲賀市信楽町 奥山

月 旬	本年				寄生葉率 (%)	平年		
	寄生数 (頭/葉)					寄生数 (頭/葉)	寄生葉率 (%)	
	成虫	幼虫	卵	合計				
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.03	0.8	
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.00	0.2	
3	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.02	1.2
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.02	1.2
4	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.57	2.6
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	1.79	4.0
5	上	0.00	0.24	0.24	0.48	2.0	0.59	3.4
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.27	3.0
6	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.54	2.6
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.07	1.6
7	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.01	0.2
	中	0.02	0.00	0.00	0.02	2.0	0.02	0.4
8	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.08	1.2
	中	0.04	0.00	0.30	0.34	4.0	0.03	0.8
9	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.05	1.4
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.17	2.0
10		0.02	0.00	0.24	0.26	2.0	0.29	3.0
11		0.02	0.00	0.00	0.02	2.0	0.01	0.2
12		0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.12	0.8

※ 平年値はH21～H30の10年間の平均値。

c カンザワハダニ 現地ほ場における発生調査

(a) 甲賀市土山町 頓宮

月	本年				
	寄生数 (頭/葉)				寄生葉率 (%)
	成虫	幼虫	卵	合計	
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
4	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
7	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
8	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
10	0.08	0.10	0.00	0.18	6.0
11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0

(b) 甲賀市土山町 布引

月	本年				
	寄生数 (頭/葉)				寄生葉率 (%)
	成虫	幼虫	卵	合計	
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
4	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
7	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
8	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
10	0.16	0.46	0.54	1.16	12.0
11	0.66	0.14	0.16	0.96	10.0
12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0

(c) 甲賀市信楽町 向山

月	本年				
	寄生数 (頭/葉)				寄生葉率 (%)
	成虫	幼虫	卵	合計	
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
4	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
6	0.02	0.00	0.00	0.02	2.0
7	0.04	0.00	0.00	0.04	4.0
8	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
9	0.00	0.48	0.62	1.10	10.0
10	0.00	0.28	0.04	0.32	4.0
11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0

(d) 甲賀市信楽町 寺谷

月	本年				
	寄生数 (頭/葉)				寄生葉率 (%)
	成虫	幼虫	卵	合計	
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
4	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
6	0.04	0.10	0.46	0.60	6.0
7	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
8	0.00	0.04	0.00	0.04	2.0
9	0.20	0.34	0.86	1.40	8.0
10	0.00	0.14	0.00	0.14	6.0
11	0.02	0.00	0.26	0.28	2.0
12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0

(e) 日野町 北山

月	本年				
	寄生数 (頭/葉)				寄生葉率 (%)
	成虫	幼虫	卵	合計	
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
4	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
5	0.00	0.02	0.80	0.82	2.0
6	0.02	0.00	0.14	0.16	2.0
7	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
8	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
10	0.16	0.04	0.56	0.76	2.0
11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0

d 炭疽病 基準ほ場および予察ほにおける発生調査

月 旬	病葉数 (枚/m ²)															
	甲賀市水口町		甲賀市土山町						甲賀市信楽町						日野町	
	本年	平年	市場		頓宮		布引		奥山		向山		寺谷		北山	
1	0.0	5.9	0.0	1.2	4.8	1.8	17.6	1.4	0.0	15.9	0.0	2.4	0.0	1.0	0.0	0.0
2	0.0	2.8	0.0	1.2	0.0	0.0	17.6	0.0	0.0	0.8	0.0	0.2	0.0	1.0	0.0	0.2
上	0.0	8.2	0.0	3.0	-	-	-	-	0.0	1.8	-	-	-	-	-	-
中	0.0	5.8	0.0	0.0	0.0	0.2	9.6	0.8	0.0	1.4	0.0	0.2	0.0	5.0	0.0	0.4
下	3.2	2.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上	0.0	0.6	0.0	0.2	-	-	-	-	0.0	1.6	-	-	-	-	-	-
中	0.0	9.4	0.0	0.4	0.0	3.4	0.0	3.0	0.0	1.2	0.0	0.6	0.0	1.4	0.0	0.2
下	0.0	3.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上	0.0	1.8	0.0	0.8	-	-	-	-	0.0	0.8	-	-	-	-	-	-
中	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
下	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上	0.0	3.2	0.0	0.0	-	-	-	-	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-
中	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.2
下	0.0	2.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上	0.0	8.0	0.0	0.2	-	-	-	-	0.0	2.2	-	-	-	-	-	-
中	3.2	12.6	0.0	0.6	0.0	0.4	1.6	1.6	0.0	0.4	0.0	1.0	0.0	0.4	0.0	0.0
下	11.2	12.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上	1.6	5.4	0.0	0.8	-	-	-	-	0.0	1.4	-	-	-	-	-	-
中	1.6	13.1	0.0	0.6	0.0	0.2	0.0	5.4	0.0	1.0	0.0	1.8	0.0	1.6	0.0	0.4
下	12.8	10.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上	30.4	14.0	0.0	3.6	-	-	-	-	0.0	3.4	-	-	-	-	-	-
中	46.4	30.0	0.0	2.8	4.8	1.6	73.6	6.2	0.0	10.6	6.4	6.6	0.0	8.2	0.0	0.6
下	68.8	29.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	19.2	26.3	0.0	1.2	1.6	8.2	12.8	3.8	1.6	16.0	6.4	2.2	0.0	4.4	0.0	0.8
11	25.6	20.8	0.0	1.8	0.0	2.6	17.6	6.6	0.0	10.6	4.8	2.0	12.8	3.2	0.0	0.6
12	0.0	13.7	0.0	3.0	0.0	0.2	22.4	7.3	1.6	2.1	4.8	0.9	0.0	2.5	0.0	0.5

※ 平年値はH23～H30の8年間の平均値。
 ※ 「-」は未調査。

エ 発生および被害面積

作物名	栽培面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					発生面積率 (%)	被害面積率 (%)	防除面積 (ha)		
			甚	多	中	少	計			実防除	延防除	備考
チャ	614	炭疽病	0	25	65	260	350	57.0	14.7	350	700	*
		もち病	0	5	15	45	65	10.6	3.3	65	130	*
		輪斑病	0	5	15	70	90	14.7	3.3	90	90	*
		新梢枯死症	0	10	60	180	250	40.7	11.4	250	250	
		チャノコカクモンハマキ	20	30	180	250	480	78.2	37.5	480	960	*
		チャハマキ	5	10	50	155	220	35.8	10.6	220	440	*
		チャノホソガ	10	30	130	290	460	74.9	27.7	460	920	
		チャノミドリヒメヨコバイ	10	40	150	250	450	73.3	32.6	450	900	*
		カンザワハダニ	0	30	125	275	430	70.0	25.2	430	860	
		チャノキイロアザミウマ	5	10	160	275	450	73.3	28.5	450	900	*
		ツマグロアオカスミカメ	0	0	20	60	80	13.0	3.3	80	80	
		クワシロカイガラムシ	0	30	95	250	375	61.1	20.4	375	750	
チャトゲコナジラミ	15	60	120	300	495	80.6	31.8	495	990	*		

※防除面積の備考欄「*」は同時防除を含む
 ※被害面積率=(程度別発生面積甚～中の和)/(栽培面積)

(3) 花き (キク)

ア 発生状況

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
キク	白さび病	-	-	ほ場での初発確認は5月8日で、発生は一部に限られた。	昨年度発生が少なかったことによる菌密度の低下と、5月中旬以降の高温によって発病が抑制された。	発生初期に防除の実施。
	アブラムシ類	平年並	少	ほ場での初発確認は6月26日で、発生時期は平年並であった。発生量は少なかった。	8月の気温が高く、降水量も多かったことから、密度抑制された。	発生初期の薬剤散布。
	アザミウマ類	-	-	ほ場での初発確認は6月24日で、発生時期は平年並であった。発生量は少なかった。	発生初期に適切に防除がされるため、発生量は少ない。	発生初期の薬剤散布。

イ 発生量調査

調査地点		病害虫名	白さび病	アブラムシ類	アザミウマ類
			発病葉率 (%)	寄生葉率 (%)	被害葉率 (%)
			6/24~26	6/24~26	6/24~26
野洲市	小南	0	0	0	
湖南市	菩提寺	0	0	0	
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0	0	
彦根市	松原町	0	0	0	
甲良町	下之郷	0	0	0.04	
米原市	世継	0	0	0	
高島市今津町	深清水	0	0.4	0	

ウ 発生状況一覧表

病害虫名	初発見月日	初発見場所
白さび病	5月8日	大津市千町
アブラムシ類	6月26日	高島市今津町深清水
アザミウマ類	6月24日	甲良町下之郷

エ 発生および被害面積

対象作物名	栽培面積 (ha)	対象病害虫	程度別発生面積 (ha)					発生面積率 (%)	被害面積率 (%)	防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	計			実防除	延防除
キク	18	白さび病	0	0	0	1	1	5.6	0	1	1
		アブラムシ類	0	0	0	1	1	5.6	0	10	20
		アザミウマ類	0	0	0	1	1	5.6	0	10	10

被害面積率=(程度別発生面積甚～中の和) / (栽培面積)

7 病虫害防除推進員

県内における病虫害発生予察精度の確保を図るため、平成31年4月に「病虫害防除推進員」を新たに設置した。

平成31年度は、16の農業協同組合より60名が選出され、地域における病虫害発生状況の把握に努めるとともに、病虫害防除および農薬安全使用の指導等を行っている。

(1) 病虫害防除推進員研修会

ア 第1回

- 日 時 令和元年6月13日(木) 13時30分～16時00分
 場 所 農業技術振興センター 大会議室
 研修内容 ①病虫害防除推進員の業務と病虫害発生状況の報告について
 ②主要病虫害の生態と調査のポイント
 ・病害について
 ・虫害について
 ③農薬の適正使用について
 ④病虫害防除所ホームページ・しらがメールの活用について

イ 第2回

- 日 時 令和2年2月18日(火) 13時30分～16時30分
 場 所 農業技術振興センター 大会議室
 研修内容 ①情報提供「無人航空機による農薬散布に係る安全ガイドラインについて」
 県農業経営課 有元倫子
 ②報告「滋賀県におけるトビイロウンカおよび坪枯れ症状の発生について」
 県病虫害防除所 近藤博次
 ③情報提供「越境性害虫ツマジロクサヨトウの国内での発生について」
 県病虫害防除所 塚本敬之
 ④講演「トビイロウンカ等の海外飛来性害虫の発生状況と防除対策」
 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
 本部 企画戦略本部 研究推進部 研究推進総括課
 セグメント第4チーム長(研究管理役) 松村正哉氏

(2) 病虫害防除推進員による病虫害発生量調査結果

今年度は、イネの葉いもち、斑点米カメムシ類の定期調査に加え、トビイロウンカによる坪枯れ症状の臨時調査を実施した。

作物名	病虫害名	調査基準日	発生量(%) (注1)(注2)					
			多	やや多	平年並	やや少	少	無
イネ	葉いもち	6/25	0	0	1.6	1.6	11.0	85.8
		7/10	0	0	9.1	3.0	6.8	81.1
	斑点米カメムシ類	8/1	6.3	16.7	38.9	3.2	12.7	22.2
	トビイロウンカによる坪枯れ(臨時)	9/12	大津市の3ほ場で坪枯れの発生を確認。					

(注1) 発生量の数値は、報告数に占める発生程度の比率。

(注2) 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が100にならない場合がある。

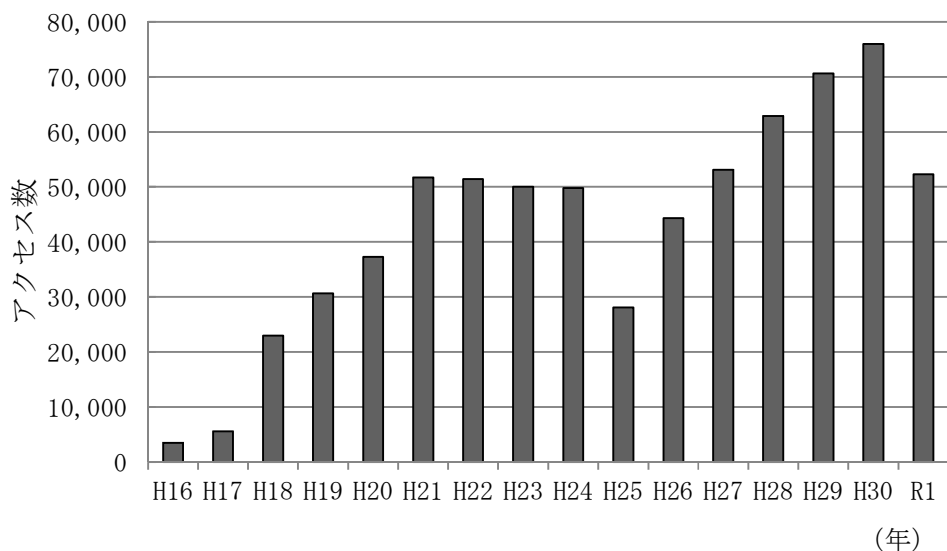
8 滋賀県病害虫防除所ホームページ

予察情報等を広く早く伝達し、画像によるわかりやすい情報を提供するため、平成15年度より開始したインターネットによる情報提供サービスである。

平成31年1月から令和元年12月の利用実績は以下のとおりであった。

提供情報別閲覧数（回）

ページ名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
防除情報	412		448	234	887	898	2,058	2,410	1,818	1,559	2,450	2,147	15,321
表紙	1,440	1,099	1,401	946	1,142	1,647	1,757	1,145	912	676	1,023	764	13,952
発生予報	148	47	238	118	1,130	1,065	767	855	586	536	704	516	6,710
病害虫判定シート	846	697	610	20	265	584	762	1,023	930	445	329	115	6,626
警報・注意報・特殊報	258	98	79	20	310	803	697	562	482	477	666	961	5,413
IPM	102	67	25		63	68	73		20	633			1,051
発生量データ		40	26			133	133	52	108	79	79	22	672
植物防疫事業年報		423	238										661
BLASTAM						30	312	80	20				442
農薬扱い	117	51	70	23	20	54	47		24				406
防除所の概要	27	26	97	83	45	23	43						344
診断結果	22	20	68	20	21	81	20		67				319
過去の警報・注意報など	20	21	70										111
田んぼの生きもの	65	22	20										107
病害虫防除推進員		21	44			27							92
PPV			91										91
総計	3,457	2,632	3,525	1,464	3,883	5,413	6,669	6,127	4,967	4,405	5,251	4,525	52,318



滋賀県病害虫防除所ホームページ 総閲覧数の年次推移

9 本年新たに発生が確認された病害虫

病害虫名および発生経過は以下のとおりである。

(1) タバコノミハムシ *Epitrix hirtipennis* (Melsheimer)

令和元年5月、県内の市民農園のナスで、ノミハムシ類の成虫による葉の食害が確認された。その虫を採集し、農林水産省神戸植物防疫所に同定を依頼したところ、本県ではこれまで未確認のタバコノミハムシと同定された。本種は、平成23年に群馬県で初めて発生が確認され、これまでに計14府県（3/31現在）で発生が報告されている。



ナスの被害葉



ナス葉上のタバコノミハムシ成虫

詳細については、令和元年度病害虫発生予察特殊報第1号（p.94）を参照。

(2) ネギハモグリバエ別系統 *Liriomyza chinensis* Kato

令和元年6月、県内の一部のネギほ場において、ハモグリバエ類による著しい食害によって、葉が白化する症状が確認された。この被害状況は従来の食害の症状と著しく異なり、他県で発生が認められているネギハモグリバエ別系統の食害と類似していたため、（国研）農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センターに遺伝子型の解析を依頼した結果、従来の遺伝子型とは異なる別系統と同定された。本系統は、平成28年頃より京都府で確認され特殊報が発表され、これまでに計17都府県（3/31現在）で発生が確認されている。



B系統による食害痕



ネギハモグリバエ成虫

詳細については、令和元年度病害虫発生予察特殊報第2号（p.95）を参照。

10 病害虫の診断および生態調査

(1) 病害虫診断業務実績

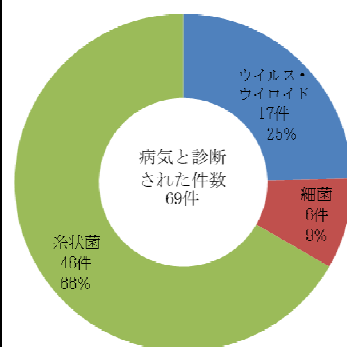
平成31年1月から令和元年12月までに実施した病害虫の診断の合計件数は135件で、その内訳は普通作物が22件、野菜が90件、果樹が11件、花き（花木）が12件であった。

作物別の診断件数および結果

作目		診断件数				
		病害	虫害	不明	その他	計
普通作物	イネ	4		3	7	14
	コムギ	1			2	3
	オオムギ				1	1
	ダイズ	2			2	4
	小計	7	0	3	12	22(16%)
野菜	イチゴ	6	1		4	11
	インゲン	1			1	2
	キャベツ		1		1	2
	キュウリ	2			1	3
	コマツナ				1	1
	シソ			1		1
	ジャガイモ	1				1
	シュンギク	1				1
	スイカ	1			2	3
	タマネギ	1			3	4
	チンゲンサイ		1			1
	トウガラシ	1				1
	トマト	20		1	9	30
	ナス	3				3
	ナバナ	1				1
	ネギ			1	1	2
	ブロッコリー	7		1		8
	ミニトマト	3				3
	ミブナ				1	1
	メロン	4		1	5	10
レタス	1				1	
小計	53	3	5	29	90(67%)	
果樹	イチジク	1			2	3
	オウトウ	1				1
	カキ			1		1
	ナシ			1		1
	ブドウ	1	1		3	5
小計	3	1	2	5	11(8%)	
花き (花木)	アジサイ	1				1
	キク	2			4	6
	トルコギキョウ	1				1
	ハボタン	1				1
	バラ		1			1
	リンドウ	1			1	2
小計	6	1	0	5	12(9%)	
合計	69 (51%)	5 (4%)	10 (7%)	51 (38%)	135 (100%)	

※ ()内は合計診断件数に対する割合を示す。

診断結果の原因は、病害69件、虫害5件、原因不明10件およびその他51件であった。



病気の原因の内訳

(2) 平成 21 年～令和元年のトマト黄化葉巻 (TYLCV) 診断状況

トマト黄化葉巻病 (TYLCV) は、平成 21 (2009) 年 10 月に守山市内の施設栽培のトマトにおいて県内で初めて確認され、特殊報を発表している (平成 21 年度病害虫発生予察特殊報第 2 号)。以降、これまでの持ち込み診断により、平成 22 年に 3 件、同 23 年に 6 件、同 24 年に 12 件、同 25 年に 8 件、同 26 年に 2 件、同 27 年に 7 件、同 28 年に 9 件、同 29 年に 1 件、同 30 年 6 件および令和元年に 12 件の計 67 件を確認している (下図)。

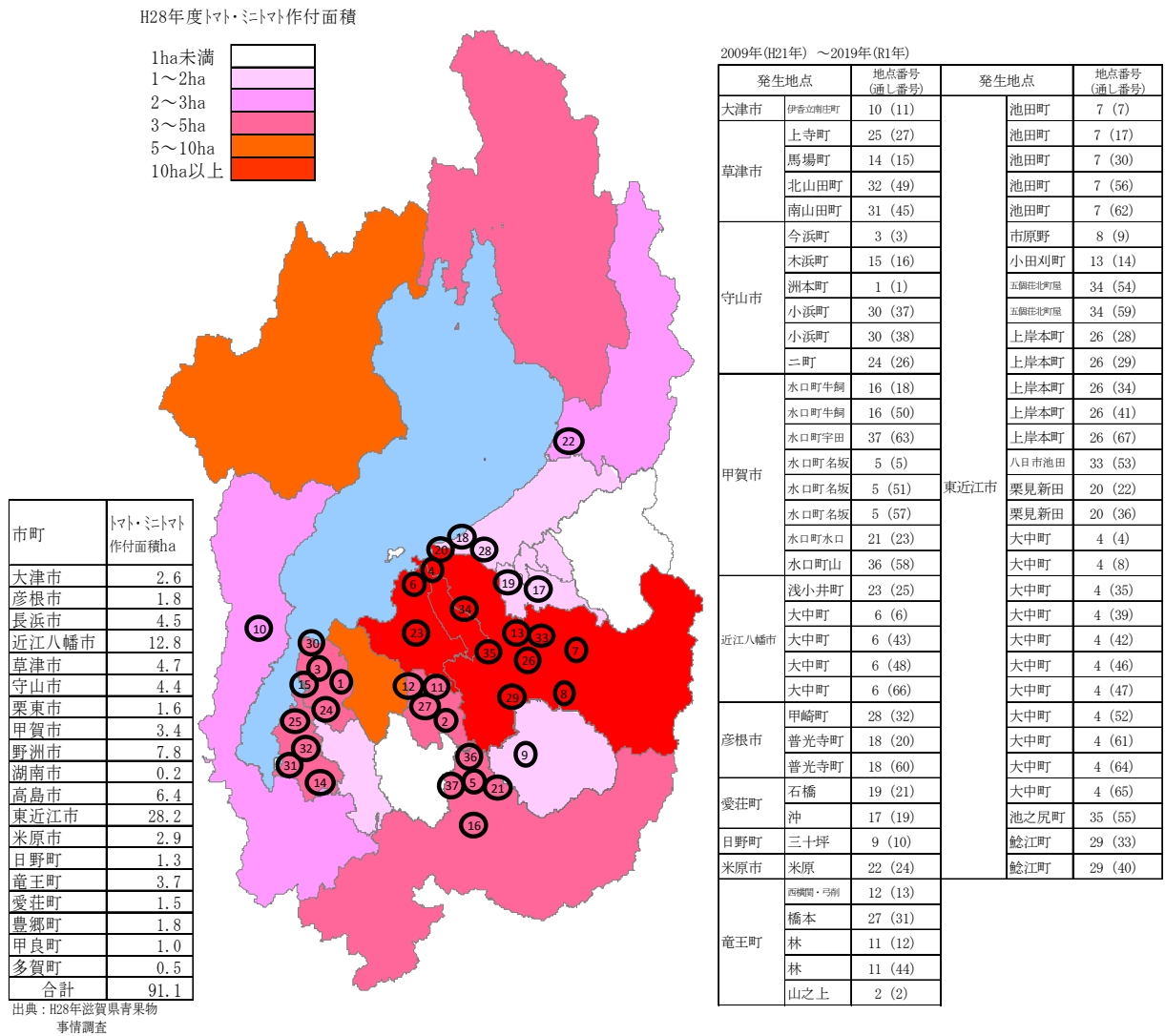


図 H21～R1 のトマト黄化葉巻 (TYLCV) 発生地点

(3) 発生の目立った病害虫について

1) トビイロウンカによる坪枯れ症状の発生について

今年、九州をはじめとする西日本において、トビイロウンカが多発し、8県から警報、20府県から注意報が発表された。本県では近年、本種の発生はほとんど確認されていなかったが、今年8月第4半旬に県内4地点（大津市、守山市、近江八幡市、高島市）の予察灯で飛来が確認された。その後、断続的に飛来が確認され、9月第2～3半旬に発生ピークが見られた。一方、坪枯れ症状の発生は、9月9日に大津市のほ場（品種「日本晴」）で確認され、平成10（1998）年以来の発生となった。その後、県南部および東部の一部ほ場（品種「日本晴」「きぬむすめ」等）でも発生が確認された。

坪枯れ症状の発生時期および近隣県での予察灯への飛来状況を参考に、JPP-Net有効積算温度計算シミュレーションに基づき本種の飛来時期と羽化日を算出したところ、6/29に本県に飛来し、第1世代成虫の羽化日7/23、第2世代成虫の羽化日8/12、第3世代成虫の羽化日9/3と推定された（表）。

表 有効積算温度に基づくトビイロウンカの世代別羽化予測日

	飛来世代	第1世代	第2世代	第3世代
	飛来日	羽化日	羽化日	羽化日
予測日	6/29	7/23	8/12	9/3

トビイロウンカの育成パラメーターには野田(1989)を引用し、気温には大津アメダスを利用した。

2) 黒点米の発生について

平成31年産の主に「秋の詩」において、玄米の胴の部分がかさび状に黒く変色する黒点米が、大津南部および東近江管内から持ち込まれた。被害の特徴は、中央部にくさび状の黒い被害があり、多くが胚側であった（図1～3）。

くさび状の黒変からイネシンガレセンチュウによる被害が疑われたが、持ち込まれたサンプルをベルマン法で検定した結果、イネシンガレセンチュウは確認されなかった。また、斑点米カメムシ類による被害粒の特徴とも異なっており、害虫による被害ではないと判断された。

過去、平成17年産の「レーク65」においても同様の症状が確認されており（図4）、高温や水分ストレスといった生理障害が原因と考えられる。



図1～3 病害虫防除所に持ち込まれた黒点米の主な症状（品種「秋の詩」）



図4 「レーク65」で発生した黒点米（平成17年産）

第3 重要病害虫の特別防除等推進事業

1 チチュウカイミバエの侵入警戒調査

昭和56～57年は輸入果実を取り扱う地方卸売市場で実施し、昭和58年～平成13年は農業試験場本・分場および果菜類主産地で、平成14年以降は農業試験場本場（平成17年からは農業技術振興センター本場）において、スタイナー型誘殺トラップを設置し調査を行っている。誘引剤はトリメドルア剤を用い、毎月1回交換している。

本年は4月1日～11月30日まで毎月6回程度調査を行ったが、チチュウカイミバエの誘殺は認めなかった（日最高気温の月別平年値が14℃以上の月に調査）。

参考

表 彦根地方気象台における日最高気温（℃）の平年値

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均値
6.8	7.3	11.0	17.3	22.1	25.7	29.7	31.6	27.3	21.3	15.3	9.8	18.8

・平年値は昭和56年～平成22年の30年間の観測値の平均をもとに算出。

2 ウメ輪紋ウイルスの発生状況調査

我が国では2009年4月に東京都青梅市で最初に確認され、滋賀県では2010年6月に長浜市内で栽培される青梅市由来の観賞用ウメ育成木で初めて確認された（2010年度病害虫発生予察特殊報第1号、2010年6月16日発表）が、2018年度に根絶が確認された。

本年度は、県内の主要なウメ、モモ、オウトウの生産園（10ほ場）において調査を実施し、その結果、感染は認められなかった。

3 キウイフルーツかいよう病（Psa3系統）の発生状況調査

我が国でPsa3系統は平成26年4月に愛媛県で最初に確認された。これまで、近県では静岡県や和歌山県において確認されているが、本県では発生は認められていない。

県内のキウイフルーツ生産園（3ほ場）において調査を実施し、その結果、感染は認められなかった。

4 その他病害虫の侵入警戒調査

平成31年度の侵入警戒調査対象病害虫の追加の伴い、下記病害虫について調査を行った。調査方法は、「ミバエ類等侵入警戒調査実務参考資料」に基づき実施した。なお、対象病害虫の発生は認められなかった。

表 その他病害虫の侵入警戒調査

対象病害虫	対象品目	調査圃場数	調査日	調査方法	発生
チチュウカイミバエ	カキ、ナシ、ブドウ	6地点	5/15, 6/26, 7/16, 8/21, 9/18	目視	-
ミカンコミバエ種群	カキ、ナシ、ブドウ	6地点	5/15, 6/26, 7/16, 8/21, 9/18	目視	-
コドリンガ	ナシ	2地点	5/15, 6/26, 7/16, 8/21, 9/18	目視	-
火傷病	ナシ	2地点	4/10, 5/15, 6/26, 7/16	目視	-
スイカ果実汚斑細菌病	スイカ	2地点	7/1, 8/1	目視	-

「-」は未確認を示す。

5 ツマジロクサヨトウの発生状況調査

北米・南米原産のツマジロクサヨトウが平成28（2016）年にアフリカに侵入し、その後、アジア各国にも急速に分布を拡大し、中国では平成31（2019）年1月に本種の侵入が確認された。我が国では、同年7月に鹿児島県南九州市の飼料用とうもろこし生産ほ場において、本種の幼虫が初確認され、その後、フェロモントラップへの捕殺も含め21府県で確認された。

本虫の早期発見のため、県内の飼料用とうもろこし、飼料用ソルガム、スイートコーン等生産ほ場（計241ほ場）での侵入警戒調査を実施し、その結果、発生は認められなかった。

第4 農薬安全使用等総合推進事業

農薬取締法に基づく農薬販売者の届出受理事務を行った。また、農薬取扱者（農薬販売者および農薬使用者）への巡回点検・指導を実施した。さらに、農薬取扱者、農業者および農業団体等に対し、研修会等をとおして農薬の安全使用について周知徹底を行った。これらのことで農薬の販売および使用の適正化と農薬による危被害防止の啓発に努めた。

1 農薬安全使用対策

農薬の安全使用については、農薬取扱者が農薬の特性を十分理解し、適正に使用することが重要である。

このため、病虫害防除推進員、県、市町、農業協同組合などの関係職員や農薬取扱者を対象とした植物防疫研修会および農薬アドバイザー講習会等において、農薬の適正使用等について指導した。また、発生予察情報発信時にも啓発資料を添付した。

2 農薬販売者の届出状況

(1) 平成31年度の届出件数は下表のとおりであった。

表 届出件数（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

区分	新規届出数	変更届出数	廃止届出数	計
農薬販売者（営業所）	31	141	59	231

(2) 届出者(営業所)数

令和2年3月31日現在の届出者数は693件で、前年度より31件減であった。

3 農薬取扱者への巡回点検・指導の結果

農薬取扱者への巡回点検・指導を実施した。結果は下表のとおりであった。農薬販売者では、届出や帳簿に関する違反が認められた。

ゴルフ場では、自主基準の策定、指針掲載成分の農薬の選定、農薬受払使用簿の作成と保管、農薬散布時の飛散防止対策について違反が認められたので指導と支持を行った。

農薬使用基準違反の可能性のある情報に基づく点検では、農薬登録の使用回数の違反が認められた。違反者からは改善を誓約する書面の提出を受けた。

巡回点検・指導の結果（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

対象 農薬 取扱者数	違反の内容								
	農薬販売者					農薬使用者			
	届出の 不備	無登録農薬の 販売	虚偽の 宣伝	帳簿の 不備	点検拒否	無登録農薬の 使用	農薬使用基準 違反	点検拒否	ゴルフ場変更届の 不備
100	0	0	0	3	0	0	1	0	0

第5 病害虫発生予察情報発表内容

1 予報

作物名	病害虫名	発表月日	予報内容		予報の根拠
			発生時期	発生量	
イネ	いもち病	5月21日 (葉いもち)	平年並	平年並	(1) 余剰苗での発生を認めていない。 (2) 育苗箱施薬による防除が普及している。 (3) 気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多く、日照時間は平年並の見込み。
		6月4日 (葉いもち)	平年並	平年並	(1) 余剰苗での発生を認めていない。 (2) 本田での発生を認めていない。 (3) 育苗箱施薬による防除が普及している。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並、日照時間は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
		6月18日 (葉いもち)	やや遅	平年並	(1) 余剰苗での発病を認めた。 (2) 本田での発病を認めていない。 (3) 育苗箱施薬による防除が普及している。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並、日照時間は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
		7月2日 (葉いもち)	やや遅	平年並	(1) ほ場での発生時期は、やや遅い。 (2) ほ場での発生量は少ない。 (3) 育苗箱施薬による防除が普及している。 (4) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い、日照時間は県北部では少なく、県南部では平年並または少ない見込み。
		7月2日 (穂いもち、 極早生・早 生品種)	平年並	平年並	(1) 葉いもちの発生時期は、やや遅い。 (2) 現在の葉いもちの発生量は少ない。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い、日照時間は県北部では少なく、県南部では平年並または少ない見込み。
		7月23日 (穂いもち)	平年並	平年並	(1) 葉いもちの発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い、日照時間は平年並または少ない見込み。
		8月6日 (穂いもち、 中生・晩生 品種)	平年並	やや少	(1) 出穂期は平年並の見込み。 (2) 穂いもちの発生を認めていない。 (3) 葉いもちの発生量は、やや少ない。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並、日照時間は平年並または多い見込み。
紋枯病		6月18日	平年並	やや少	(1) ほ場での発生を認めた。 (2) 前年の発生量は少ない。 (3) 水稻の茎数は平年並。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。
		7月2日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生時期は平年並。 (2) 前年の発生量は少ない。 (3) 水稻の茎数は平年並。 (4) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い、日照時間は県北部では少なく、県南部では平年並または少ない見込み。
		7月23日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生時期は平年並。 (2) 水稻の茎数は平年並。 (3) ほ場での発生量は平年並。 (4) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
		8月6日 (中生・晩生 品種)	平年並	平年並	(1) 中生品種の茎数は平年並。 (2) ほ場での発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
白葉枯病		7月2日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 前年の発生量は少ない。 (3) 育苗箱施薬による防除が普及している。 (4) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い、日照時間は県北部では少なく、県南部では平年並または少ない見込み。
		7月23日	平年並	やや少	(1) 前年の発生量は少なかった。 (2) ほ場での発生を認めていない。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
		8月6日	—	やや少	(1) 前年の発生量は少なかった。 (2) ほ場での発生は認めていない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
黄萎病(ツマ グロヨコバ イ)		4月16日	—	やや少	(1) 前年の刈株再生芽の発病は少なかった。 (2) ツマグロヨコバの越冬量は、やや少ない。 (3) 育苗箱施薬による防除が普及している。

作物名	病害虫名	発表月日	予報内容		予報の根拠
			発生時期	発生量	
イネ	イネドロオウムシ(イネクビソハマシ)	4月16日	平年並	平年並	(1) 前年の発生量は平年並であった。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並、日照時間は平年並の見込み。
		5月21日	平年並	やや多	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) 育苗箱施薬による防除が普及している。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
		6月4日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生時期は平年並。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) 育苗箱施薬による防除が普及している。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並、日照時間は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
	イネミズゾウムシ	4月16日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 前年の発生量は、やや少なかった。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		5月21日	平年並	平年並	(1) 本田への飛び込み時期は平年並。 (2) 前年の発生量は、やや少ない。 (3) 育苗箱施薬による防除が普及している。
	ニコメイガ	5月21日 (第1世代)	平年並	平年並	(1) フェロモントラップでの誘殺時期は、やや遅い。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (3) 育苗箱施薬による防除が普及している。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
6月4日			平年並	平年並	(1) フェロモントラップでの誘殺時期は平年並。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (3) 育苗箱施薬による防除が普及している。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。
7月2日 (第2世代)		平年並	やや多	(1) 第1世代幼虫による被害の発生時期は平年並。 (2) 第1世代成虫発ガ最盛期は平年並と推定される。 (3) ほ場での発生量は、やや多い。 (4) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い見込み。	
7月23日 (第2世代)		平年並	平年並	(1) 第1世代幼虫による被害の発生時期は平年並。 (2) ほ場での発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。	
トビイロウンカ	7月2日	—	—	(1) 本県では、予察灯への飛来およびほ場での発生は認めていない。 (2) 佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県の予察灯またはネットトラップで飛来が認められている(7月2日現在)。	
	7月23日	—	—	(1) 本県では7月10日頃までに飛来が認められた場合は多発する危険性が高いが、7月10日現在、各予察灯への飛来および本田での発生を認めていない。 (2) 九州、中国地方および東海地方の一部で予察灯への飛来、または、本田での発生が確認されている。	
	8月6日	—	やや多	(1) 本田でのすくい取り調査では、7月下旬に近江八幡市で成虫が採集された。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。	
	8月27日	—	やや多	(1) 予察灯への飛来および本田での発生を認めた。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。	
セジロウンカ	7月2日	遅	平年並	(1) 予察灯への飛来時期は遅い。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い見込み。	
	7月23日	遅	平年並	(1) 予察灯への飛来時期は遅い。 (2) ほ場での発生量は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。	
ヒメトビウンカ	7月2日	やや遅	平年並	(1) 予察灯への飛来時期は、やや遅い。 (2) 前年の発生量は少なく、越冬量は、やや多い。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い見込み。	
	7月23日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。	

作物名	病害虫名	発表月日	予報内容		予報の根拠	
			発生時期	発生量		
イネ	ツマグロヨコバイ	7月2日	やや早	平年並	(1) 予察灯への飛来時期は、やや早い。 (2) 前年の発生量と越冬量は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い見込み。	
		7月23日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。	
		8月6日	—	平年並	(1) 予察灯への飛来量は平年並。 (2) ほ場での発生量は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。	
	斑点米カメムシ類	7月2日	やや早	やや多	(1) 畦畔での発生時期は早い。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) 畦畔での発生量は多い。 (4) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い見込み。	
		7月23日	やや早	やや多	(1) 畦畔での発生時期は早い。 (2) 畦畔での発生量は、カスミカメムシ類で平年並、一部地域においてホソハリカメムシでやや多く、クモヘリカメムシで多い。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。	
		8月6日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。	
	コブノメイガ	7月23日	早	やや多	(1) ほ場での発生時期は早い。 (2) ほ場での発生量は、やや多い。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。	
		8月6日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。	
		8月27日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。	
	イチモンジセセリ(イネツトムシ)	7月2日	平年並	少	(1) 第1世代幼虫の発生時期は平年並。 (2) ほ場での発生量は少ない。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い見込み。	
	コバネイナゴ	6月4日	やや早	平年並	(1) 幼虫の発生時期は、やや早い。 (2) 前年の発生量は少ない。	
		6月18日	早	やや少	(1) 幼虫の発生時期は早い。 (2) 前年の発生量は少ない。 (3) ほ場での発生量は、やや少ない。	
	フタオビコヤガ(イネアオムシ)	7月3日	遅	平年並	(1) 予察灯への飛来時期は遅い。 (2) ほ場での発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い見込み。	
	ムギ	赤かび病	3月19日	早	平年並	(1) ムギの出穂時期は早いと予想される。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では少なく、県南部では(3) 3か月予報(2月25日発表)では、3月～5月の気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。
			4月16日	やや早	平年並	(1) オオムギ、コムギの出穂期は早い。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並、日照時間は平年並の見込み。
ダイズ	べと病	8月6日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めた。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。	
		8月27日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。	
	葉焼病	8月27日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。	
	アブラムシ類	7月23日	—	少	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) 黄色水盤での誘殺数は、やや多い。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。	
		8月6日	—	やや少	(1) 黄色水盤での誘殺数は、やや多い。 (2) ほ場での発生を認めていない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。	
		8月27日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) 黄色水盤での誘殺数は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。	

作物名	病害虫名	発表月日	予報内容		予報の根拠
			発生時期	発生量	
ダイズ	吸実性カメムシ類	8月6日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		8月27日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
	ハスモンヨトウ	8月6日	やや遅	やや多	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は、やや多い。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		8月27日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
	フタスジヒメハムシ	8月6日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		8月27日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
野菜全般	うどんこ病	5月21日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
		6月4日	やや遅	やや少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並、日照時間は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
		6月18日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は低く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並、日照時間は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
		7月2日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い、日照時間は県北部では少なく、県南部では平年並または少ない見込み。
アブラムシ類	灰色かび病	6月4日	平年並	やや少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並、日照時間は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
		6月18日	—	やや少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は低く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並、日照時間は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
野菜全般	アブラムシ類	4月16日	—	やや多	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 黄色水盤での誘殺数は、やや多い。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		5月21日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 黄色水盤での誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
		6月4日	—	やや多	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 黄色水盤での誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。
		6月18日	—	やや多	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 黄色水盤での誘殺数は、やや多い。 (3) 気象予報では気温は低く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。
		7月2日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 黄色水盤での誘殺数は、やや多い。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い見込み。
		8月6日	—	やや少	(1) 黄色水盤での誘殺数は、やや多い。 (2) ほ場での発生量は少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		8月27日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) 黄色水盤での誘殺数は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
		9月25日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 黄色水盤での誘殺数は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。

作物名	病害虫名	発表月日	予報内容		予報の根拠
			発生時期	発生量	
野菜全般	ハダニ類	5月21日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
		6月4日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。
		6月18日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は低く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。
		7月2日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い見込み。
		8月6日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
	ヨトウガ(ヨトウムシ)	5月22日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生時期は平年並。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
	ハスモンヨトウ	8月6日	やや遅	やや多	(1) フェロモントラップでの誘殺数は、やや多い。 (2) ほ場での発生を認めていない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		8月27日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
		9月25日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
	タバコガ類	7月2日	—	やや多	(1) フェロモントラップでの誘殺数は、タバコガで平年並、オオタバコガで、やや多い。 (2) ほ場での発生を認めていない。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い見込み。
		8月6日	—	やや多	(1) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (2) ほ場での発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		8月27日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は、オオタバコガでは、やや少なく、タバコガでは平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
		9月25日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は、オオタバコガでは、やや少なく、タバコガでは平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
	ネキリムシ類(カブラヤガ)	8月27日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
キュウリ	べと病	5月21日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
		6月4日	やや遅	やや少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並、日照時間は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
		6月18日	—	やや少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は低く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並、日照時間は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
		7月2日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い、日照時間は県北部では少なく、県南部では平年並または少ない見込み。
タマネギ	べと病	3月19日	—	やや多	(1) ほ場での発生を認めた。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では少なく、県南部では平年並の見込み。

作物名	病害虫名	発表月日	予報内容		予報の根拠
			発生時期	発生量	
ナス科野菜	疫病	5月21日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
		6月4日	やや遅	やや少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並、日照時間は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
		6月18日	—	やや少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は低く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並、日照時間は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
		7月2日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い、日照時間は県北部では少なく、県南部では平年並または少ない見込み。
	ニジュウヤホシテントウ類	5月21日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生時期は平年並。 (2) ほ場での発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
		6月4日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生時期は平年並。 (2) ほ場での発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。
アブラナ科野菜	軟腐病	9月25日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
	黒腐病	9月25日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
	菌核病	9月25日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
アブラナ科野菜	モンシロチョウ(アオムシ)	5月21日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生時期は、やや遅い。 (2) ほ場での発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
		8月27日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
		9月25日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
	コナガ	5月21日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
		8月6日	—	平年並	(1) 予察灯への誘殺数は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		8月27日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) 予察灯への飛来量は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
		9月25日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 予察灯での誘殺数は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
	ヨトウガ(ヨトウムシ)	8月6日	—	平年並	(1) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		8月27日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
		9月25日	—	やや少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
	ハイマダラノメイガ	8月6日	やや遅	平年並	(1) 指標植物であるクレオメでの発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		8月27日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 指標植物であるクレオメでの発生を認めていない。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
9月25日		—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 指標植物であるクレオメへの寄生数は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。	
カブラヤガ(ネキリムシ)	5月21日	やや早	やや多	(1) フェロモントラップでの誘殺時期は、やや早い。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は、やや多い。 (3) 前年秋期の発生量は平年並。	

作物名	病害虫名	発表月日	予報内容		予報の根拠
			発生時期	発生量	
果樹全般	カメムシ類	4月16日	平年並	少	(1) チャバネアオカメムシ成虫の越冬虫数は少ない。 (2) フェロモントラップでの誘殺を認めていない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		5月21日	平年並	やや少	(1) フェロモントラップ、予察灯での誘殺数は少ない。 (2) チャバネアオカメムシ成虫の越冬虫数は少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では
		6月4日	—	やや少	(1) フェロモントラップ、予察灯での誘殺数は少ない。 (2) チャバネアオカメムシ成虫の越冬虫数は少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。
		6月18日	—	平年並	(1) チャバネアオカメムシ成虫の越冬虫数は少ない。 (2) チャバネアオカメムシの誘殺数はフェロモントラップ、予察灯とも (3) ツヤアオカメムシの誘殺数はフェロモントラップ、予察灯ともに、 (4) 気象予報では気温は低く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。
		7月2日	—	やや多	(1) チャバネアオカメムシ成虫の越冬虫数は少ない。 (2) チャバネアオカメムシの誘殺数はフェロモントラップ、予察灯とも (3) ツヤアオカメムシの誘殺数は予察灯において多い。 (4) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い見込み。
		7月23日	—	やや多	(1) チャバネアオカメムシ成虫の越冬虫数は少ない。 (2) チャバネアオカメムシの誘殺数はフェロモントラップ、予察灯ともにやや少ない。 (3) ツヤアオカメムシの誘殺数は予察灯において多い。 (4) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い見込み。
		8月7日	—	やや多	(1) チャバネアオカメムシ成虫の越冬虫数は少ない。 (2) チャバネアオカメムシの誘殺数はフェロモントラップ、予察灯ともに少ない。 (3) ツヤアオカメムシの予察灯での誘殺数は、やや多い。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		8月27日	—	多	(1) チャバネアオカメムシの誘殺数はフェロモントラップ、予察灯ともに少ない。 (2) ツヤアオカメムシの予察灯での誘殺数は多い。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
	ハダニ類	6月18日	平年並	やや少	(1) ほ場での発生時期は平年並。 (2) ほ場での発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は低く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。
		7月2日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い見込み。
	ハマキムシ類	5月21日	やや早	平年並	(1) フェロモントラップでの誘殺時期は、やや早い。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
		6月18日	—	平年並	(1) フェロモントラップでの誘殺数は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は低く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。
		7月23日	—	平年並	(1) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
	アブラムシ類	4月16日	平年並	平年並	(1) 果樹の生育は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
5月21日		—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。	

作物名	病害虫名	発表月日	予報内容		予報の根拠
			発生時期	発生量	
ナシ	黒星病	3月19日	やや早	平年並	(1) ナシの生育は、やや早い。 (2) 前年の発生量は、やや多い。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では少なく、県南部では平年並の見込み。
		4月16日	平年並	平年並	(1) ナシの生育は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		5月21日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
		6月4日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。
		7月2日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い見込み。
		9月25日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
	赤星病	4月16日	平年並	平年並	(1) ナシの生育は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		5月21日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
	ナシヒメシクイ	5月21日	平年並	やや少	(1) フェロモントラップでの誘殺時期は平年並。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
		6月4日	—	やや少	(1) フェロモントラップでの誘殺時期は平年並。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。
		7月2日	—	やや少	(1) フェロモントラップでの誘殺数は少ない。 (2) ほ場での被害果を認めていない。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い見込み。
		8月6日	—	やや少	(1) フェロモントラップでの誘殺数は少ない。 (2) ほ場での被害果数は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
ブドウ	うどんこ病	5月21日	平年並	平年並	(1) ブドウの生育は平年並。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
		6月18日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は低く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。
	べと病	6月18日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は低く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。
		7月23日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
		8月27日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では平年並の見込み。
	灰色かび病	5月21日	平年並	平年並	(1) ブドウの生育は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
		6月18日	—	やや少	(1) 開花時期の5月の降水量は少なく、ほ場での発生量は少ない。 (2) 気象予報では気温は低く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。
	クワコナカイガラムシ	5月21日	やや早	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) ブドウの生育は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
	フタテンヒメヨコバイ	5月21日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) ブドウの生育は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
	コガネムシ類	7月2日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い見込み。
チャノキイロアザミウマ	6月19日	—	やや少	(1) ほ場での被害果徳を認めていない。 (2) 気象予報では気温は低く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。	

作物名	病害虫名	発表月日	予報内容		予報の根拠
			発生時期	発生量	
カキ	炭疽病	6月18日	—	やや少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は低く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。
		7月23日	—	やや少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
		8月6日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや多い。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		8月27日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
	円星落葉病	6月18日	—	やや少	(1) 前年の発生量は、やや少ない。 (2) 前年の発生量は、やや少なかった。 (3) 気象予報では気温は低く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。
	角斑落葉病	6月18日	—	平年並	(1) 前年の発生量は平年並。 (2) 前年の発生量は、平年並。 (3) 気象予報では気温は低く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。
	うどんこ病	6月18日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は低く、降水量は県北部では平年並または少なく、県南部では平年並の見込み。
		7月23日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
	カキノヘタムシガ	5月22日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) カキの生育は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
		7月23日	—	平年並	(1) 第一世代成虫のほ場での発生量は、やや多い。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
	カキクダアザミウマ	5月21日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) カキの生育は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
	チャノキイロアザミウマ	5月21日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生は認めていない。 (2) カキの生育は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
		8月6日	—	やや少	(1) ほ場での被害果数は少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
	マイマイガ	5月21日	—	やや少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) カキの生育は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は県北部では平年並、県南部では多い見込み。
カイガラムシ類	8月6日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。	
カメムシ類	9月25日	—	多	(1) チャバネアオカメムシの誘殺数は、フェロモントラップにおいて少ないが、予察灯において9月第1半旬から、やや多い。 (2) ツヤアオカメムシの誘殺数は、予察灯において多い。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。	
チャ	炭疽病	6月4日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		7月23日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は多い見込み。
		8月6日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		8月27日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並の見込み。
	もち病	6月4日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		7月23日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は多い見込み。
8月6日		—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。	

作物名	病害虫名	発表月日	予報内容		予報の根拠
			発生時期	発生量	
チャ	新梢枯死症	7月23日	—	平年並	(1) 感染源となる輪斑病葉の発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は多い見込み。
		8月6日	—	やや多	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 感染源となる輪斑病葉の発生量は、やや多い。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
	輪斑病	7月2日	—	平年並	(1) 前年の三番茶芽における新梢枯死症の発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
	チャノココク モンハマキ	4月16日 (第1世代幼虫)	やや早	やや少	(1) 越冬世代成虫のフェロモントラップへの初飛来日は、やや早い。 (2) 前年の最終世代の発生量は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		6月18日 (第2世代幼虫)	平年並	やや少	(1) 第1世代成虫のフェロモントラップへの初飛来日は平年並。 (2) 越冬世代成虫の誘殺数は、予察灯で平年並、フェロモントラップでやや少ない。 (3) ほ場での発生量は、やや少ない。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		8月6日 (第3世代幼虫)	平年並	やや多	(1) 第2世代成虫の初飛来日は平年並。 (2) 第2世代成虫の予察灯での誘殺数は、やや多い。 (3) ほ場での発生量は、やや多い。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
	チャハマキ	4月16日 (第1世代幼虫)	平年並	平年並	(1) 越冬世代成虫の予察灯およびフェロモントラップへの飛来は認めていない。 (2) 前年の最終世代の発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		6月18日 (第2世代幼虫)	平年並	やや多	(1) 越冬世代成虫のフェロモントラップでの誘殺時期は平年並。 (2) 越冬世代成虫の誘殺数は、予察灯で平年並、フェロモントラップで多い。 (3) ほ場での発生量は、やや多い。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
	チャノホソガ	4月16日 (第1世代幼虫)	やや早	やや少	(1) 越冬世代成虫のフェロモントラップへの初飛来日は、やや早い。 (2) 前年の最終世代の発生量は、やや少ない。 (3) フェロモントラップでの誘殺数は、やや少ない。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		6月4日 (第2世代幼虫)	平年並	やや少	(1) 第1世代成虫のフェロモントラップでの誘殺時期は平年並。 (2) 第1世代成虫のフェロモントラップでの誘殺数は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		7月23日 (第3世代幼虫)	やや遅	多	(1) 第2世代成虫のフェロモントラップでの誘殺時期は、やや遅い。 (2) 第2世代成虫のフェロモントラップでの誘殺数は多い。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は多い見込み。
		8月27日 (第4世代幼虫)	平年並	やや多	(1) 第3世代成虫のフェロモントラップでの誘殺時期は平年並。 (2) 第3世代成虫の累積誘殺数は、予察灯で平年並、フェロモントラップで多い。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並の見込み。
	チャノミドリ ヒメヨコバイ	6月4日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		7月2日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
7月23日		—	やや多	(1) ほ場での発生量は、やや多い。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は多い見込み。	
8月6日		—	やや多	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。	
チャノキイロ アザミウマ	6月4日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。	
	7月2日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。	
	7月23日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は多い見込み。	
	8月6日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。	

作物名	病害虫名	発表月日	予報内容		予報の根拠
			発生時期	発生量	
チャ	カンザワハダニ	3月19日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		4月16日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		5月21日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は多い見込み。
		6月4日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		6月18日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		7月2日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
		7月23日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は多い見込み。
		8月6日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		8月27日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並の見込み。
		9月25日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
	ツマグロアオカスミカメ	4月16日	やや遅	平年並	(1) 一番茶の生育は、やや遅い。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
クワシロカイガラムシ	(第1世代幼虫)	5月21日	平年並	やや少	(1) 幼虫ふ化最盛期の有効積算温度(287日度、起算日1月1日、発育零点10.5℃)による予測日は平年並。 (2) 越冬世代成虫の寄生株率は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は多い見込み。
		6月4日 (年2回発生地域・第1世代幼虫)	平年並	やや少	(1) 調査茶園における雌成虫の産卵状況・ふ化状況は平年並。 (2) 甲賀市水口町水口(茶業指導所)におけるふ化最盛期(50%ふ化卵塊が過半数に達した時期)は平年並。 (3) 越冬世代成虫の寄生株率は、やや少ない。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		7月23日 (年3回発生地域・第2世代幼虫)	平年並	やや少	(1) 第1世代成虫の発生時期は平年並。 (2) 第2世代幼虫ふ化最盛期の有効積算温度(688日度、起算日第1世代ふ化最盛期、発育零点10.8℃)による予測日は平年並。 (3) 第1世代成虫(雄繭)の寄生株率は、やや少ない。 (4) 気象予報では気温は平年並、降水量は多い見込み。
		8月6日 (年2回発生地域・第2世代幼虫)	平年並	やや少	(1) 第1世代成虫の発生時期は平年並。 (2) 第2世代幼虫ふ化最盛期の有効積算温度(688日度、起算日第1世代ふ化最盛期、発育零点10.8℃、高温補正30℃)による予測日は平年並。 (3) 第1世代成虫の寄生株率(雄繭)は、やや少ない。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		8月27日 (年3回発生地域・第3世代幼虫)	平年並	やや少	(1) 第2世代幼虫の発生時期は平年並。 (2) 第2世代成虫(雄繭)の寄生株率は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並の見込み。
チャトゲコナジラムシ	(第1世代幼虫)	5月21日	平年並	多	(1) 越冬世代成虫の発生時期は平年並。 (2) 越冬世代成虫の黄色粘着板での誘殺数は多い。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は多い見込み。
		6月4日 (第1世代幼虫)	平年並	多	(1) 越冬世代成虫の発生時期は平年並。 (2) 越冬世代成虫の黄色粘着板での誘殺数は多い。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		7月23日 (第2世代幼虫)	平年並	やや少	(1) 第1世代成虫の黄色粘着板での誘殺時期は平年並。 (2) 第1世代成虫の黄色粘着板での誘殺数は少ない。 (3) 調査茶園における幼虫の発生量は平年並。 (4) 気象予報では気温は平年並、降水量は多い見込み。
		8月6日 (第2世代幼虫)	やや遅	平年並	(1) 第1世代成虫の発生ピークは、やや遅い。 (2) 第1世代成虫の黄色粘着板での誘殺数は、やや少ない。 (3) 調査茶園における幼虫の発生量は、平年並。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		9月25日 (第3世代幼虫)	平年並	やや多	(1) 第2世代成虫の発生時期は遅い。 (2) 第2世代成虫の黄色粘着板での誘殺数は平年並。 (3) 調査茶園における幼虫の発生量は、やや少ない。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
キク	アブラムシ類	7月2日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 黄色水盤での誘殺数は、やや多い。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は県北部では多く、県南部では平年並または多い見込み。
		8月6日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) 黄色水盤での誘殺数は、やや多い。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。

2 注意報および警報

本年度、注意報および警報の発表はなかった。

3 特殊報

本年度は、2回発表した。

令和元年度病害虫発生予察特殊報第1号

令和元年(2019年)6月12日
滋賀県

1. 病害虫名 タバコノミハムシ *Epitrix hirtipennis* (Melsheimer)

2. 作物名 ナス、ジャガイモ

3. 発生経過

- (1) 令和元年5月、県内の市民農園のナスで、ノミハムシ類の成虫による葉の食害が確認された。その虫を採集し、農林水産省神戸植物防疫所に同定を依頼したところ、5月24日に、本県ではこれまで未確認のタバコノミハムシと同定された。
- (2) 本種は、平成23年に群馬県で初めて発生が確認され、その後、栃木県、神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、大分県、新潟県および奈良県で発生が報告されている。

4. 形態および生態

成虫は体長1.5~2.5mm、長楕円形でやや扁平であり、密な短刺毛に覆われる。体色は、やや光沢のある赤褐色で、上翅には不明瞭な黒斑を持ち、後腿節は顕著に肥大している。なお、本種はアメリカ合衆国を原産とする外来種で、寄主植物としてタバコ、ナス、トマト、ジャガイモ、ホオズキ等のナス科作物が報告されている。(原田・滝沢, 2012)。

5. 被害の特徴

本種の成虫は、葉の片側の表皮を残して葉肉を食害したり、葉を貫通して食害する。このため、表皮を残して広く食害された痕や、直径1~2mm程度の多数の小さな白い点状の食害痕や丸い穴が観察される。

6. 防除対策

- (1) 令和元年5月現在、主な寄主植物であるナスにおいて本種に登録のある農薬はない。しかしながら、本県での発生確認ほ場における被害程度は軽微な事から、慣行の薬剤防除を行っているほ場で被害が拡大することはないと考えられる。
- (2) 本種が寄生しているナスやジャガイモの栽培終了時には、近隣のナス科作物へ本種が移動しないように作物残渣を速やかに処分する。



図1 ナスの被害葉



図2 ナス葉上のタバコノミハムシ成虫



図3 ジャガイモ葉上のタバコノミハムシ成虫

令和元年(2019年)12月11日
滋賀県

1. 病害虫名 ネギハモグリバエ別系統 *Liriomyza chinensis* Kato

2. 作物名 ネギ

3. 発生経過

(1) 令和元年6月、県内の一部のネギほ場において、ハモグリバエ類による著しい食害によって、葉が白化する症状が確認された。この被害状況は従来の食害の症状と著しく異なり、他県で発生が認められているネギハモグリバエ別系統の食害と類似していたため、(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センターに遺伝子型の解析を依頼した結果、従来の遺伝子型(以下、「A系統」)とは異なる別系統(以下、「B系統」)と同定された。

(2) B系統の発生は、平成28年頃より京都府で確認され特殊報が発表されている。その後、茨城県、富山県、千葉県、長野県、埼玉県、新潟県、栃木県および三重県で確認され、特殊報が発表された。

4. 形態および生態

ネギハモグリバエのA系統とB系統は、ともに成虫の体長は約2mm、胸部と腹部は黒く、その他の部分は淡黄色で、形態による識別は困難である。幼虫はうじ虫状で、成長すると体長約4mmに達し、蛹は体長約3mmの褐色、俵状である。

両系統とも成虫は葉の組織内に産卵し、孵化した幼虫は葉の内部に潜り込んで葉肉を食害する。幼虫は成長すると葉から脱出し、地表又は土中で蛹となる。

5. 被害の特徴

幼虫が葉中に潜り込んで食害し、食害後は白い筋状の潜孔を形成する。従来のA系統では1葉あたり1~数匹程度が加害するのに対し、B系統では1葉あたり10匹以上の幼虫で集中的に加害する傾向がある。

6. 防除対策

(1) 発生を認めたら、系統に関わらずネギハモグリバエまたはハモグリバエ類に適用のある薬剤により、発生初期の防除を徹底する。

(2) 被害葉及び収穫残さは本虫の発生源となるので、残さは、ほ場内に放置せず、一カ所にまとめて積み上げ、ビニール等で覆い、裾部分を土で埋める等適切に処分する。

7. 写真



図1 従来のA系統による食害痕



図2 B系統による食害痕



図3 ネギハモグリバエ成虫

4 防除情報

本年度、10回発表した。

平成31年度防除情報第1号

平成31年(2019年)4月19日
滋賀県病害虫防除所

ムギ赤かび病の防除を徹底しましょう

現在、ムギの生育は平年に比べて5～7日ほど早まっています。また、地域やほ場間で出穂・開花のばらつきが目立ちます。このため、赤かび病の感染時期は早まっており、感染しやすい期間が長くなると考えられます。

向こう1か月の気象予報では、気温は高く、降水量は多く、日照時間は少ない見込みで、本病の発生に好適な気象条件が続くと考えられます。

ほ場でのムギの生育状況を確認し、必要に応じて追加防除を実施しましょう。なお、追加防除の適期は、1回目の防除の1週間後頃が目安です。

令和元年度防除情報第2号

令和元年(2019年)6月24日
滋賀県病害虫防除所

果樹カメムシ類の被害に注意しましょう！

病害虫名：果樹カメムシ類（主にツヤアオカメムシ）

対象作物：果樹（モモ、ナシ、ブドウ、カキ等）

果樹カメムシ類（ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ）は、モモ、ナシ、ブドウ、カキ等の果実を吸汁し、落果や奇形果を生じさせます。

花・果樹研究部（栗東市荒張）内に設置された予察灯での誘殺数が、6月第3半旬から急増し（図）、6月第4半旬までの累積誘殺数は552頭と、過去10年間で2番目に多くなりました。

今後、気温の上昇とともに、果樹カメムシ類の活動がさらに活発になり、果樹園への飛来が増加するため、防虫ネットのない園地では、被害の発生が懸念されます。園内をよく見回り、飛来を確認した場合は防除を実施しましょう。

防除上注意すべき事項

- (1) 気温が高く、風の弱い夜に飛来する習性があるため、早朝か夕方に防除を行う。
- (2) 局地的に飛来し、集中的に加害する傾向があるため、各園地で見回りを行う。
- (3) 山林隣接園や過去に被害を受けた園では特に注意する。

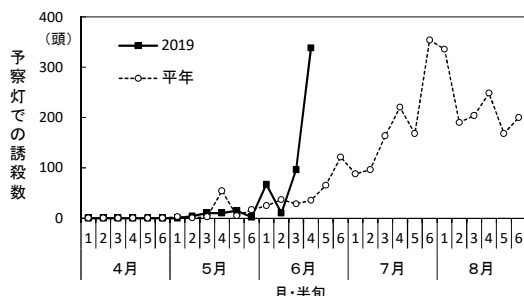


図 予察灯でのカメムシ類誘殺数の推移（栗東市荒張）

令和元年度防除情報第3号

令和元年(2019年)7月2日
滋賀県病害虫防除所

斑点米カメムシ類の発生源となる 畦畔の草刈りを徹底しましょう

病害虫名：斑点米カメムシ類
対象作物：イネ

6月下旬実施の畦畔における斑点米カメムシ類のすくい取り調査において、発生量は過去7か年で最も多くなりました。一部地域でホソハリカメムシ等の大型カメムシが発生しており、アカスジカスミカメも発生量が多くなっています。

また、畦畔で出穂したイネ科雑草が確認されたほ場の割合は86%と、平年(63%)を大きく上回る状況となっており、斑点米カメムシ類の発生源になると思われます。

水稻の出穂2～3週間前と出穂期に、畦畔の草刈りを実施し、水田への斑点米カメムシ類の侵入を防ぎましょう。なお、5月10日移植の場合、「みずかがみ」では7月22日頃、「コシヒカリ」では7月27日頃が過去6か年の平均の出穂期となります。

令和元年度防除情報第4号

令和元年(2019年)7月18日
滋賀県病害虫防除所

斑点米カメムシ類を適期に防除しましょう

7月上旬実施の畦畔における斑点米カメムシ類のすくい取り調査において、山間部など一部地域でホソハリカメムシやクモヘリカメムシ等の大型カメムシが多発しており、クモヘリカメムシの平均生息数は4.3頭(平年1.1頭)と過去10年間で最も多くなりました。

今後、イネが出穂すると畦畔・雑草地から水田内に侵入し、加害することが懸念されます。適期に防除を実施し、被害を防ぎましょう。

斑点米カメムシ類に対し、出穂期以降の薬剤による防除適期は次のとおりです。

① 出穂期に大型斑点米カメムシ類(ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシ)が確認できるほ場では、糊熟期頃(出穂10～20日後)に防除する。

② ただし、畦畔や雑草地にカスミカメムシ類(アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ)の発生が多い場合は、乳熟期頃(出穂7～10日後)に防除する。

斑点米カメムシ類の防除適期を逃さないことに加え、農薬使用における収穫前日数に注意して下さい。

令和元年度防除情報第5号

令和元年(2019年)7月18日
滋賀県病虫害防除所

穂いもちに要注意!

水稲早生品種(コシヒカリ、みずかがみ、キヌヒカリ等)は、まもなく出穂期を迎えますが、向こう1か月の気象予報では、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多く、日照時間は平年並または少ない見込みで、穂いもちに感染しやすい気象条件が予想されるため、注意が必要です。

7月16~17日の巡回調査結果では、葉いもちの発病度は平年値に比べ「やや少」ですが、県内全域において発病が認められました。葉いもちは、穂いもちの伝染源となります。ほ場を確認して葉いもちの発生状況を把握するとともに、下記の注意事項に基づき、必要に応じて防除を実施してください。今後、病虫害防除所が発表する情報に十分に注意しましょう。

防除上注意すべき事項

- (1) 「コシヒカリ」「キヌヒカリ」「秋の詩」「滋賀羽二重糯」は、発病しやすいので特に注意する。
- (2) 薬剤の使用にあたっては、県農作物病虫害雑草基準を参照し、収穫前日数に十分注意する。
- (3) 粉剤や液剤で防除する場合は、防除適期を逃すと著しく効果が低下するので、必ず穂ばらみ期~出穂期に防除する。
- (4) 薬剤耐性菌を生じやすいので、同一グループ薬剤の連用を避ける。

令和元年度防除情報第6号

令和元年(2019年)7月25日
滋賀県病虫害防除所

茶園におけるチャノホソガの多発に注意!

病虫害名: チャノホソガ
対象作物: チャ

茶業指導所(甲賀市水口町)内に設置しているフェロモントラップでのチャノホソガ第2世代成虫の累積誘殺数が平年の3.8倍となり、過去10年間で最も多くなりました。

今後、幼虫による巻葉や虫フンによる被害の増加が予想されることから、三番茶新芽への産卵状況を確認し、防除を実施しましょう。

防除上注意すべき事項

- (1) 新葉の裏側をよく観察し、水滴状の卵等を確認してから、三角巻葉前の卵~潜葉初期に防除を行う。
- (2) 昆虫成長制御剤は卵の時期に、他の薬剤は幼虫潜葉初期に散布する。

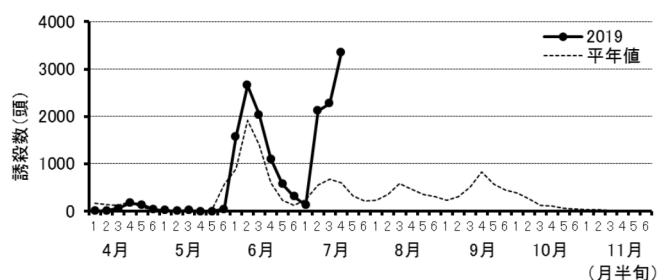


図 フェロモントラップでのチャノホソガ誘殺数の推移
(甲賀市水口町)

令和元年度防除情報第7号

令和元年(2019年)8月23日
滋賀県病虫害防除所

果樹カメムシ類の被害に注意しましょう！

病虫害名：果樹カメムシ類（主にツヤアオカメムシ）

対象作物：果樹（カキ、ナシ、ブドウ等）

果樹カメムシ類（ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ）は、カキ、ナシ、ブドウ等の果実を吸汁し、落果や奇形果を生じさせます。

本年はツヤアオカメムシの発生が多く、花・果樹研究部（栗東市荒張）内に設置された予察灯での誘殺数は、6月に増加して以降一旦は減少したものの、8月第2半旬から再び急増し（図）、累積誘殺数は過去10年間で最多となりました。

今後も飛来が続くと、被害の発生が懸念されます。園内をよく見回り、飛来を確認した場合は防除を実施しましょう。

防除上注意すべき事項

（1）気温が高く、風の弱い夜に飛来する習性があるため、早朝か夕方に防除を行う。

（2）局地的に飛来し、集中的に加害する傾向があるため、各園地で見回りを行う。

（3）山林隣接園や過去に被害を受けた園では特に注意する。

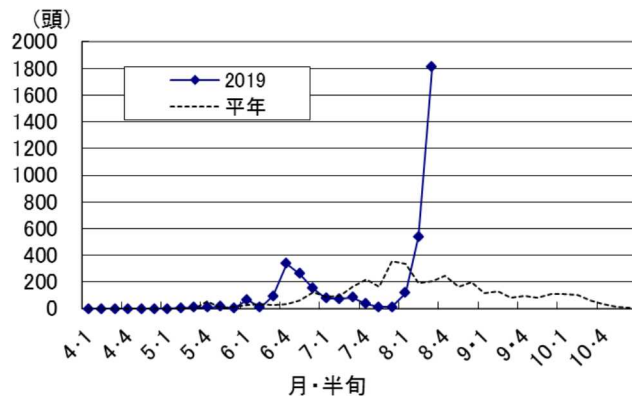


図 予察灯でのカメムシ類誘殺数の推移(栗東市荒張)

令和元年度防除情報第8号

令和2年(2020年)2月27日
滋賀県病虫害防除所

タマネギべと病の発生に注意

2月25、26日に県内全域のタマネギ栽培ほ場でタマネギべと病（図1、2）の調査を行ったところ、例年より発生が早く、複数のほ場で本病の罹病株の発生が認められました。発生ほ場率は75.0%、発生株率は3.0%（平年値なし）でした。

大阪管区気象台発表の気象予報（2月27日発表）によると、向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並であり、本病の発生にとっては好適な気象条件が続くと予想されます。

本病の発生が多くなると、枯死するなど減収につながることから、防除を徹底しましょう。

防除上注意すべき事項

（1）ほ場の排水をよくし、発病株を認めたら抜き取り、ほ場からの持ち出しを徹底する。

（2）前年発生があったほ場や、例年発病が認められるほ場では、予防散布を実施する。

（3）発病を認めたら、治療効果のある剤で防除する。



図1 タマネギベと病発病株



図2 タマネギベと病の発病

令和元年度防除情報第9号

令和2年(2020年)3月17日
滋賀県病虫害防除所

ムギ赤かび病の適期防除を徹底しましょう！

記録的な暖冬の影響で、ムギの生育ステージは平年に比べて2週間程度早く進んでいます。このため、出穂期は大幅に早まり、それに伴い開花期も早まると予想されます。

向こう1か月の気象予報では、気温は高く、降水量は平年並の見込みです。今後も気温は高く推移すると考えられることから、防除適期を逃さないように注意が必要です。以下の点に留意して防除対策に努めてください。

防除上注意すべき事項

- (1) 小麦は、開花始め～開花期に農薬を散布する。「びわほなみ」は赤かび病に弱く、「農林61号」より開花時期が3～4日早いので、防除が遅れないよう注意する。
- (2) 二条大麦は、穂揃い10日後頃に農薬を散布する。
- (3) 六条大麦は、開花始め～開花期とその1週間後頃に農薬を散布する。
- (4) 小麦および二条大麦については、1回目の防除の後に降雨が続く場合、雨の止み間を見て追加防除を行う。防除適期は、いずれの麦も1回目の防除の1週間後頃が目安である。

令和元年度防除情報第10号

令和2年(2020年)3月17日
滋賀県病虫害防除所

果樹カメムシ類の越冬量が多いため、 春先からのほ場への飛来に注意しましょう！

病虫害名：果樹カメムシ類（主にチャバネアオカメムシ）
対象作物：果樹（カキ、ナシ、ブドウ、モモ等）

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）は、カキ、ナシ、ブドウ、モモ等の果実を吸汁し、落果や奇形果を生じさせます。

チャバネアオカメムシの越冬成虫数を県内19地点で調査した結果、過去10年間で最も多かったことから（図）、今年7月末までの果樹園への飛来量も多くなると予想され、被害が多発する恐れがあります。

向こう1か月の気象予報では、気温は平年より高くなることから、越冬成虫が活動を始める時期が早まる可能性があります。春先から果樹園内をよく見回って、幼果の被害を受けないよう飛来状況の把握に努めてください。

防除上注意すべき事項

- (1) 気温が高く、風の弱い夜に飛来する習性があるため、早朝か夕方に防除を行う。
- (2) 局地的に飛来し、集中的に加害する傾向があるため、各園地で見回りを行う。
- (3) 山林隣接園や過去に被害を受けた園では特に注意する。

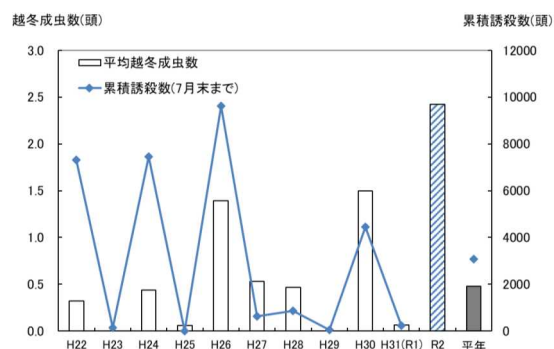


図 チャハネアカカミシ越冬成虫数とフェロモントラップ累積誘殺数との関係

5 事務連絡

本年度、1回発表した。

トビイロウンカの発生に注意して下さい

令和元年(2019年)9月12日
滋賀県病虫害防除所

対象作物：水稻（晩生）

対象病虫害名：トビイロウンカ（坪枯れ症状）

1. 発生状況

9月9日に、大津市の一部ほ場（品種「日本晴」）でトビイロウンカの成幼虫と坪枯れ症状の発生を確認しました（図1および2）。また、予察灯では、8月16日に高島市今津町日置前で1頭、8月17日に大津市里で1頭、近江八幡市安土町大中で2頭の誘殺を確認しています。

大阪管区気象台の発表では、向こう1か月の気温は高く推移するとされており、今後も本虫の増殖に好適な条件が続くと考えられます。

2. 防除の指導上、注意すべき事項

- (1) トビイロウンカは通常1ヶ月弱で世代を繰り返すため、急激に増殖し、坪枯れを生じさせることがあります。今後、収穫期を迎える晩生品種では、発生状況に注意してください。
- (2) トビイロウンカは局所的に発生する傾向があるため、ほ場全体をよく観察し、発生に十分注意してください。特に株元に多いので、株元を注意して観察してください。
- (3) 粉剤や液剤で防除する場合は、薬剤が株元に十分届くように散布してください。なお、収穫期が近い場合の薬剤散布は、農薬登録内容の収穫前日数をよく確認して実施してください。
- (4) 収穫期が迫り、薬剤防除が出来ないほ場は、収穫適期の範囲内で早めに収穫してください。



図1 株元に群がるトビイロウンカ



図2 トビイロウンカによる坪枯れ

○本県の病害虫防除所業務の発表・広報・研修会等

- ・農薬アドバイザー講習会 農薬取締法の概要について

開催場所：さきら中ホール

令和元年6月22日(金)

・・・・・・・・重久眞至

11月20日(水)

・・・・・・・・長谷部匡昭

開催場所：大津合同庁舎

令和2年2月17日(月)

・・・・・・・・長谷部匡昭

第6 試験成績

(1) IPMの環境保全効果の評価

1) 指標生物を用いた生物多様性の評価

ア 目的

2015年から消費・安全対策交付金事業（病害虫の防除の推進）において、IPMの環境保全効果の検証を行ってきた。生物多様性保全効果は、2012年に農林水産省より刊行された「農業に有用な生物多様性の指標生物調査・評価マニュアル（以下マニュアル）」に従い、指標生物の種・個体数を調査し、スコア化することで評価することができる。

今年度は、農業技術振興センター内のキャベツほ場において、マニュアルに基づき調査を実施し、生物多様性の評価を行った。

イ 方法

ア) 試験区の構成

農業技術振興センター内の水田転換畑（3a）にキャベツを作付け、化学合成農薬を使用しない区（試験区）と慣行栽培に準じて防除を行う区（対照区）を設けた。主な耕種概要は表1、病害虫防除に用いた薬剤は表2のとおり。

表1 試験に用いたキャベツの耕種概要

品種	おきな
播種	7月29日
定植	8月21日
ほ場面積	3a（試験区：1.5a、対照区：1.5a）
施肥（主なもの）	磷硝安加里S604
栽植密度	畦幅150cm、株間25cm、条間50cm 2条植え
病害虫防除	表2のとおり
収穫	11月下旬～
その他	定植～10月15日まで畦上に黒マルチを展張 定植～10月9日まで病害虫防除未実施

表2 病害虫防除に用いた薬剤

月日	種類	試験区	対照区
10月10日	殺虫剤	BT水和剤（0）	エマメクシン安息香酸塩乳剤（1）
10月16日	殺菌剤	塩基性硫酸銅（0）	塩基性硫酸銅（0）
10月23日	殺虫剤	BT水和剤（0）	エトフェンブ [®] ロックス乳剤（1）
10月28日	殺菌剤	塩基性硫酸銅（0）	アゾキストロピ [®] ン水和剤（1）
成分数合計		0	3

※薬剤名の末尾（ ）内数字は化学合成農薬としてカウントする成分数

イ) 指標生物の調査

マニュアルに従い、指標生物3種類（表3）につき、ピットフォールトラップと見取り法で10月23日、10月31日、11月6日、11月13日の計4回調査を行った。ピットフォールトラップは10月16日に設置した（図1）。



図1 ピットフォールトラップ

表3 指標生物と調査方法

指標生物名	調査時期	調査方法および内容
オオヒラタゴミムシ	10月中旬～11月中旬	ピットフォールトラップを1ほ場5個設置：4週間（7日×4回）の合計個体数／トラップ
キクヅキコモリグモ	10月中旬～11月中旬	ピットフォールトラップを1ほ場5個設置：4週間（7日×4回）の合計個体数／トラップ
植物体上のクモ類	11月中旬	ほ場内2か所×5株を見取り：1株あたりの個体数

※『農業に有用な生物多様性の指標生物調査・評価マニュアル』に基づく。

ウ 結果の概要

ア) 指標生物の個体数

各調査日に確認された各指標生物の個体数を図2に示した。オオヒラタゴミムシでは試験区で個体数が多くなったが、他2種では明確な差は認められなかった。

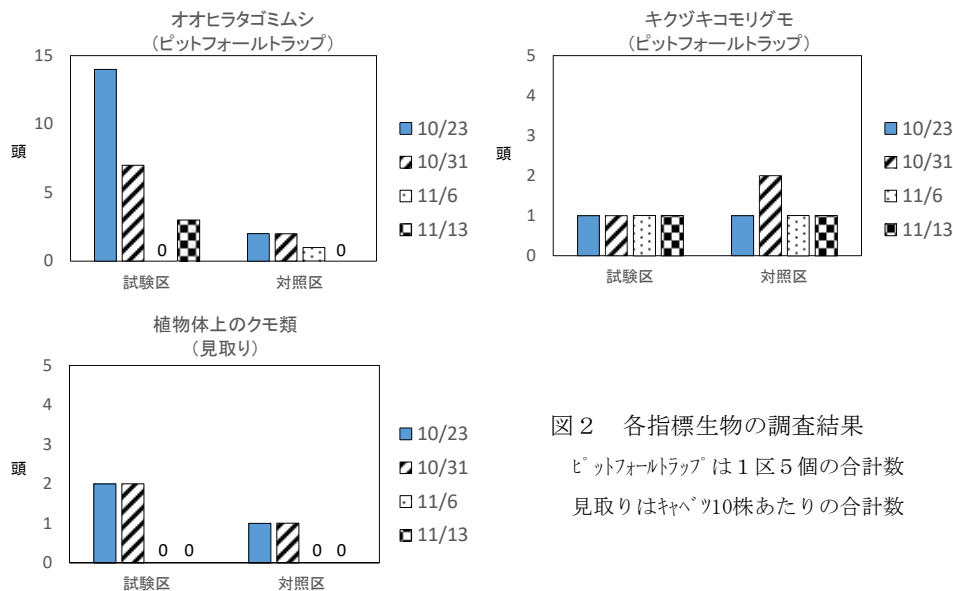


図2 各指標生物の調査結果

ピットフォールトラップは1区5個の合計数
見取りはキャベツ10株あたりの合計数

イ) 調査結果に基づく生物多様性評価

マニュアルに基づき、指標生物ごとにスコア化を行い、生物多様性評価を行った。試験区は「A」判定で、生物多様性が高い結果となった。対照区は「B」判定で、生物多様性がやや低い結果となった（表4）。

表4 指標生物の個体数および生物多様性の評価¹⁾

区分		オオヒラタ ゴミムシ	キクヅキコ モリグモ	植物体上 のクモ類 ²⁾	総スコア	総合評価 ³⁾
試験区	個体数	4.8	0.8	0	3	A
	スコア	2	1	0		
対照区	個体数	1.0	1.0	0	2	B
	スコア	1	1	0		

1) 『農業に有用な生物多様性の指標生物調査・評価マニュアル』に基づき、各生物ごとに定められた換算表により、個体数をスコア化した。

2) 11月13日にキャベツ上で確認された個体数。

3) 総合評価については以下のとおり。ただし()内の数値は総スコアを示す。S (5～6)：生物多様性が非常に高い。取り組みを継続するのが望ましい。A (3～4)：生物多様性が高い。取り組みを継続するのが望ましい。B (1～2)：生物多様性がやや低い。取り組みの改善が必要。C (0)：生物多様性が低い。取り組みの改善が必要。

2) イネいもち病に登録のある育苗箱施薬剤の施用量の減量

ア 目的

低コスト化技術として、水稻育苗の高密度播種が期待されている。育苗箱数が従来の半分以下となることから、10a 当たり育苗箱施薬剤の投下量も半量となる。そこで、育苗箱施薬剤の施用量を減量した場合の防除効果について検討を行う。

イ 方法

ア) 供試品種：コシヒカリ

イ) 試験区の構成

各試験区 23 ポット (1 ポット 5 本植) の計 69 ポットを 1 コンテナで栽培管理し、3 反復した。ハウス内においてポットに水稻幼苗を植付後、育苗箱施薬剤 (ピロキロン粒剤) を株元に施用した (定植日：4 月 25 日) (表 1、図 1)。

1 ポット (直径 12cm・5 本植) の施薬量は、10a 当たり 18,000 株 (60 株/3.3m²) 植え、必要育苗箱数 16 箱 (幼苗) で算出した (県稲作指導指針参照)。

表 1 試験区の設定

試験区	施用時期・施用量
慣行区	移植当日・50g/箱(44mg/ポット)
半量区	移植当日・25g/箱(22mg/ポット)
無処理区	—

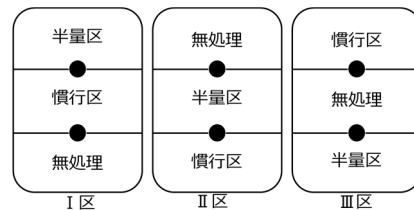


図 1 試験区の配置図

●はいもち病罹病株を示す。

ウ) イネいもち病の接種

イネいもち病菌 (*Magnaporthe oryzae*) の分生子懸濁液を接種し、罹病したイネ苗を試験区間に 1 株ずつ設置し、5.5~6.5 葉期のイネに接種した (接種日：5 月 24 日)。また、出穂期前に 1×10^4 個/ml に調整した分生子懸濁液を試験区に噴霧接種した (接種日：7 月 25 日)。接種後は、散水チューブによる頭上散水 (降水量換算：約 15mm、散水間隔：2 回/日 (6, 18 時から 10 分間散水)) を行った。

エ) 調査時期および方法

接種直後 (5 月 24 日) および接種 10 日後 (6 月 3 日)、出穂期 (7 月 26 日) に葉いもちの発病調査、出穂 10 日後 (8 月 5 日)、成熟期前 (8 月 23 日) に穂いもちの発病調査を行った。葉いもちについては、発病株率および病斑数を調査した。また、穂いもちについては、発病株率および発病穂数/株を調査した。

ウ 結果の概要

ア) 出穂期 (7 月 26 日) までに、葉いもちの発病は認められなかった。

イ) 穂いもちの発病は僅かに認められたが、試験区間で有意差は認められなかった (表 2)。

以上より、栽培期間を通じていもち病の発生が少なく、育苗箱施薬剤の施用量による効果の差異は判然としなかった。

表 2 穂いもちの発病穂数と発病株率 (調査日：8 月 23 日)

供試薬剤	使用時期および方法、使用量	区	調査株数	発病穂数/株	発病株率 (%)
慣行区	50g/箱 移植当日	I	23	0.00	0.0
		II	23	0.04	4.3
		III	23	0.00	0.0
		平均		0.01	1.4 a ^{※1}
半量区	25g/箱 移植当日	I	23	0.04	4.3
		II	23	0.00	0.0
		III	23	0.04	4.3
		平均		0.03	2.9 a
無処理区		I	23	0.04	4.3
		II	23	0.00	0.0
		III	23	0.04	4.3
		平均		0.03	2.9 a

※1 発病株率は角変換後にTukeyの多重比較により検定した。

3) 紋枯病発生予察新規手法の検討

ア 目的

イネ紋枯病菌(*Thanatephorus cucumeris* (A. B. Frank) Donk) は越冬した菌核が翌年の第一次伝染源となる。春の入水後、田面水中に浮遊する紋枯病菌DNAを検出し、その量を測定できれば、その後の発病程度を予測できる可能性がある。そこで、田面水中の紋枯病菌密度の定量結果とほ場における発病との相関関係を把握する。

イ 方法

(ア)採水ほ場・時期・方法

農業技術振興センター内ほ場（品種：みずかがみ）140号田、330号田および210号田から下記に示す日程で田面水の採水を行った。各ほ場の四隅から田面水を200mlずつ採水し、混合して計800mlをサンプルとして供試した。

ほ場	代かき日	移植日	採水日				
			1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
140	4月24日	4月25日	4月24日	6月3日	6月28日	7月23日	8月18日
330	4月24日	4月25日	4月24日	6月3日	6月28日	7月23日	8月18日
210	5月19日	5月20日	5月20日	6月28日	7月23日	8月18日	

(イ)DNA抽出

各サンプル800mlをガラス繊維濾紙フィルター(Whatman:0.7・m)で減圧濾過し、濾紙よりDNeasy PowerWater Kit (QIAGEN)を用いて30・lのDNA溶液を抽出した。

(ウ)qPCRによる定量解析

抽出したDNAを鋳型にqPCRを実施し、紋枯病菌量を定量した。PCR酵素はTHUNDERBIRD Probe qPCR Mix (TOYOBO)を使用し、下記に示すプライマーおよびプローブを用いてqPCRを実施した。

	配列	増幅産物	qPCR反応条件
Primer F	GCCTTTTCTACCTTAATTTGGCAG	140bp	95℃ 10分
Primer R	GTGTGTAAATTAGTAGACAGCAAATG		95℃ 10秒
Probe	ACCCCTGTGCACTTGTGAGACAGC		60℃ 1分
			40cycles

(エ)紋枯病の調査時期・方法

調査時期：各ほ場の成熟期（140、330号田：8月17日；210号田：9月11日）

調査項目：発病株率、病斑高率、被害度（羽柴式被害度の調査法）

調査方法：ほ場の四隅において50株ずつ調査を実施

ウ 結果の概要

(ア) 供試田面水をほ場あたり800mlまで増加させたことで、検出感度が向上し、210号田においては移植前の田面水からも紋枯病菌が検出できた(図1)。

(イ) 設計したプローブによるqPCRで紋枯病菌の定量が可能となった。同一移植日の140号田と330号田では、出穂期から成熟期にかけて紋枯病菌が検出された。210号田では移植直後から段階的に菌量の増加が確認されたが、入水などの影響で8月18日には検出されなかった(表1、図1)。

(ウ) 移植前より紋枯病菌が検出された210号田においては、紋枯病発病調査の結果、被害度は31.8と3ほ場の中で最も高くなった(表2)。

以上より、本手法により移植前に紋枯病菌が検出された場合は、発病リスクが高いことが示され、田面水中の菌量の定量に基づいて発病リスクが推測できる可能性が示された。

表1 qPCR結果

採水日 ほ場	4月24日	5月20日	6月3日	6月28日	7月23日	8月18日
140	未検出		未検出	未検出	4.2	7.3
330	未検出		未検出	未検出	3.1	3.2
210		1		3.3	11.2	-

※210号田の5月20日の定量結果を1として各定量結果を補正した。

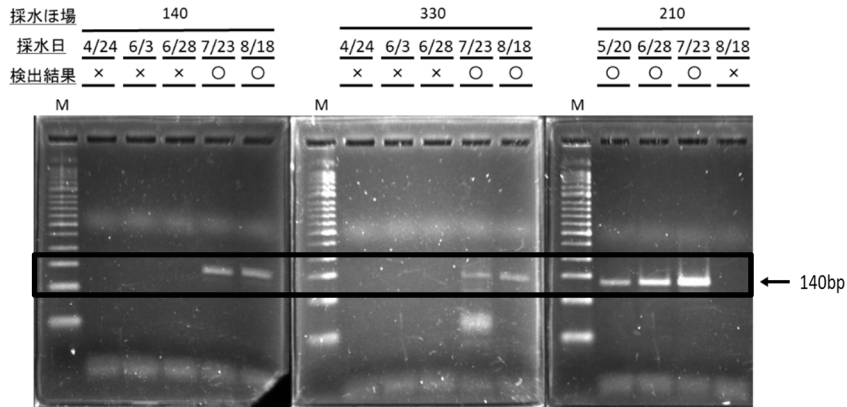


図1 qPCR産物の電気泳動結果

PCR産物5 μlを3%アガロースゲルで電気泳動し、Gel Redで染色後検出した。Mは分子量マーカー。

表2 紋枯病発病度調査結果

試験ほ場	調査日	調査地点	調査株数	発病株率 (%)	病斑高率 (%)	発病株被害度	全体の被害度
140	8月17日	I	50	6.0	50.8	50.0	3.0
		II	50	0.0	0.0	0.0	0.0
		III	50	10.0	43.4	37.9	3.8
		IV	50	6.0	42.0	35.6	2.1
		平均		5.5	34.1	30.9	2.2
330	8月17日	I	50	16.0	52.8	53.1	8.5
		II	50	16.0	39.2	31.1	5.0
		III	50	42.0	48.6	46.3	19.5
		IV	50	26.0	46.1	42.3	11.0
		平均		25.0	46.7	43.2	11.0
210	9月11日	I	50	34.0	56.4	59.0	20.1
		II	50	46.0	47.7	44.8	20.6
		III	50	78.0	53.4	54.1	42.2
		IV	50	78.0	55.0	56.7	44.2
		平均		59.0	53.1	53.7	31.8

4) ヒメトビウカのイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率調査

ア 目的

県内でのイネ縞葉枯病の発生は、昭和 60 年代以降、ほとんど見られなかったが、平成 21 年の発生予察調査において、立毛中に本病の発生が確認され、平成 23 年には再び立毛中に一部地域で、刈株再生芽（ひこばえ）で県全域で本病が確認された。また、平成 28 年の刈株再生芽での発病調査において、本病の発病株率の急激な上昇を確認した。本病の発生は、RSV を保毒したヒメトビウカに大きく影響されることから、ヒメトビウカの RSV 保毒虫率を把握するため、平成 23 年以降、調査を継続実施している。

イ 方法

(ア) RSV 保毒虫検定に供試したヒメトビウカ

①越冬個体群（越冬世代）

4月2日～3日に、前年の刈株再生芽が残る水田ほ場において、すくい取りにより採集した。

②小麦ほ場個体群（第1世代）

5月20日～6月10日に、県内3地点の小麦ほ場において、すくい取りにより採集した。

③7月および8月の夏期個体群（第2～3世代）

7月8日～12日および8月7日～30日に、県内36地点の水田ほ場において、すくい取りにより採集した。

(イ) 検定方法

判定にはマイクロプレートリーダー（バイオラッド・ラボラトリーズ(株)製）を用い、簡易ELISA法（柴ら、2013）により検定した。

ウ 結果の概要

(ア) 越冬個体群の採集個体数は、表1に示した県内27地点において採集され、県域でのRSV保毒虫率は1.9%と低かった。

(イ) 小麦ほ場個体群のRSV保毒虫率は0～1%と、越冬個体群と同様、低く推移した（表2）。

(ウ) 7月の夏期個体群のRSV保毒虫は、県域で5頭と少なく、RSV保毒虫数は2.0%と低く推移した（表3）。一方、8月の夏期個体群の採集個体数は、東近江地域の一部で高い地点も見られるが、県全域でのRSV保毒虫率は5.3%となり、昨年度の同時期（13.6%）より低下した。

表1 ヒメトビウカ越冬個体群のRSV保毒虫率検定結果

地域	地名	採集日	検定虫数 (頭)	保毒虫数 (頭)	保毒虫率 (%)
大津・南部	大津市 上田上中野	4/2	11	0	0
	草津市 下笠町	4/2	3	0	0
	守山市 赤野井町	4/2	1	0	0
栗東市	下戸山	4/2	2	0	0
	野洲市 上屋	4/2	3	0	0
	湖南市 朝国	4/3	1	0	0
甲賀	甲賀市 水口町山	4/3	4	0	0
	甲賀市 甲賀町滝	4/3	1	0	0
	東近江 近江八幡市 野村町	4/2	1	0	0
東近江	近江八幡市 安土町大中	4/4	15	1	6.7
	竜王町 田中	4/3	14	1	7.1
	東近江市 岡田町	4/3	4	0	0
東近江市	石谷町	4/3	3	0	0
	東近江市 五個荘町金堂	4/3	5	0	0
	湖南市 彦根町 新海町	4/3	1	0	0
湖東	彦根町 東門堂	4/4	16	0	0
	甲良町 法善寺	4/4	17	0	0
	多賀町 土田	4/4	109	3	2.8
湖北	米原市 本市場	4/3	2	0	0
	米原市 入江	4/3	6	0	0
	米原市 西門寺	4/3	4	0	0
長浜市	永久寺町	4/2	1	0	0
	湊次	4/3	4	0	0
	早崎町	4/3	11	0	0
長浜市	高月町柳野中	4/3	22	0	0
	高島市 安曇川町北船木	4/3	3	0	0
	高島市 新旭町北畑	4/3	1	0	0
計			265	5	1.9

前年の刈株が残る36地点(1地点1ほ場)で50回すくい取り調査を実施し、採集された個体を簡易ELISA法で検定した。ただし、9地点(大津市和邇南浜、甲賀市信楽町貴瀬、日野町日田、東近江市川合町、能登川町おひま町、長浜市余呉町坂口、高島市マキノ町知内、今津町上弘部)では、ヒメトビウカは採集されなかった。

表2 ヒメトビウカ小麦ほ場個体群のRSV保毒虫率検定結果

地名	採集日	採集虫数 (頭)	検定虫数 (頭)	保毒虫数 (頭)	保毒虫率 (%)
野洲市 上屋	5/20～6/10	113	100	1	1.0
湖南市 岩根	5/20～6/10	121	100	0	0
竜王町 小口	5/20～6/10	129	100	1	1.0
計	計	363	300	2	0.7

昨年度、イネ縞葉枯病の発生が目立った地域において、小麦ほ場(1地点1ほ場)ですくい取り調査を実施し、採集された個体から100頭を選び簡易ELISA法で検定した。

表3 ヒメトビウカ夏期個体群(7月と8月)のRSV保毒虫率検定結果

地域	地名	移植日	育苗箱 施用剤*	出穂期 防除*	7月の夏期個体群(7/11基準)			8月の夏期個体群(8/20基準)				
					採集日	検定虫数 (頭)	保毒虫数 (頭)	保毒虫率 (%)	採集日	検定虫数 (頭)	保毒虫数 (頭)	保毒虫率 (%)
大津・南部	關津	5/25	-	●	7/9	1	0	0	8/19	17	0	0
	和邇南浜	5/15	-	-	7/8	1	0	0	8/16	52	1	1.9
	草津市 下笠町	5/8	-	-	7/10	4	0	0	8/7	59	0	0
	守山市 赤野井町	5/7	-	-	7/10	5	0	0	8/16	100	1	1.0
	栗東市 上砥山	5/15	-	●	7/9	14	0	0	8/19	0	0	0
野洲市 上屋	4/28	-	●	7/9	15	0	0	8/16	120	1	0.8	
甲賀	湖南市 岩根	5/18	●	●	7/10	2	0	0	8/20	5	0	0
	甲賀市 水口町山	5/6	●	●	7/9	0	0	0	8/16	0	0	0
	甲賀市 甲賀町滝	5/4	●	-	7/9	0	0	0	8/16	110	0	0
東近江	信楽町貴瀬	5/7	●	●	7/9	1	0	0	8/19	8	0	0
	近江八幡市 野村町	4/28	-	-	7/9	30	2	6.7	8/19	130	2	1.5
	安土町大中	6/6	-	-	7/8	0	0	0	8/19	0	0	0
日野町	日田	5/18	-	●	7/8	3	0	0	8/20	89	0	0
	竜王町 小口	5/5	-	●	7/10	7	1	14.3	8/9	100	7	7.0
	東近江市 林田町	4/28	●	●	7/8	28	0	0	8/9	100	0	0
東近江市	川合町	5/5	●	●	7/10	11	1	9.1	8/20	0	0	0
	石谷町	5/5	●	●	7/8	2	0	0	8/20	33	0	0
	五個荘平阪町	4/28	●	●	7/8	15	0	0	8/9	100	0	0
湖東	栗見新田町	5/12	●	●	7/12	36	0	0	8/22	100	5	5.0
	新海町	4/28	●	●	7/8	4	0	0	8/20	33	0	0
	彦根市 彦根町	5/25	-	●	7/12	9	0	0	8/23	100	0	0
湖東	彦根市 東門堂	5/16	-	-	7/10	6	0	0	8/22	100	0	0
	甲良町 法善寺	5/3	-	-	7/10	10	0	0	8/22	63	0	0
	多賀町 土田	4/25	●	●	7/10	9	1	11.1	8/9	100	0	0
湖北	米原市 本市場	4/28	●	●	7/10	2	0	0	8/16	100	1	1.0
	入江	6/9	●	-	7/10	4	0	0	8/30	100	0	0
	西門寺	5/13	●	-	7/10	3	0	0	8/16	53	0	0
長浜市	永久寺町	5/10	-	-	7/10	3	0	0	8/16	100	1	1.0
	湊次	4/27	●	●	7/10	6	0	0	8/16	100	0	0
	早崎町	5/3	-	-	7/8	3	0	0	8/16	100	1	1.0
高島	高月町柳野中	5/8	-	-	7/8	2	0	0	8/16	100	0	0
	余呉町坂口	5/10	●	●	7/8	11	0	0	8/16	0	0	0
	高島市 マキノ町知内	5/4	-	●	7/8	0	0	0	8/16	100	1	1.0
今津町上弘部	5/3	●	●	7/8	0	0	0	8/16	0	0	0	
安曇川町北船木	5/14	-	●	7/8	2	0	0	8/16	100	0	0	
新旭町北畑	4/29	-	-	7/8	1	0	0	8/16	100	0	0	
計					250	5	2.0	計	2472	21	5.3	

*1地点1ほ場で50回すくい取り調査を実施した。※)育苗箱施用剤および出穂期防除では、殺菌剤成分を含む薬剤を「●」で示した。

平成31年度植物防疫事業年報
発行 令和2年(2020年)3月
滋賀県病害虫防除所

〒521-1301 近江八幡市安土町大中516
TEL : 0748-46-4926、6160
FAX : 0748-46-5559
Email : GC70@pref.shiga.lg.jp
<http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/>